



平成28年度市民意識調査

報告書



平成28年12月

多治見市

目 次

調査概要

1 調査目的	- 1 -
2 調査方法等.....	- 1 -
3 回収結果	- 1 -
4 報告書の見方	- 1 -

第1章 回答者のプロフィール

1－1 性別	- 2 -
1－2 年齢	- 2 -
1－3 小学校区	- 3 -
1－4 職業	- 3 -

第2章 住みやすさと居留意向

2－1 住みやすさ	- 4 -
2－2 今後の居留意向	- 8 -

第3章 生活実態及び市民意識

3－1 生活実態及び市民意識	- 11 -
----------------------	--------

第4章 市政全般について

4－1 市政への満足度	- 15 -
4－2 市の重点施策	- 32 -

第5章 情報提供について

5－1 広報たじみ【TAJIMIST（たじみすと）】を読んでいますか.....	- 36 -
5－2 広報たじみ【TAJIMIST（たじみすと）】の内容	- 38 -
5－3 市のホームページ	- 41 -
5－4 FMたじみ（エフエムピピ）	- 43 -
5－5 市の広報手段	- 45 -

第6章 選挙公報について

6－1 選挙公報の入手方法	- 48 -
6－2 選挙公報を読んだか	- 51 -
6－3 選挙公報は役に立ったか	- 54 -

参 考 資 料

依頼文書及び調査票	- 57 -
-----------------	--------

調査概要

1 調査目的

本調査は、市民の生活意識や市政全般、今後のまちづくりについての意見、要望などを把握することにより、今後の住みよいまちづくりに向けての各種施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査方法等

- ・調査地域 多治見市全域
- ・調査対象 (1) 市内在住の16歳以上の男女2,000人
(2) 広報たじみ読者
- ・調査方法 (1) 郵送配布・回収
(2) インターネット回収
(3) 広報紙綴込み・郵送回収
- ・抽出方法 無作為抽出法（郵送配布分）
- ・調査時期 平成28年8月

3 回収結果

	回収票数	回収率	有効回収票数	無効票
郵送配布・回収	738	36.9%	738	0
インターネット回収	55	2.75	55	0
広報紙綴込み・郵送回収	234	—	233	1
合計	1027	—	1026	1

※有効回収票数とは、回収票数のうち、無効票である白票や記入不備等を除いたもの

4 報告書の見方

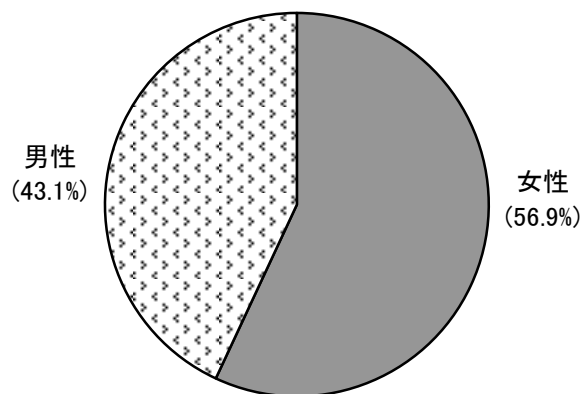
- ・グラフにおける比率は全て％（パーセント）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。
したがって、各項目の構成比の合計は必ずしも100%にならない。
- ・複数回答が可能な設問では、構成比算出の母数は回答者数（票数）とし、その項目を選び○を付けた人が全体から見て何％なのかという見方をした。そのため、各項目の比率を合計すると100%以上になる。
- ・グラフにおける選択肢や凡例の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載されている場合がある。

第1章 回答者のプロフィール

1-1 性別

回答者の性別は、女性が56.9%、男性が43.1%となっている。

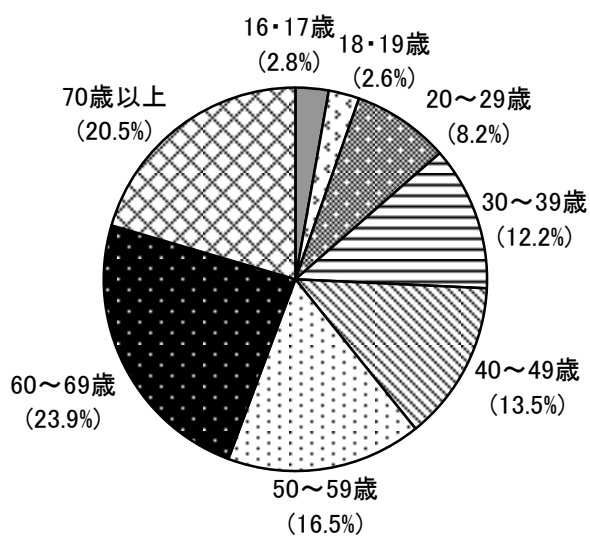
図1-1-1 「性別」



1-2 年齢

回答者の年齢は、「60～69歳」(23.9%)が最も多く、以下「70歳以上」(20.5%)、「50～59歳」(16.5%)、「40～49歳」(13.5%)、「30～39歳」(12.2%)、「20～29歳」(8.2%)、「16・17歳」(2.8%)、「18・19歳」(2.6%)となっており、若年層の割合が少ない。

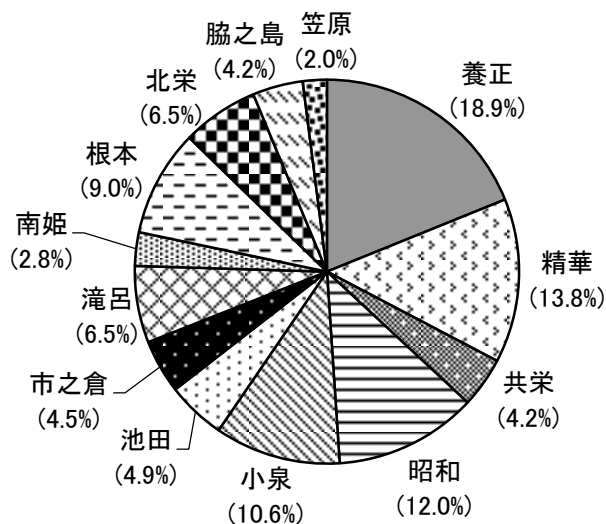
図1-2-1 「年齢」



1-3 小学校区

回答者の小学校区は、「養正」(18.9%) が最も多く、以下「精華」(13.8%)、「昭和」(12.0%)、「小泉」(10.6%)、「根本」(9.0%)、「滝呂」(6.5%)、「北栄」(6.5%)、「池田」(4.9%)、「市之倉」(4.5%)、「共栄」(4.2%)、「脇之島」(4.2%)、「南姫」(2.8%)、「笠原」(2.0%) となっている。

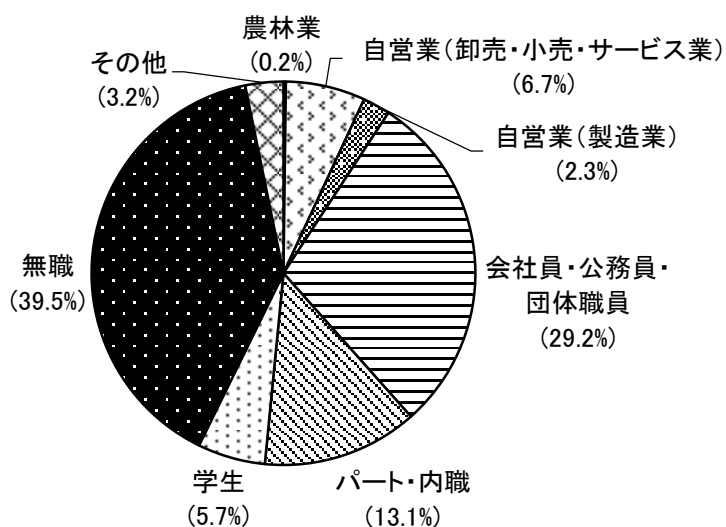
図 1-3-1 「小学校区」



1-4 職業

回答者の職業は、「無職」(39.5%) が最も多くなっている。職に就いている人の中では、「会社員・公務員・団体職員」(29.2%) が最も多く、以下「パート・内職」(13.1%)、「自営業(卸売・小売・サービス業)」(6.7%)、「自営業(製造業)」(2.3%)、「学生」(5.7%)、「自営業(製造業)」(2.3%)、「農林業」(0.2%) となっている。

図 1-4-1 「職業」



第2章 住みやすさと居住意向

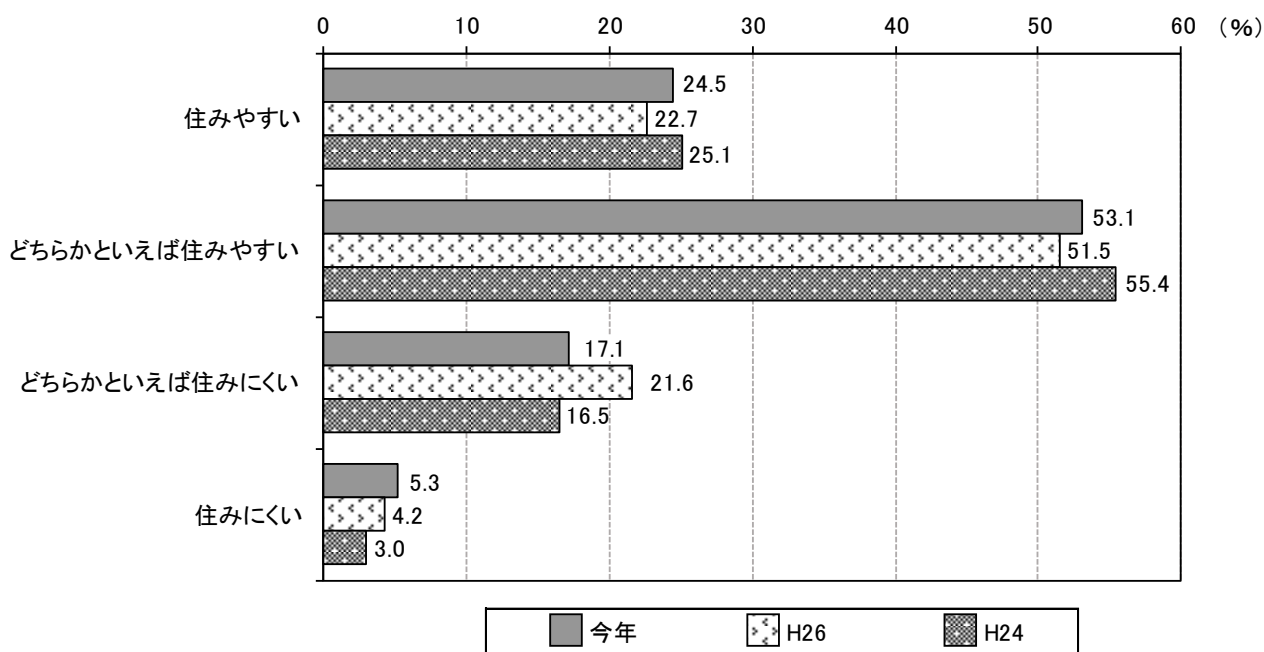
2-1 住みやすさ

「住みやすさ」については、「どちらかといえば住みやすい」(53.1%)が最も高く、これに「住みやすい」(24.5%)を合わせた“住みやすいと感じている人”は77.6%と高くなっている。

一方、「どちらかといえば住みにくい」(17.1%)と「住みにくい」(5.3%)を合わせた“住みにくいと感じている人”は22.4%となっている。

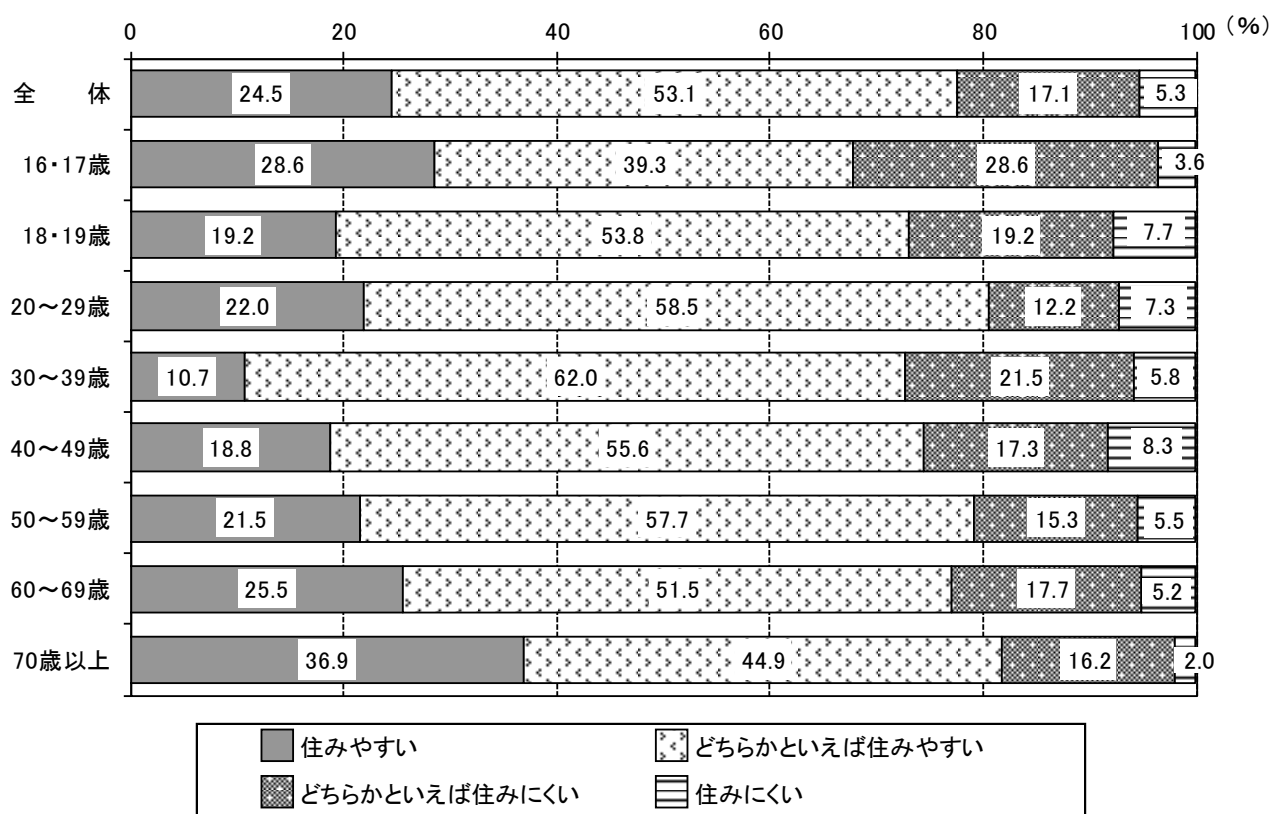
過去調査と比較すると、“住みやすいと感じている人”は増加しており、“住みにくいと感じている人”は減少している。

図2-1-1 「住みやすさ」(過去調査比較)



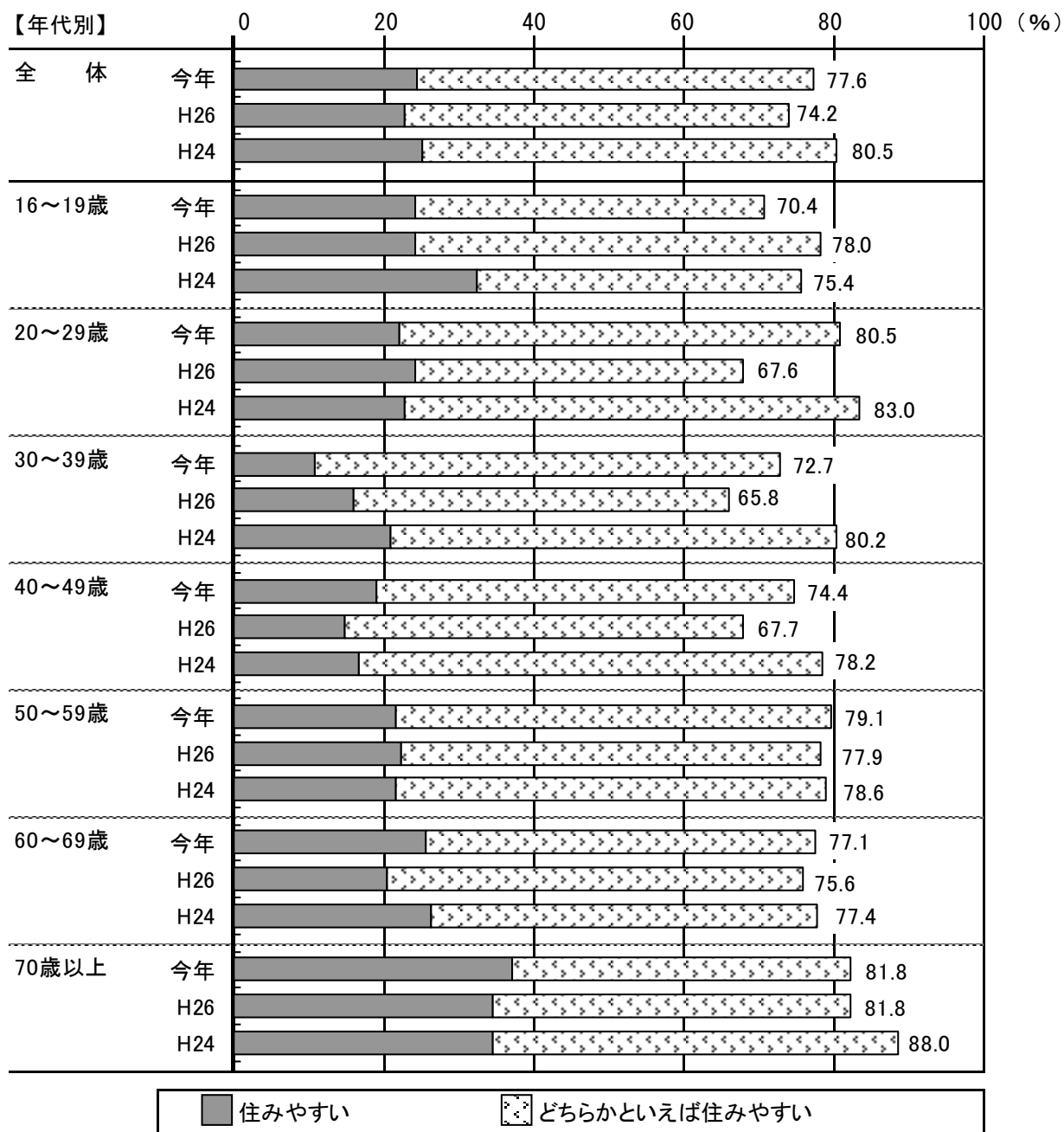
「住みやすさ」について年代別にみると、「住みやすい」では「70歳以上」(36.9%)が最も高くなっている。また、「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすいと感じている人”が最も高い「70歳以上」(81.8%)と、最も低い「16・17歳」(67.9%)では13.9%の差がみられる。

図2-1-2 年代別「住みやすさ」



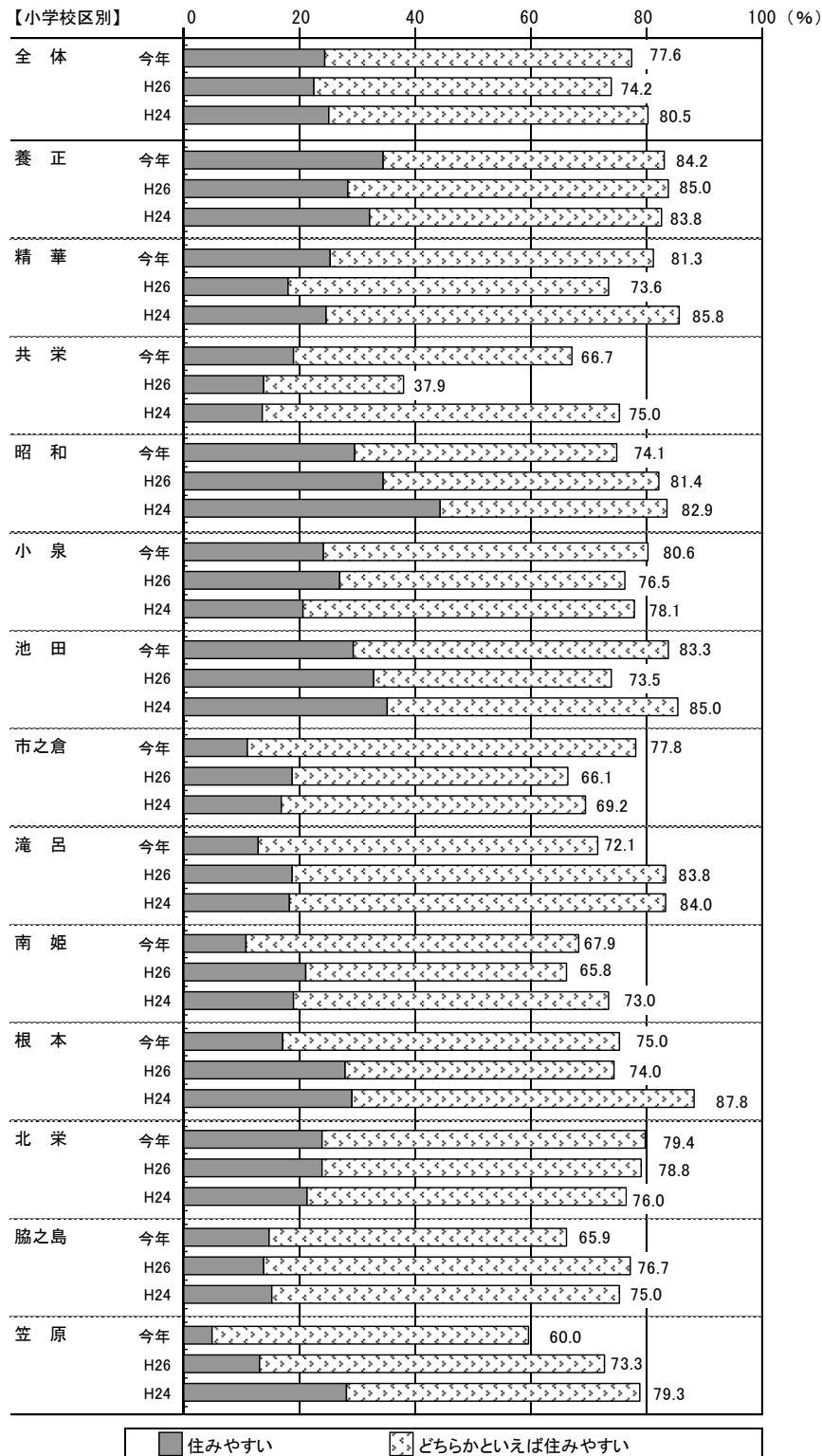
「住みやすさ」を年代別に過去調査と比較すると、「住みやすいと感じている人」が「20～29 歳」で前回（H26）に比べ 12.9%増加し、「16～19 歳」を除くその他の年代においても増加傾向にある。「16～19 歳」は前回（H26）に比べ 7.6%減少している。

図 2－1－3 年代別「住みやすさ」（過去調査比較）



「住みやすさ」を小学校区別に過去調査と比較すると、「住みやすいと感じている人」が「精華小学校区」「共栄小学校区」「小泉小学校区」「池田小学校区」「市之倉小学校区」「南姫小学校区」「根本小学校区」「北栄小学校区」において増加している。中でも「共栄小学校区」は前回（H26）に比べ 28.8% も増加している。その他の小学校区においては減少しており、中でも「笠原小学校区」は前回（H26）に比べ 13.3%減少している。

図 2－1－4 小学校区別「住みやすさ」（過去調査比較）



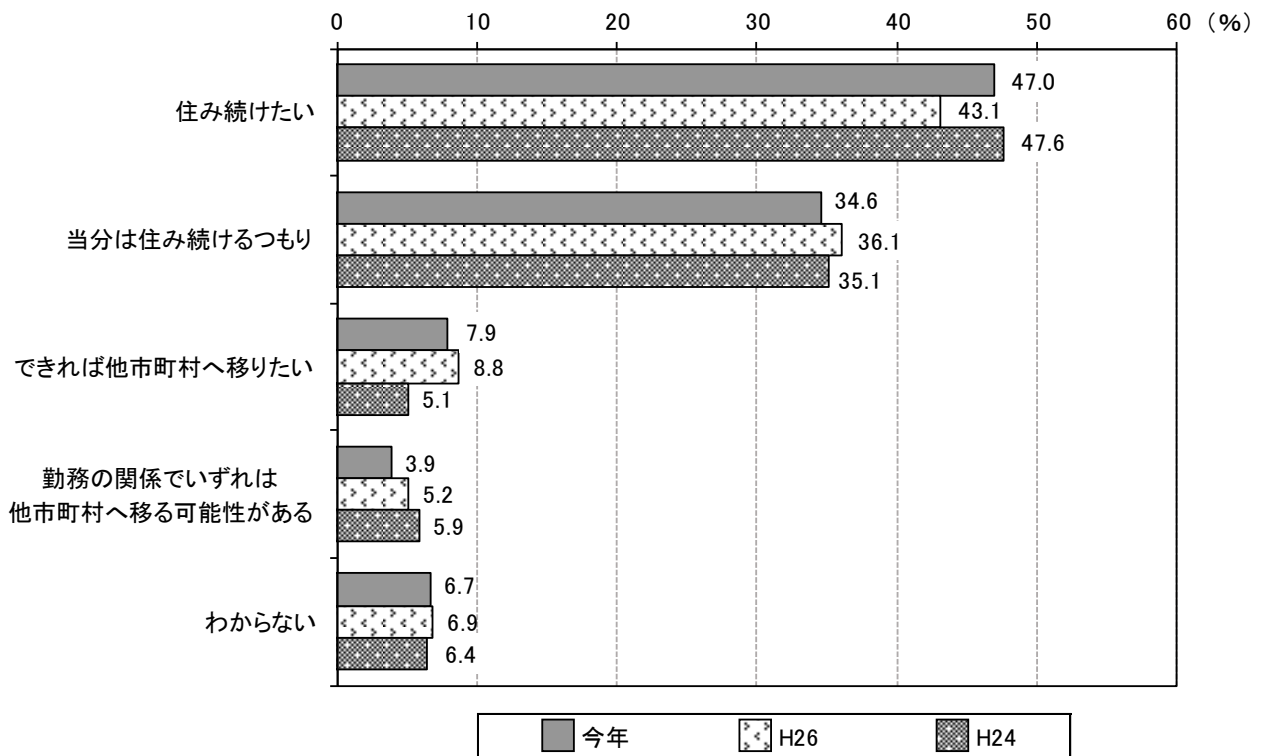
2-2 今後の居留意向

「今後の居留意向」については、「住みたい」（47.0％）が最も高く、これに「当分は住み続けるつもり」（34.6％）を合わせた“住みたいと思っている人”は81.6％と高くなっている。

一方、「勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある」では3.9％と低くなっている。

過去調査と比較すると、「住みたい」と回答した割合は前回（H26）より3.9％増加し、「当分は住み続けるつもり」は前回（H26）より1.5％、「勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある」では前回（H26）より1.3％減少している。

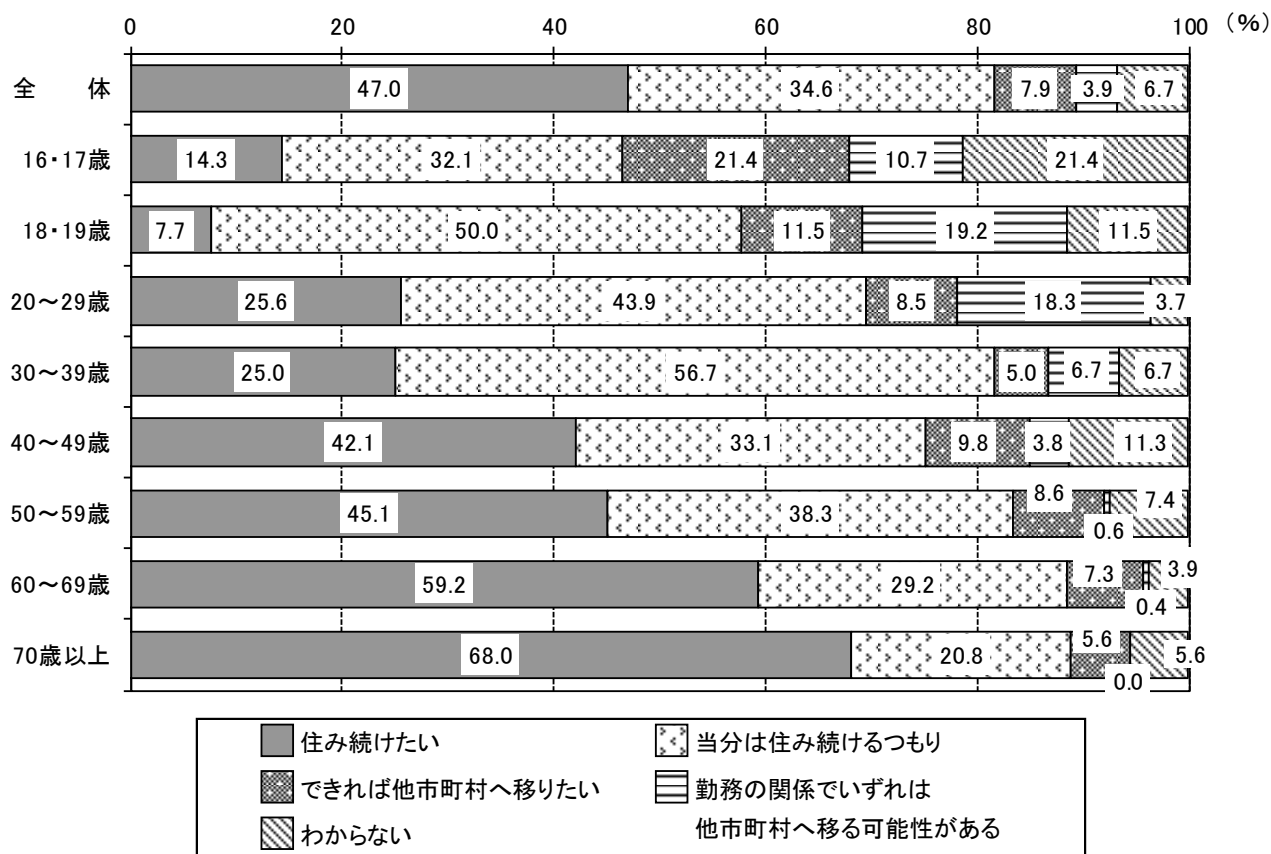
図2-2-1 「今後の居留意向」（過去調査比較）



「今後の居留意向」について年代別にみると、「住み続けたい」は年代が上がるにつれて高くなっており、「18・19歳」(7.7%)と「70歳以上」(68.0%)とでは60.3%の差がある。

「できれば他市町村へ移りたい」では「16・17歳」(21.4%)、「勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある」では「18・19歳」(19.2%)が高くなっている。

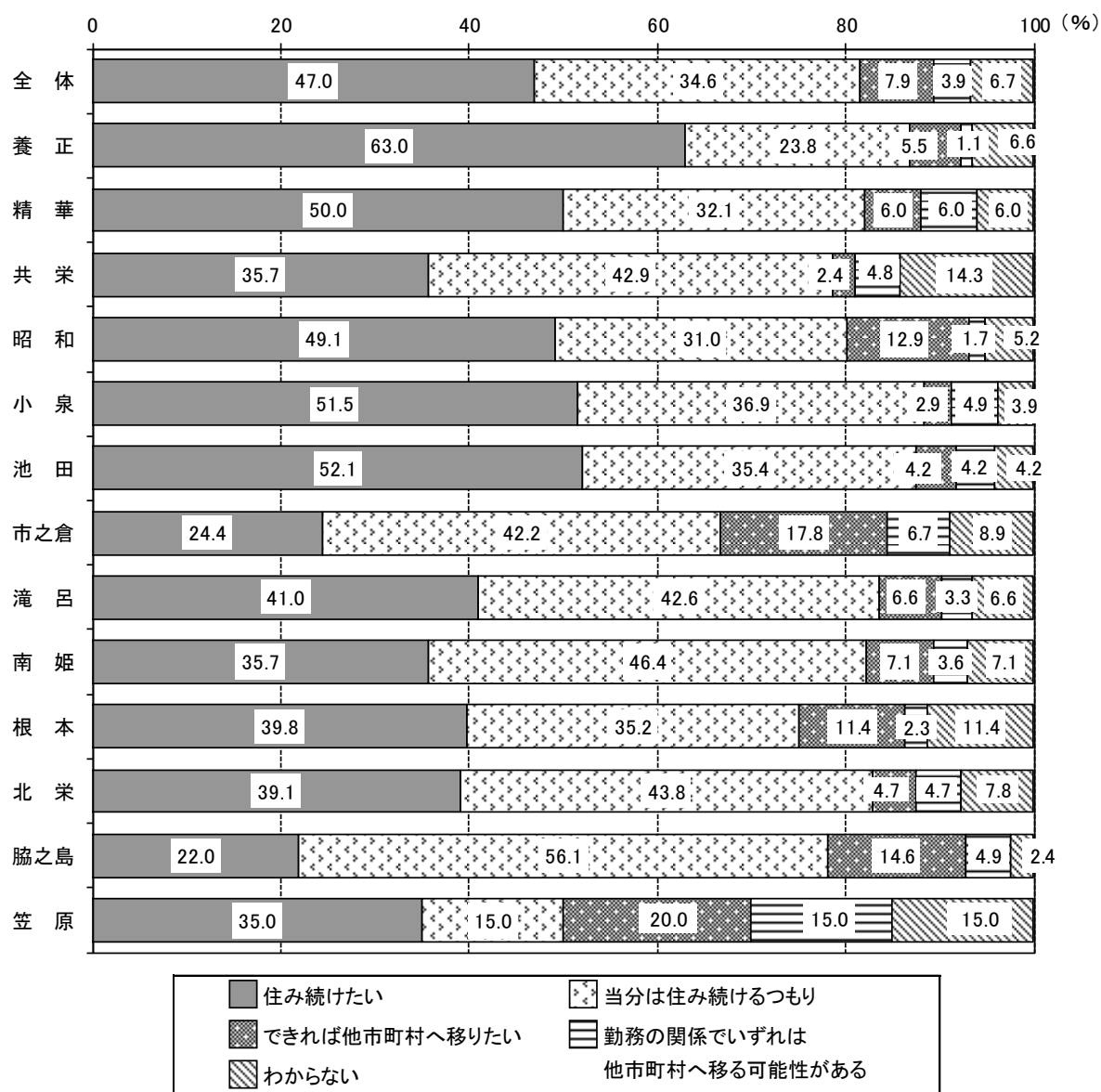
図2-2-2 年代別「今後の居留意向」



「今後の居留意向」について小学校区別にみると、「住み続けたい」では「養正」(63.0%)、「当分は住み続けるつもり」では「脇之島」(56.1%)が最も高くなっている。

また「できれば他市町村へ移りたい」では「笠原」(20.0%)、「勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある」でも「笠原」(15.0%)が高くなっている。

図 2-2-3 小学校区別「今後の居留意向」



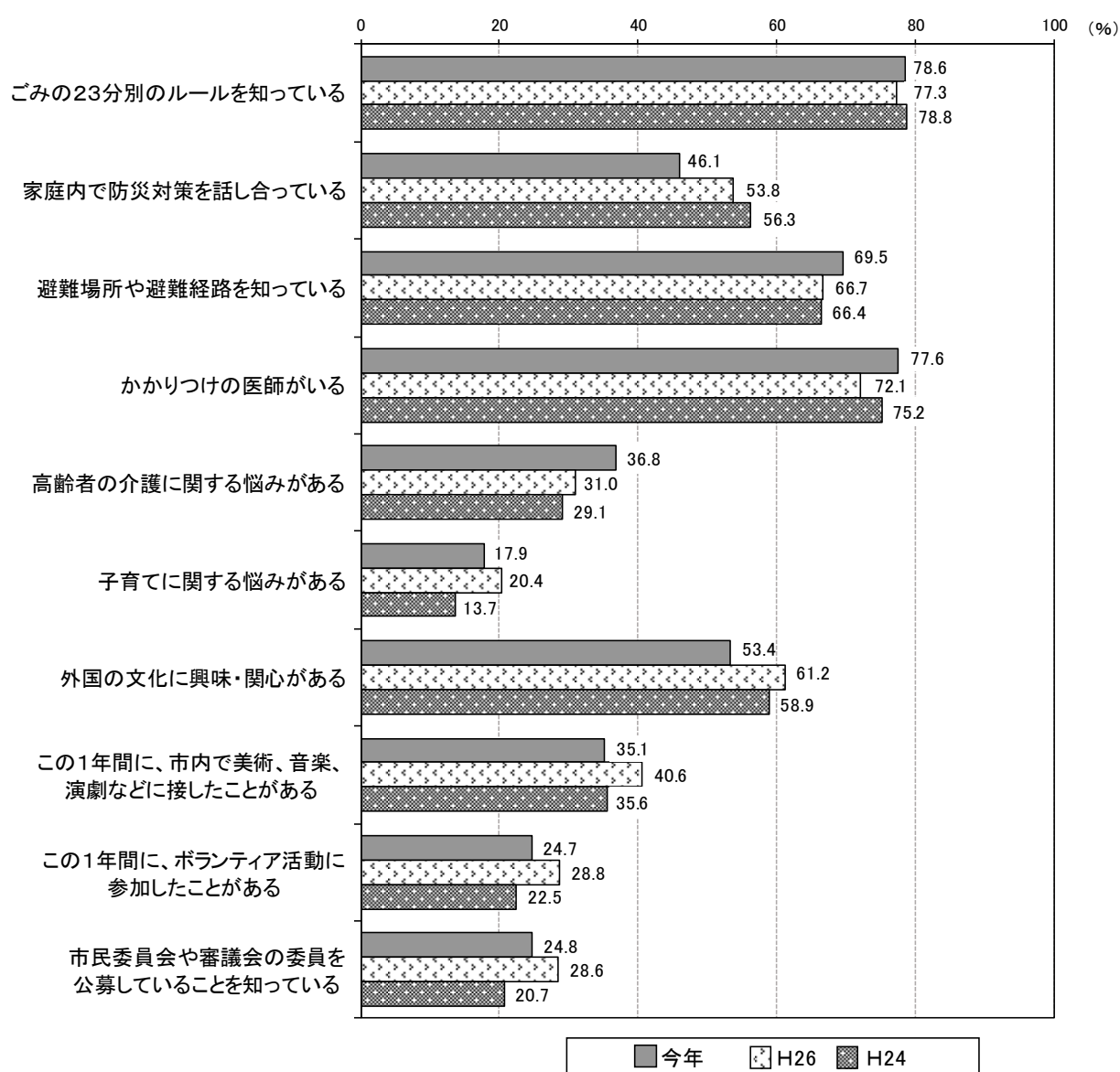
第3章 生活実態及び市民意識

3-1 生活実態及び市民意識

「生活実態及び市民意識」については、「ごみの23分別のルールを知っている」(78.6%)が最も高く、次いで「かかりつけの医師がいる」(77.6%)、「避難場所や避難経路を知っている」(69.5%)となっている。

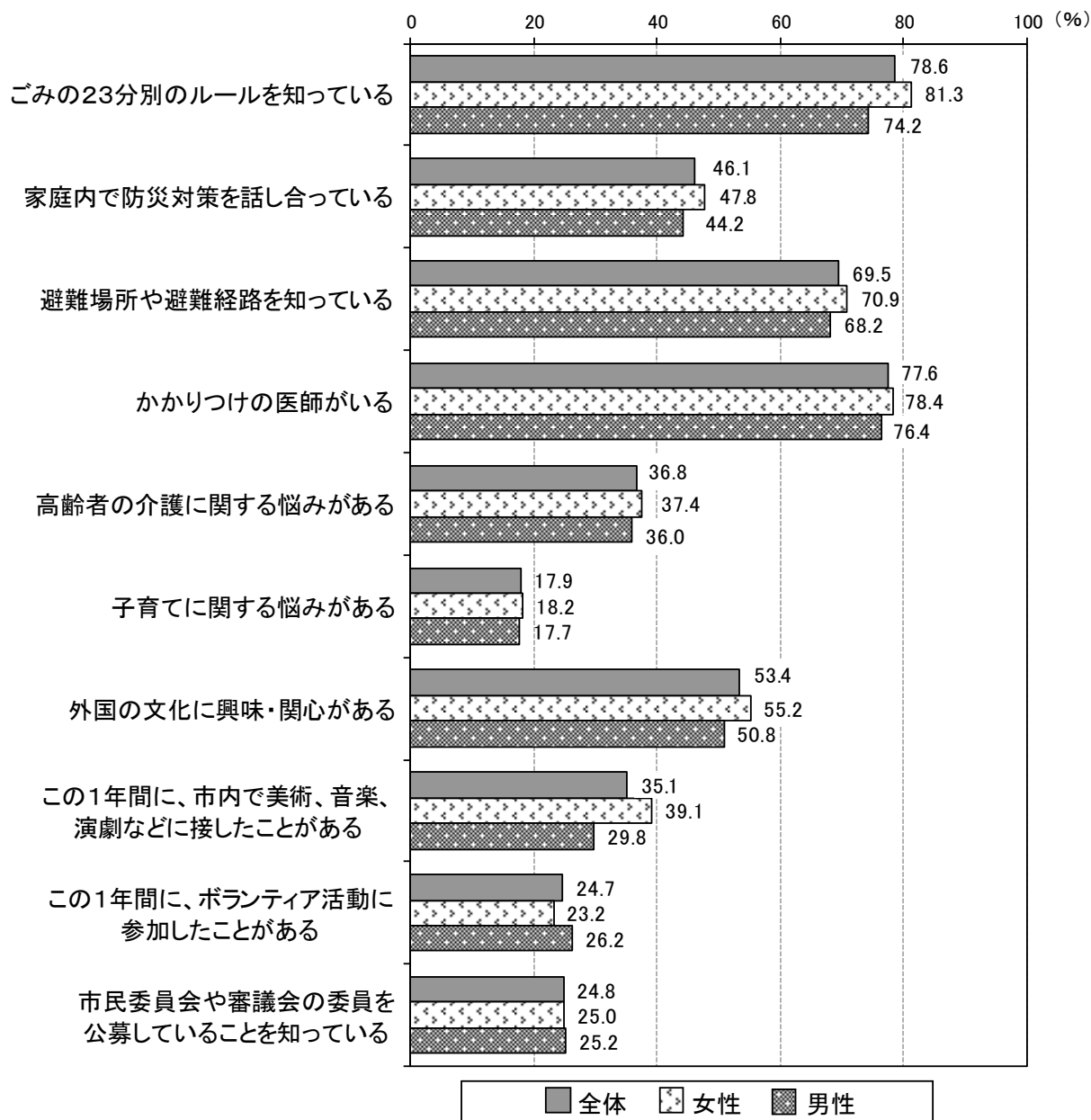
過去調査と比較すると、前回(H26)より減少している項目は6項目あり、中でも「外国の文化に興味・関心がある」(7.8%)、「家庭内で防災対策を話し合っている」(7.7%)が低くなっている。

図3-1-1 「生活実態及び市民意識」(過去調査比較)



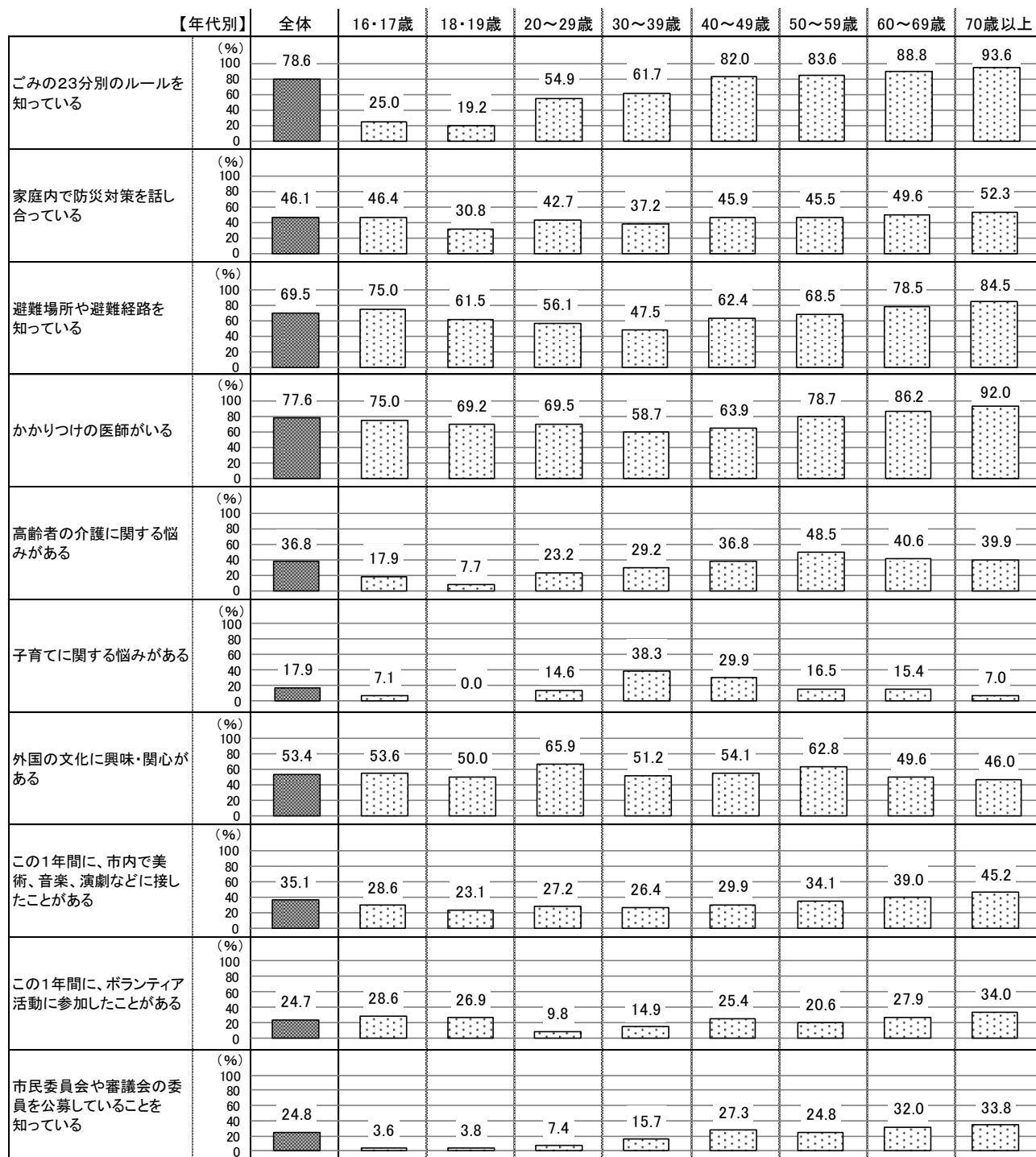
「生活実態及び市民意識」について男女別にみると、女性では「ごみの23分別のルールを知っている」が81.3%、男性では「かかりつけの医師がいる」が76.4%と最も高くなっている。中でも「この1年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがある」では男性よりも女性の方が9.3%、「この1年間に、ボランティア活動に参加したことがある」では女性よりも男性の方が3.0%高くなっている。

図3-1-2 男女別「生活実態及び市民意識」



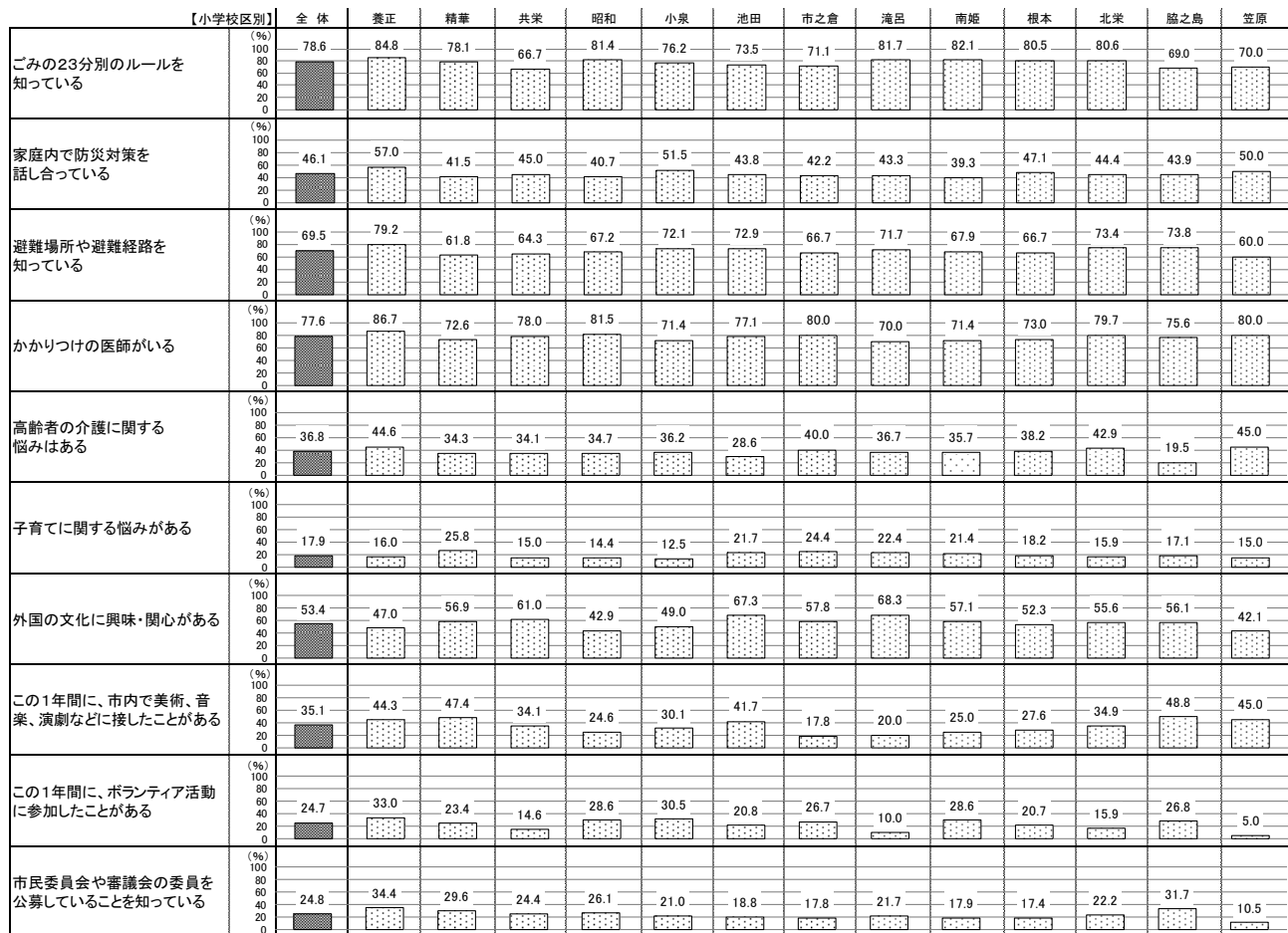
「生活実態及び市民意識」について年代別にみると、「16・17歳」「18・19歳」「20～29歳」では「かかりつけの医師がいる」(75.0%、69.2%、69.5%)、「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」「70歳以上」では「ごみの23分別のルールを知っている」(61.7%、82.0%、83.6%、88.8%、93.6%)がそれぞれ最も高くなっている。「16・17歳」では「避難場所や避難経路を知っている」(75.0%)も最も高くなっている。

図3-1-3 年代別「生活実態及び市民意識」



「生活実態及び市民意識」について小学校区別にみると、「精華」「小泉」「滝呂」「南姫」「根本」「北栄」では「ごみの23分別のルールを知っている」(78.1%、76.2%、81.7%、82.1%、80.5%、80.6%)、「養正」「共栄」「昭和」「池田」「市之倉」「脇之島」「笠原」では「かかりつけの医師がいる」(86.7%、78.0%、81.5%、77.1%、80.0%、75.6%、80.0%)がそれぞれ最も高くなっている。

図3-1-4 小学校区別「生活実態及び市民意識」



第4章 市政全般について

4-1 市政への満足度

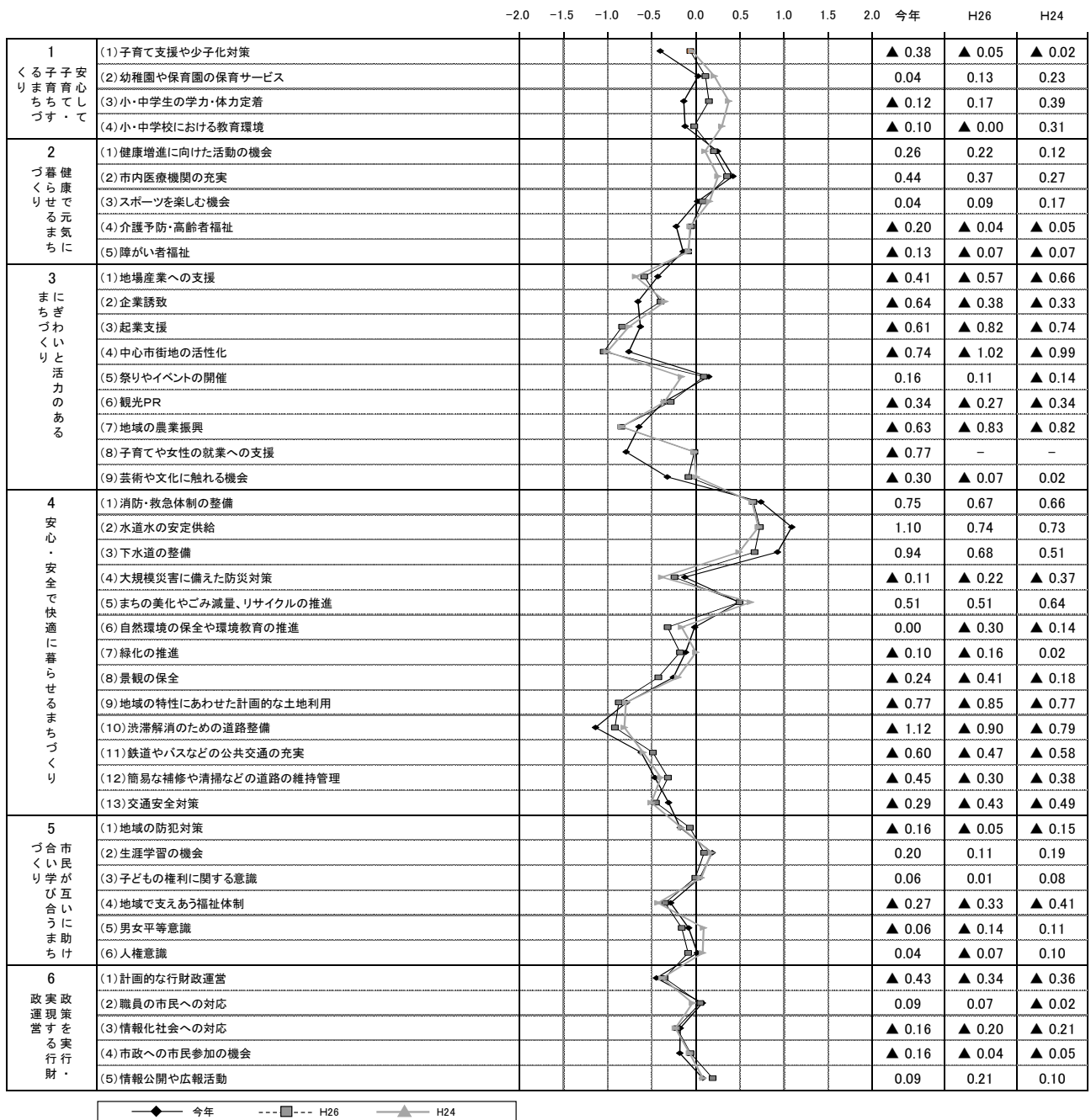
「市政への満足度」について尋ねたところ、プラスだった項目は、42 項目中以下の 15 項目となっている。

- ・「水道水の安定供給」(1.10 ポイント)
- ・「下水道の整備」(0.94 ポイント)
- ・「消防・救急体制の整備」(0.75 ポイント)
- ・「まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進」(0.51 ポイント)
- ・「市内医療機関の充実」(0.44 ポイント)
- ・「健康増進に向けた活動の機会」(0.26 ポイント)
- ・「生涯学習の機会」(0.20 ポイント)
- ・「祭りやイベントの開催」(0.16 ポイント)
- ・「職員の市民への対応」(0.09 ポイント)
- ・「情報公開や広報活動」(0.09 ポイント)
- ・「子どもの権利に関する意識」(0.06 ポイント)
- ・「幼稚園や保育園の保育サービス」(0.04 ポイント)
- ・「スポーツを楽しむ機会」(0.04 ポイント)
- ・「人権意識」(0.04 ポイント)
- ・「自然環境の保全や環境教育の推進」(0.00 ポイント)

一方、マイナス評価だった項目は、「渋滞解消のため道路整備」(-1.12 ポイント)、「子育てや女性の就業への支援」(-0.77 ポイント)「地域の特性にあわせた計画的な土地利用」(-0.77 ポイント)、「中心市街地の活性化」(-0.74 ポイント) など 42 項目中 27 項目となっている。

過去調査と比較すると、マイナス評価からプラス評価に転じた項目は 2 項目あり、中でも「人権意識」では、平成 26 年度 (-0.07 ポイント) と今年 (0.04 ポイント) で 0.11 ポイント上昇、「自然環境の保全や環境教育の推進」は、平成 26 年度 (-0.30 ポイント) と今年 (0.00 ポイント) で 0.30 ポイント上昇している。一方、プラス評価からマイナス評価に転じた項目は 1 項目あり、「小・中学生の学力・体力定着」は、平成 26 年度 (0.17 ポイント) と今年 (-0.12 ポイント) で 0.29 ポイント下降している。

図 4-1-1 「市政への満足度」



※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

「市政への満足度」について年代別に全項目をみると、「18・19 歳」の満足度が高く、「評価がプラスの項目」は 42 項目中 34 項目、「最も評価の高い項目」は 24 項目、「最も評価の低い項目」は 2 項目となっている。次いで「20～29 歳」は、「評価がプラスの項目」が 42 項目中 25 項目、「70 歳以上」では 24 項目となっている。一方「30～39 歳」では満足度が低く、「評価がプラスの項目」は 42 項目中項目、8 項目、「最も評価の高い項目」は 1 項目、「最も評価の低い項目」は 10 項目となっている。

最も満足度が高い項目は「20～29 歳」「70 歳以上」の「水道水の安定供給」(1.11 ポイント)で、次いで「70 歳以上」の「下水道の整備」(0.98 ポイント)、「40～49 歳」「30～39 歳」「60～69 歳」の「水道水の安定供給」(0.96 ポイント、0.92 ポイント、0.90 ポイント)となっている。一方、最も満足度が低い項目は「50～59 歳」の「渋滞解消のための道路整備」(-1.15 ポイント)で、次いで「40～49 歳」「30～39 歳」「60～69 歳」の同項目(-1.12 ポイント、-1.05 ポイント、-0.98 ポイント)となっている。

表 4-1-1 年代別「市政への満足度」

		全体	16・17歳	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1 くる子育安心 子育て心 つづけて	(1)子育て支援や少子化対策	▲ 0.38	▲ 0.07	▲ 0.04	▲ 0.26	▲ 0.47	▲ 0.35	▲ 0.05	▲ 0.21	0.01
	(2)幼稚園や保育園の保育サービス	0.04	0.04	0.42	0.07	▲ 0.17	▲ 0.11	▲ 0.01	▲ 0.00	0.18
	(3)小・中学生の学力・体力定着	▲ 0.12	0.18	0.31	0.00	▲ 0.19	▲ 0.22	▲ 0.12	▲ 0.03	0.05
	(4)小・中学校における教育環境	▲ 0.10	0.11	0.19	▲ 0.05	▲ 0.27	▲ 0.27	▲ 0.12	▲ 0.03	0.16
2 暮健康 くらし を元気に する	(1)健康増進に向けた活動の機会	0.26	0.07	0.04	0.12	0.05	0.01	0.10	0.24	0.31
	(2)市内医療機関の充実	0.44	0.50	0.50	0.35	0.03	0.20	0.28	0.36	0.67
	(3)スポーツを楽しむ機会	0.04	0.21	0.19	0.04	▲ 0.10	▲ 0.01	0.00	0.04	0.06
	(4)介護予防・高齢者福祉	▲ 0.20	0.00	0.00	0.07	▲ 0.14	▲ 0.14	▲ 0.27	▲ 0.22	0.00
	(5)障がい者福祉	▲ 0.13	▲ 0.04	0.12	0.01	▲ 0.07	▲ 0.13	▲ 0.12	▲ 0.15	0.10
3 まちづくり と活力の ある	(1)地場産業への支援	▲ 0.41	0.04	0.19	▲ 0.09	▲ 0.14	▲ 0.22	▲ 0.41	▲ 0.22	▲ 0.11
	(2)企業誘致	▲ 0.64	0.24	▲ 0.14	▲ 0.04	▲ 0.17	▲ 0.34	▲ 0.45	▲ 0.48	▲ 0.38
	(3)起業支援	▲ 0.61	▲ 0.11	▲ 0.12	▲ 0.18	▲ 0.17	▲ 0.14	▲ 0.33	▲ 0.32	▲ 0.21
	(4)中心市街地の活性化	▲ 0.74	▲ 0.21	0.04	▲ 0.27	▲ 0.48	▲ 0.53	▲ 0.67	▲ 0.64	▲ 0.68
	(5)祭りやイベントの開催	0.16	0.57	0.42	0.32	0.18	0.16	▲ 0.05	0.06	0.12
	(6)観光PR	▲ 0.34	▲ 0.14	▲ 0.15	▲ 0.22	▲ 0.14	▲ 0.26	▲ 0.33	▲ 0.32	▲ 0.19
	(7)地域の農業振興	▲ 0.63	▲ 0.11	▲ 0.37	▲ 0.16	▲ 0.24	▲ 0.30	▲ 0.30	▲ 0.27	▲ 0.26
	(8)子育てや女性の就業への支援	▲ 0.77	▲ 0.21	0.04	▲ 0.23	▲ 0.66	▲ 0.49	▲ 0.39	▲ 0.39	▲ 0.21
	(9)芸術や文化に触れる機会	▲ 0.30	▲ 0.14	0.19	0.04	▲ 0.23	▲ 0.21	▲ 0.33	▲ 0.27	▲ 0.13
4 安心・安全 で快適に 暮らせる まちづくり	(1)消防・救急体制の整備	0.75	0.50	0.73	0.63	0.39	0.38	0.42	0.64	0.74
	(2)水道水の安定供給	1.10	0.71	0.77	1.11	0.92	0.96	0.85	0.90	1.11
	(3)下水道の整備	0.94	0.54	0.38	0.77	0.72	0.73	0.68	0.78	0.98
	(4)大規模災害に備えた防災対策	▲ 0.11	▲ 0.11	0.19	▲ 0.05	▲ 0.11	▲ 0.07	▲ 0.24	▲ 0.12	0.14
	(5)まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進	0.51	0.29	0.38	0.40	0.28	0.25	0.38	0.41	0.63
	(6)自然環境の保全や環境教育の推進	0.00	0.18	0.23	0.32	▲ 0.06	▲ 0.08	▲ 0.05	▲ 0.11	0.11
	(7)緑化の推進	▲ 0.10	0.11	0.15	0.17	▲ 0.09	▲ 0.20	▲ 0.07	▲ 0.15	▲ 0.02
	(8)景観の保全	▲ 0.24	▲ 0.14	0.31	0.15	▲ 0.24	▲ 0.29	▲ 0.28	▲ 0.22	▲ 0.09
	(9)地域の特性にあわせた計画的な土地利用	▲ 0.77	▲ 0.29	0.00	▲ 0.21	▲ 0.50	▲ 0.60	▲ 0.50	▲ 0.54	▲ 0.26
	(10)渋滞解消のための道路整備	▲ 1.12	▲ 0.04	▲ 0.73	▲ 0.90	▲ 1.05	▲ 1.12	▲ 1.15	▲ 0.98	▲ 0.73
	(11)鉄道やバスなどの公共交通の充実	▲ 0.60	▲ 0.29	▲ 0.69	▲ 0.41	▲ 0.63	▲ 0.87	▲ 0.65	▲ 0.51	▲ 0.16
	(12)簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	▲ 0.45	▲ 0.07	0.04	0.01	▲ 0.35	▲ 0.44	▲ 0.55	▲ 0.56	▲ 0.17
	(13)交通安全対策	▲ 0.29	▲ 0.04	0.12	0.10	▲ 0.33	▲ 0.39	▲ 0.38	▲ 0.31	0.01
5 つくる 市民が 互いに 支えあ うまち	(1)地域の防犯対策	▲ 0.16	0.18	0.04	0.04	▲ 0.26	▲ 0.16	▲ 0.17	▲ 0.15	▲ 0.00
	(2)生涯学習の機会	0.20	▲ 0.11	0.08	▲ 0.04	0.04	0.17	▲ 0.01	0.16	0.25
	(3)子どもの権利に関する意識	0.06	▲ 0.14	0.42	0.18	▲ 0.06	0.14	0.03	▲ 0.04	▲ 0.01
	(4)地域で支えあう福祉体制	▲ 0.27	▲ 0.21	0.12	0.09	▲ 0.15	▲ 0.13	▲ 0.22	▲ 0.25	▲ 0.13
	(5)男女平等意識	▲ 0.06	0.18	0.50	0.09	▲ 0.23	▲ 0.06	▲ 0.13	▲ 0.09	0.08
	(6)人権意識	0.04	0.07	0.35	0.21	▲ 0.15	0.01	0.01	▲ 0.07	0.11
6 政実政 運現策 営する 実行財・	(1)計画的な行財政運営	▲ 0.43	▲ 0.36	▲ 0.08	▲ 0.27	▲ 0.20	▲ 0.27	▲ 0.24	▲ 0.26	▲ 0.06
	(2)職員の市民への対応	0.09	▲ 0.27	0.12	▲ 0.01	▲ 0.01	▲ 0.07	▲ 0.04	0.05	0.39
	(3)情報化社会への対応	▲ 0.16	▲ 0.14	0.15	0.01	▲ 0.04	▲ 0.16	▲ 0.24	▲ 0.13	0.05
	(4)市政への市民参加の機会	▲ 0.16	▲ 0.27	0.00	▲ 0.17	▲ 0.01	▲ 0.10	▲ 0.17	▲ 0.10	0.01
	(5)情報公開や広報活動	0.09	0.07	0.12	0.16	▲ 0.05	▲ 0.02	0.01	0.03	0.20

評価がプラスの項目(全42項目中)	15	20	34	25	8	10	10	11	24
全体よりも評価が低い項目(全42項目中)		11	7	9	22	22	30	21	3
最も評価の高い項目数(全42項目中)		9	24	5	1	2	0	2	0
最も評価の低い項目数(全42項目中)		6	2	0	10	9	10	5	0

▲ : マイナス
■ : 全体よりも評価の低いもの
下線
斜体 : 各項目で最も評価の高いもの
斜体 : 各項目で最も評価の低いもの

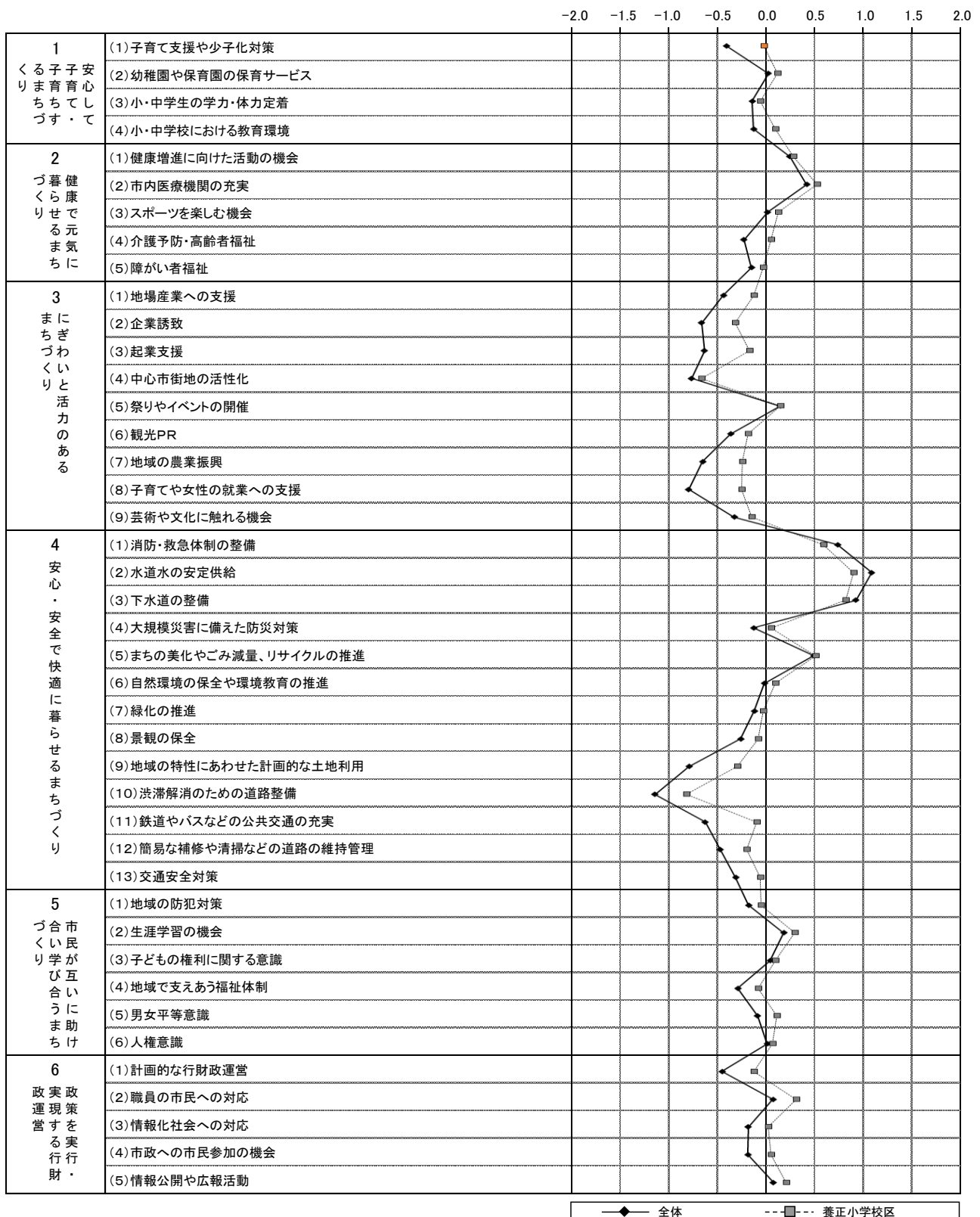
最も満足度が高い項目は、「池田」の「水道水の安定供給」(1.16 ポイント)となっている。一方、最も満足度が低い項目は、「市之倉」の「渋滞解消のため道路整備」(-1.49 ポイント)、次いで「共栄」の同項目(-1.21 ポイント)となっている。

表4-1-2 小学校区別「市政への満足度」

評価がプラスの項目(全42項目中)	15	22	13	8	11	12	28	7	13	25	8	11	27	14
全体よりも評価が低い項目(全42項目中)		3	19	27	17	16	2	27	18	13	24	23	5	21
最も評価の高い項目数(全42項目中)		3	0	0	0	1	20	0	0	5	0	1	12	2
最も評価の低い項目数(全42項目中)		0	1	6	1	0	0	14	2	2	6	1	0	9

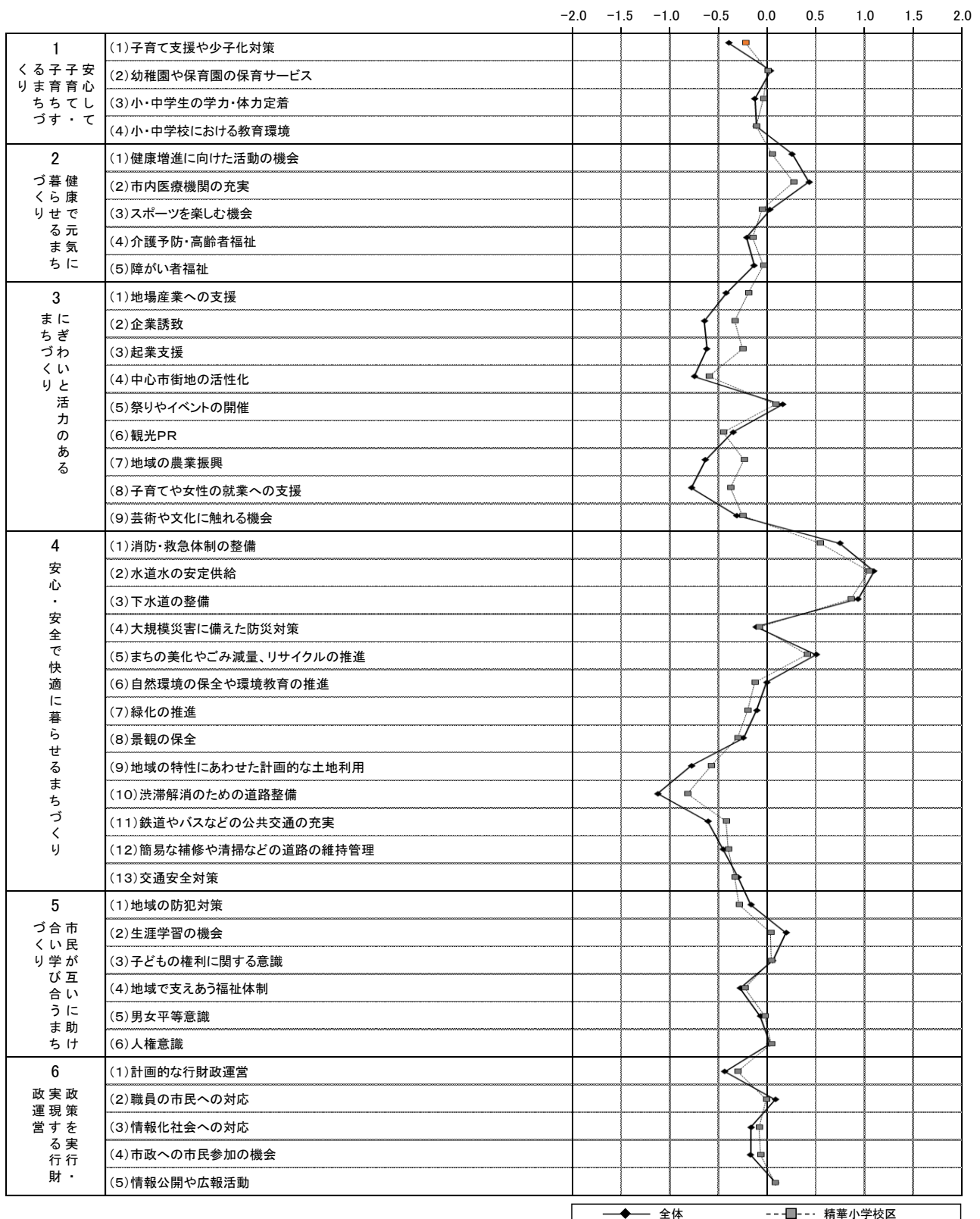
- 18 -

図 4-1-2 「市政への満足度」(養正小学校区)



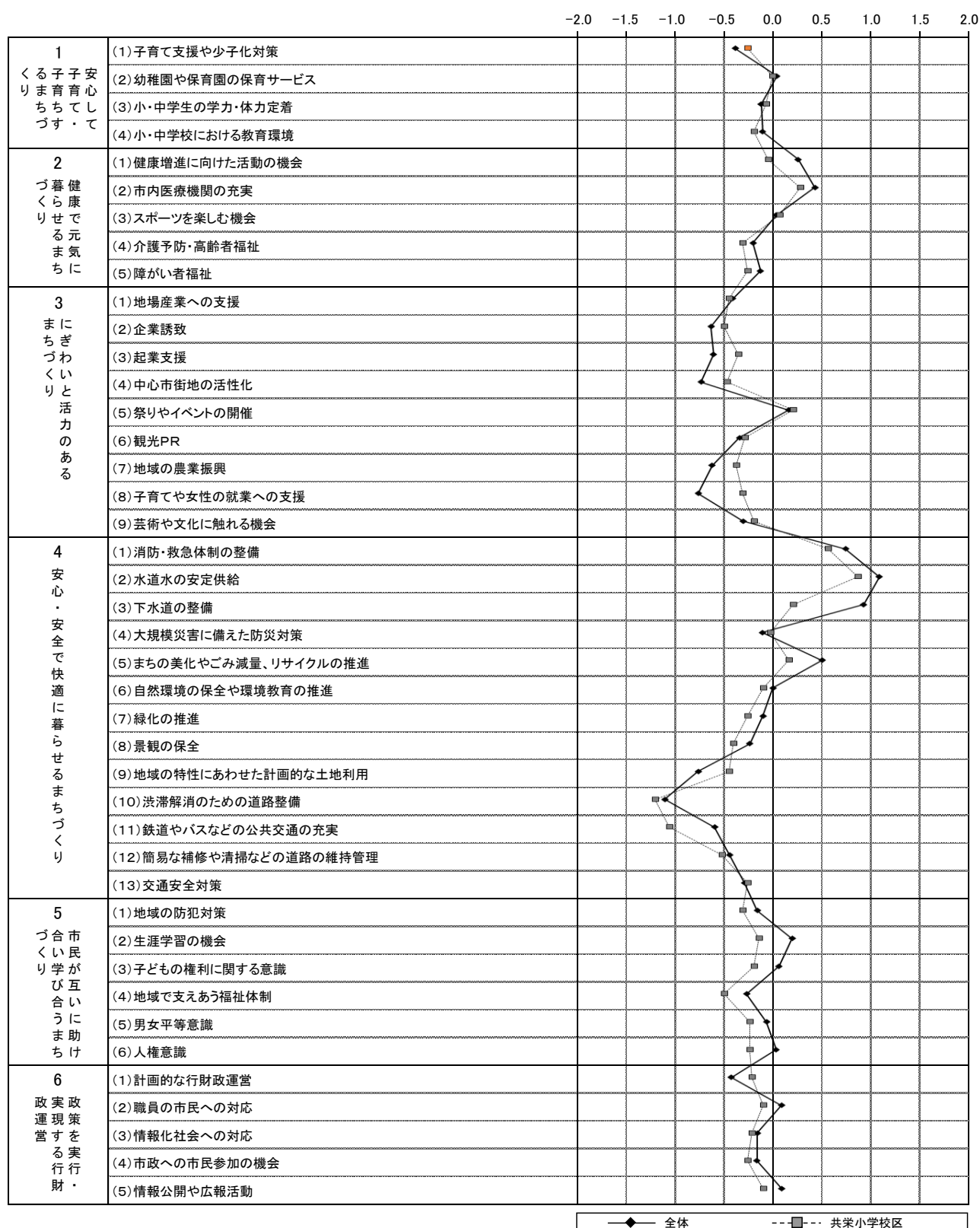
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 4 - 1 - 3 「市政への満足度」(精華小学校区)



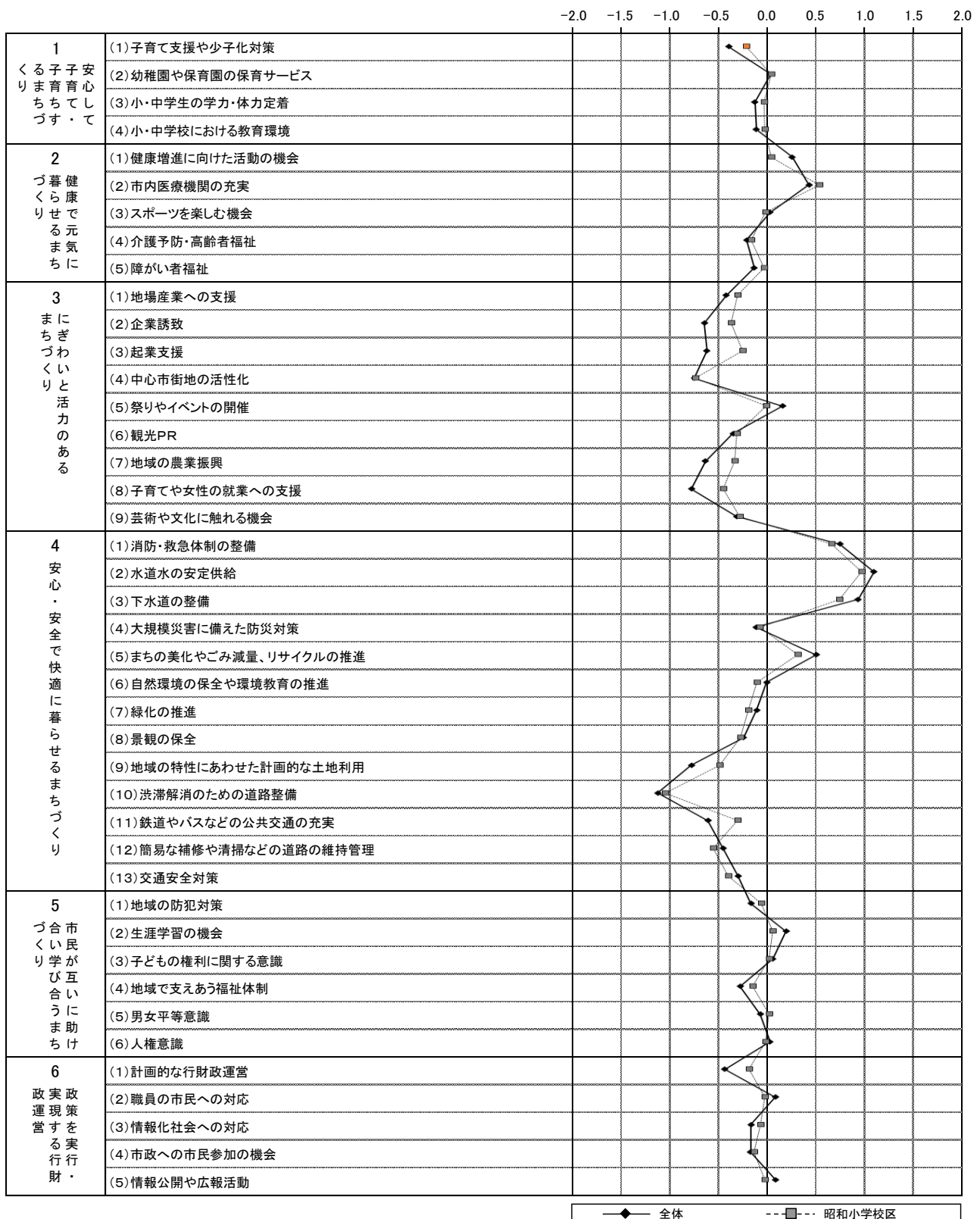
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 4 - 1 - 4 「市政への満足度」(共栄小学校区)



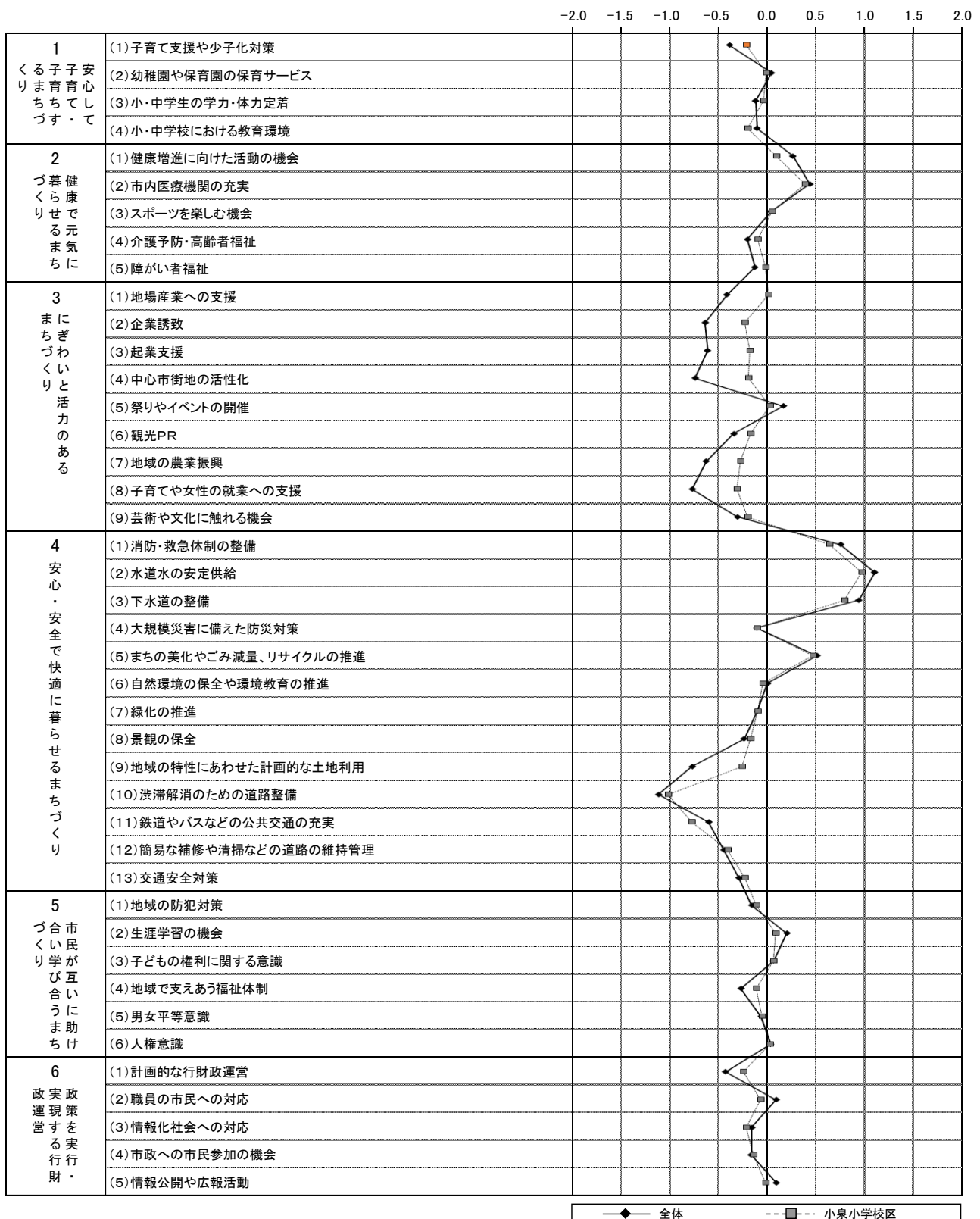
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 4 - 1 - 5 「市政への満足度」(昭和小学校区)



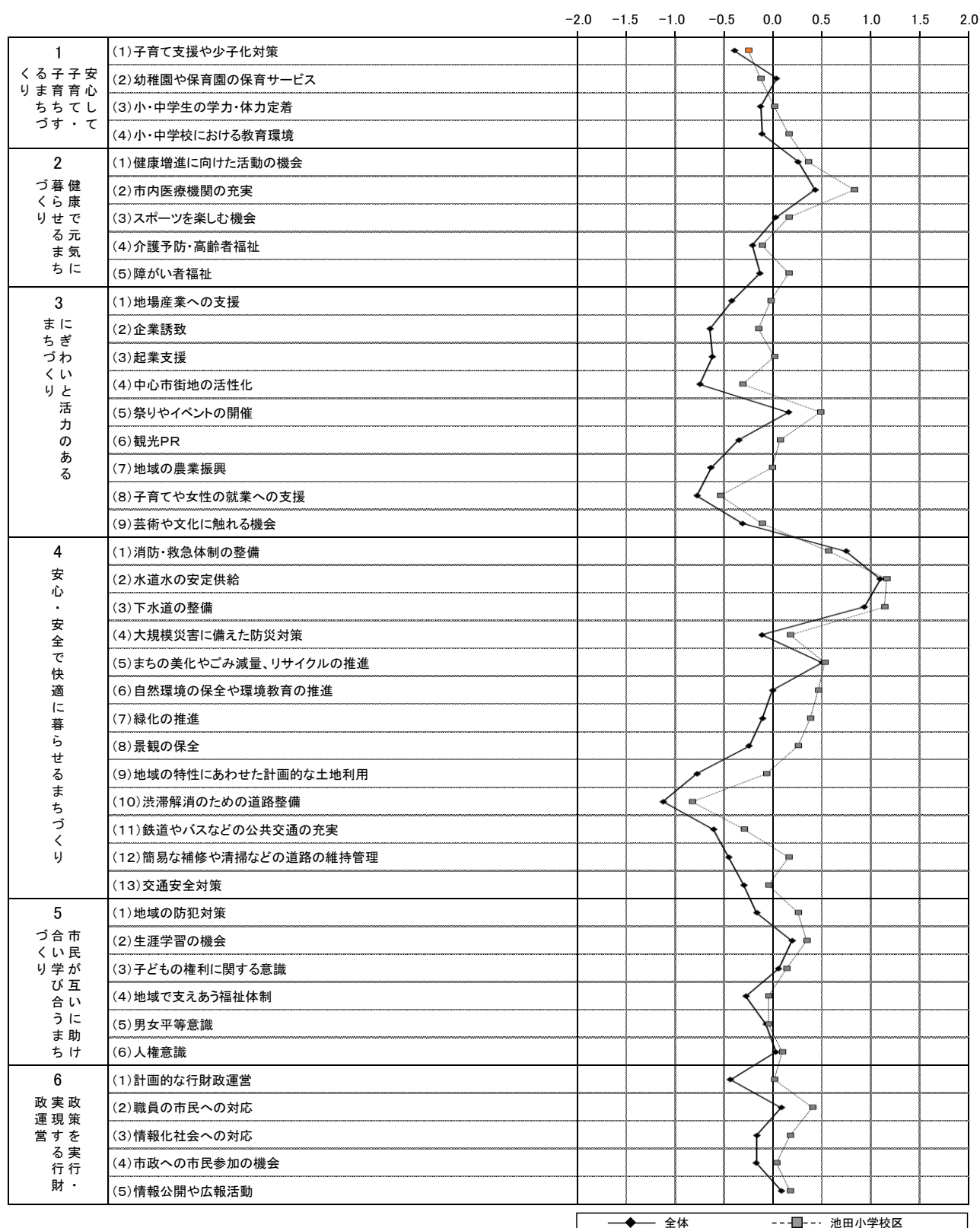
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 4-1-6 「市政への満足度」(小泉小学校区)



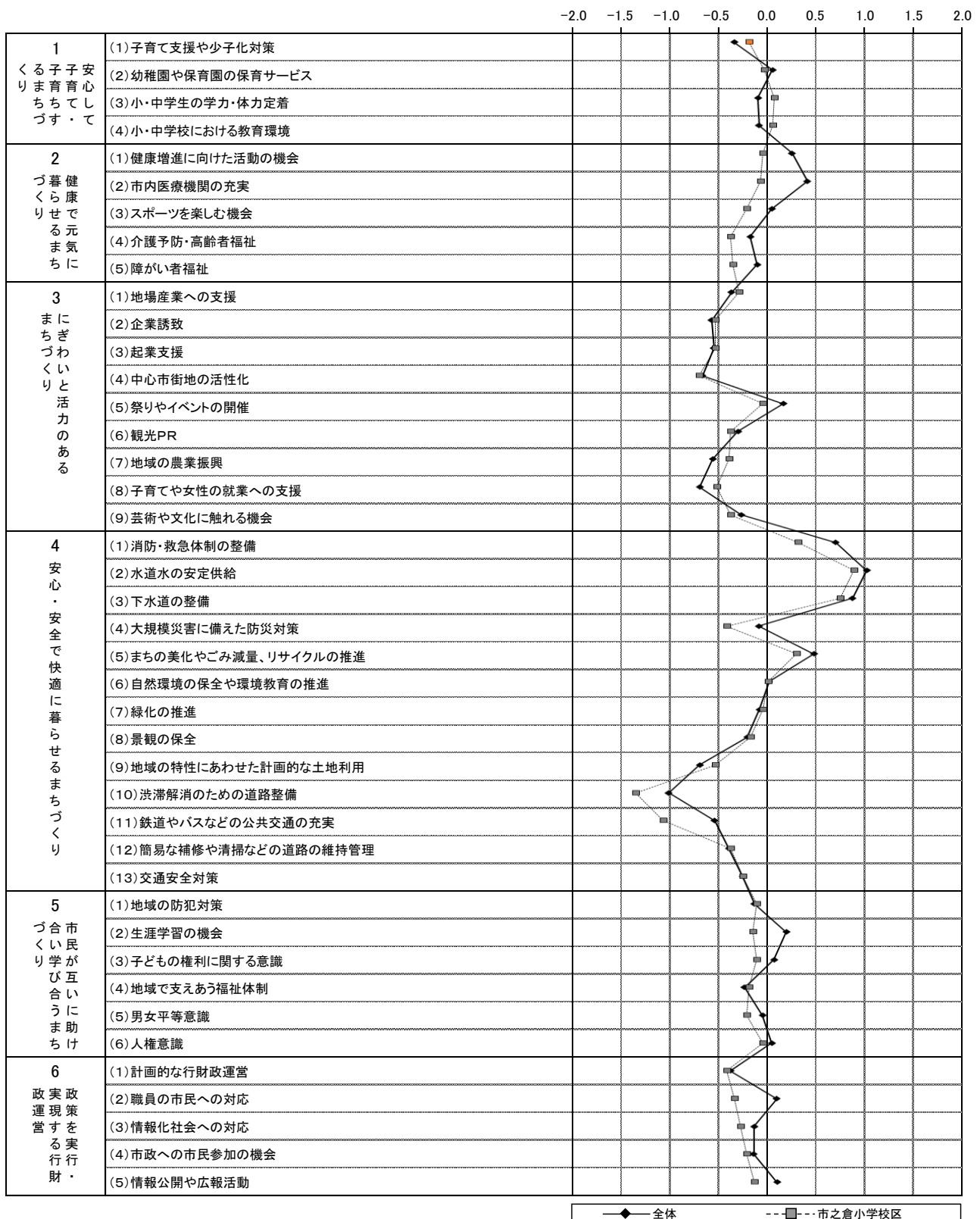
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 4-1-7 「市政への満足度」(池田小学校区)



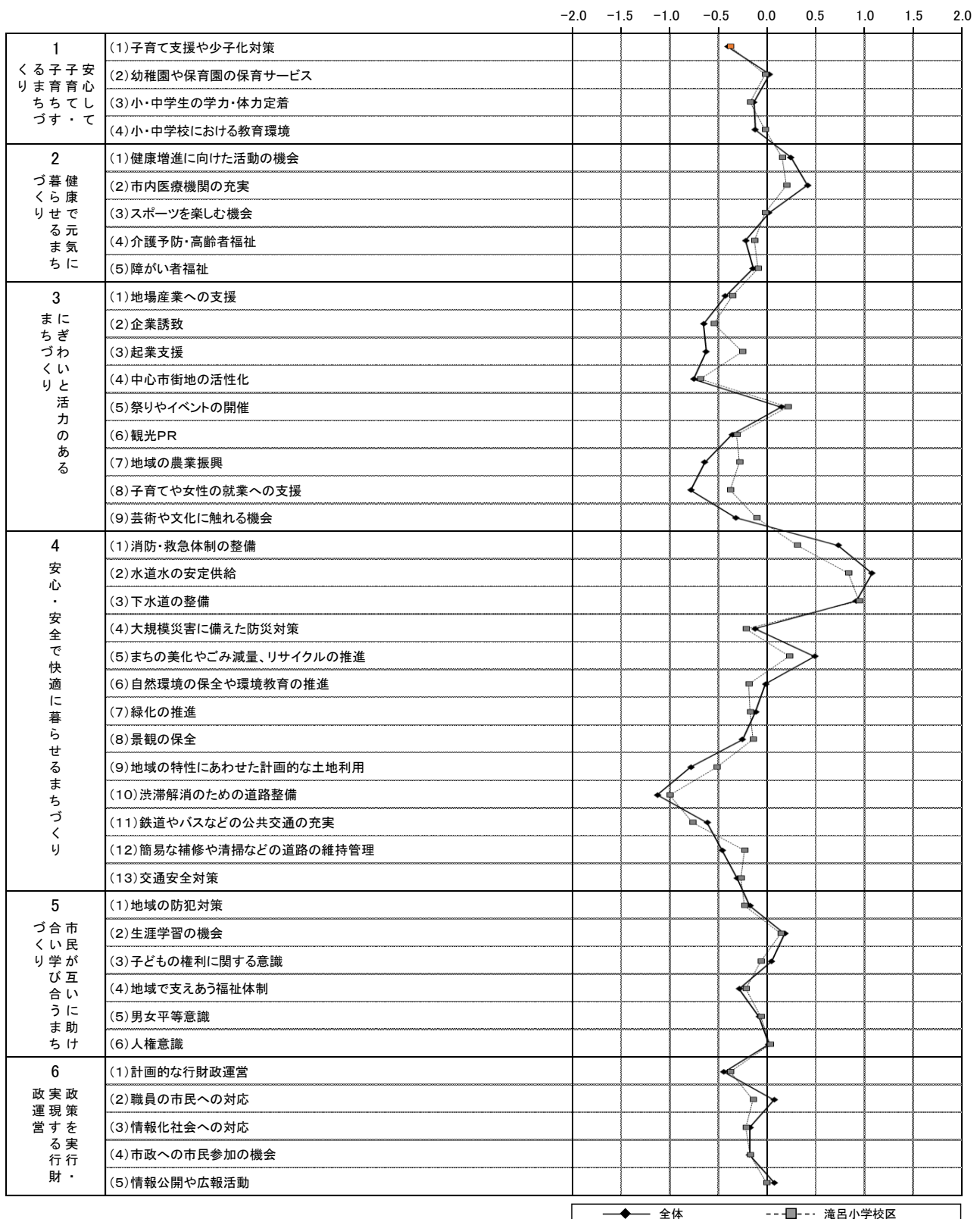
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 4-1-8 「市政への満足度」(市之倉小学校区)



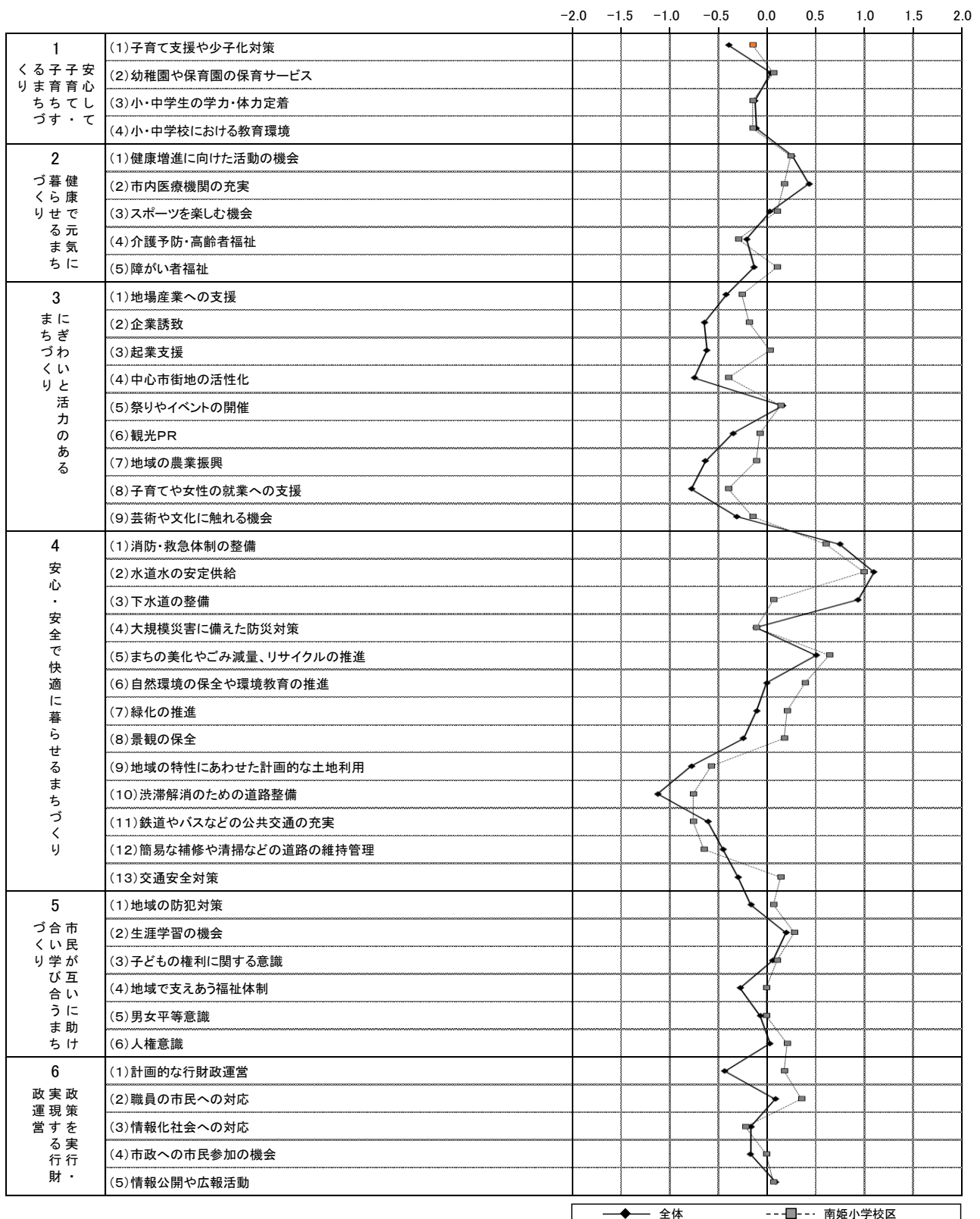
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 4-1-9 「市政への満足度」(滝呂小学校区)



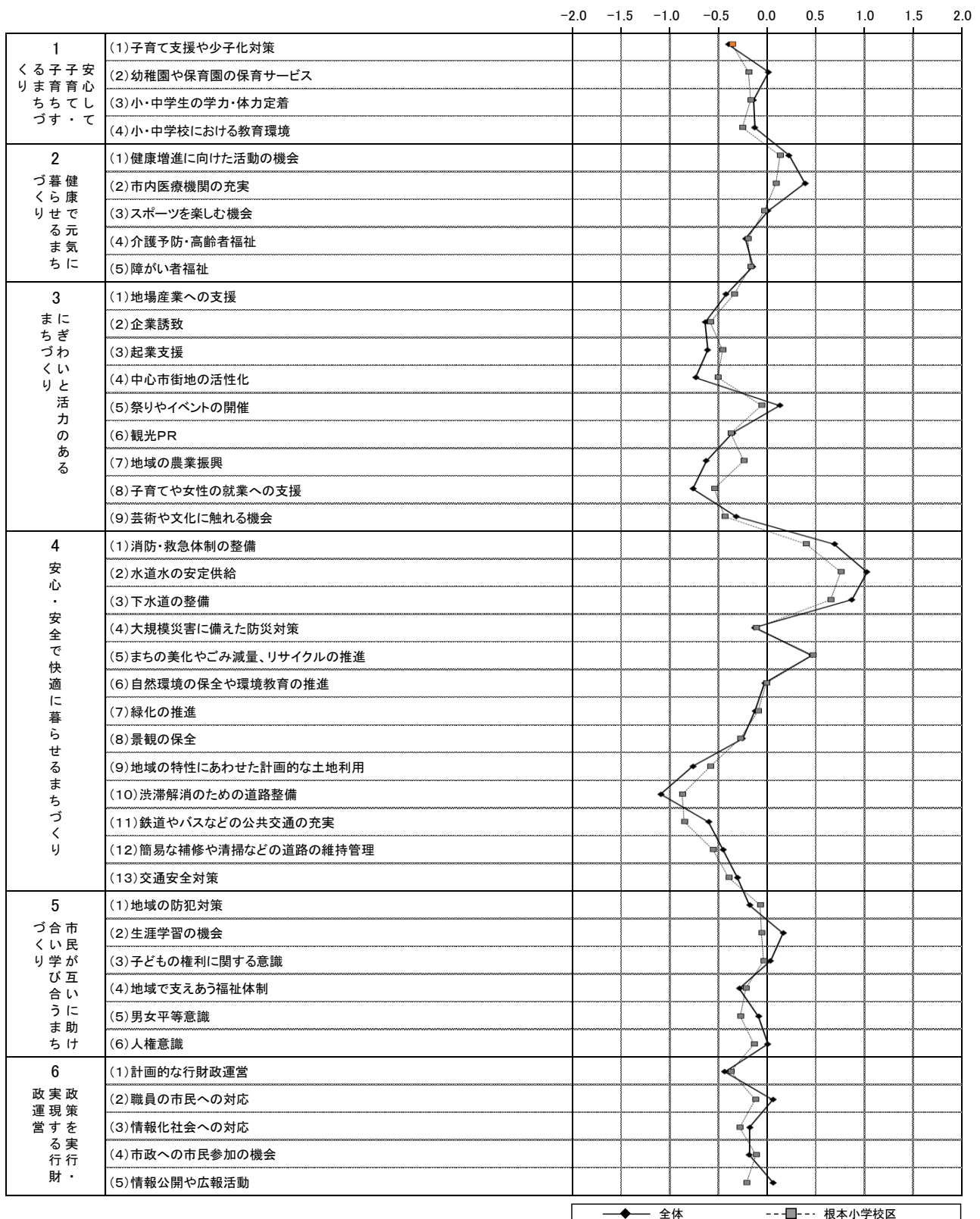
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 4-1-10 「市政への満足度」(南姫小学校区)



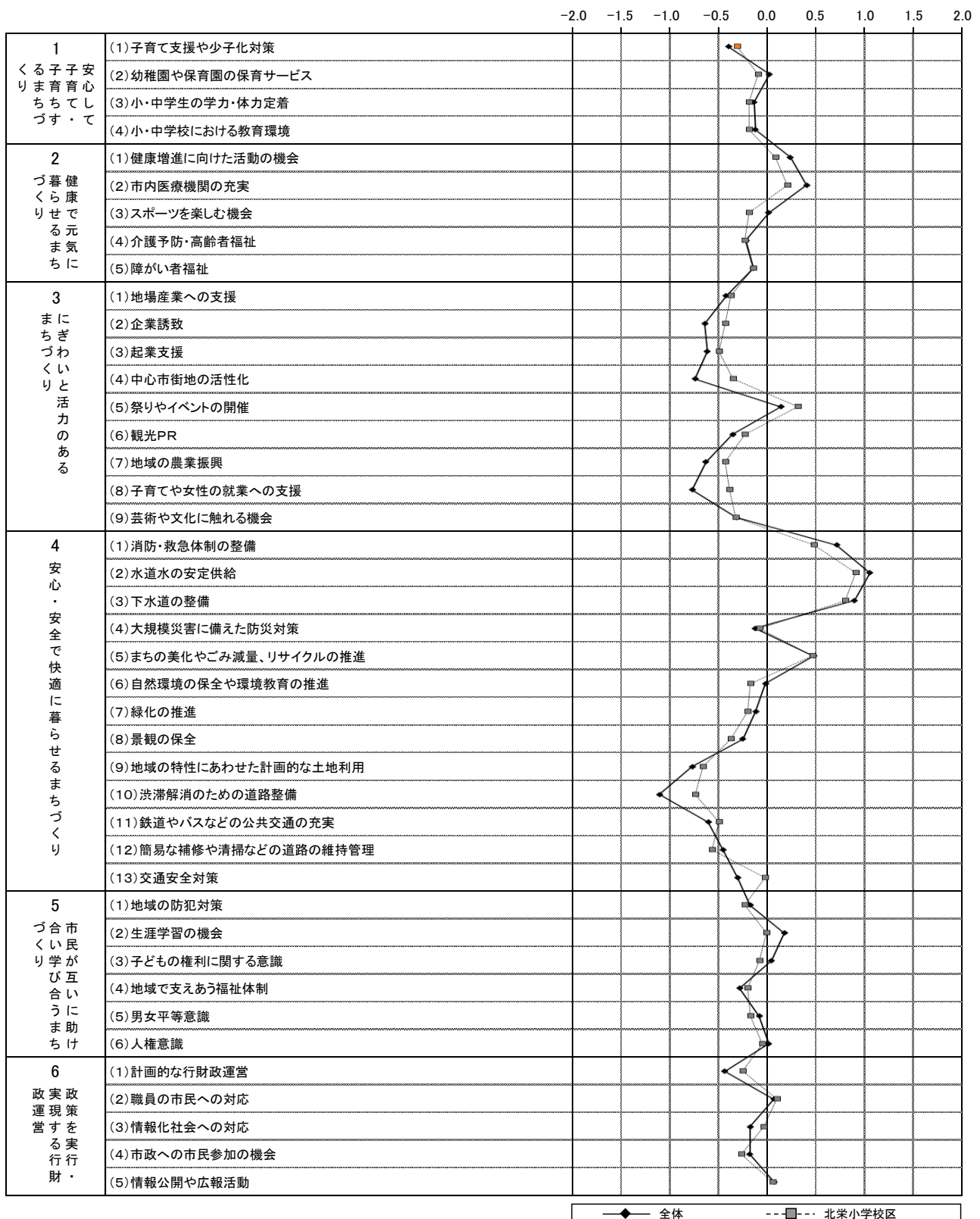
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 4-1-11 「市政への満足度」(根本小学校区)



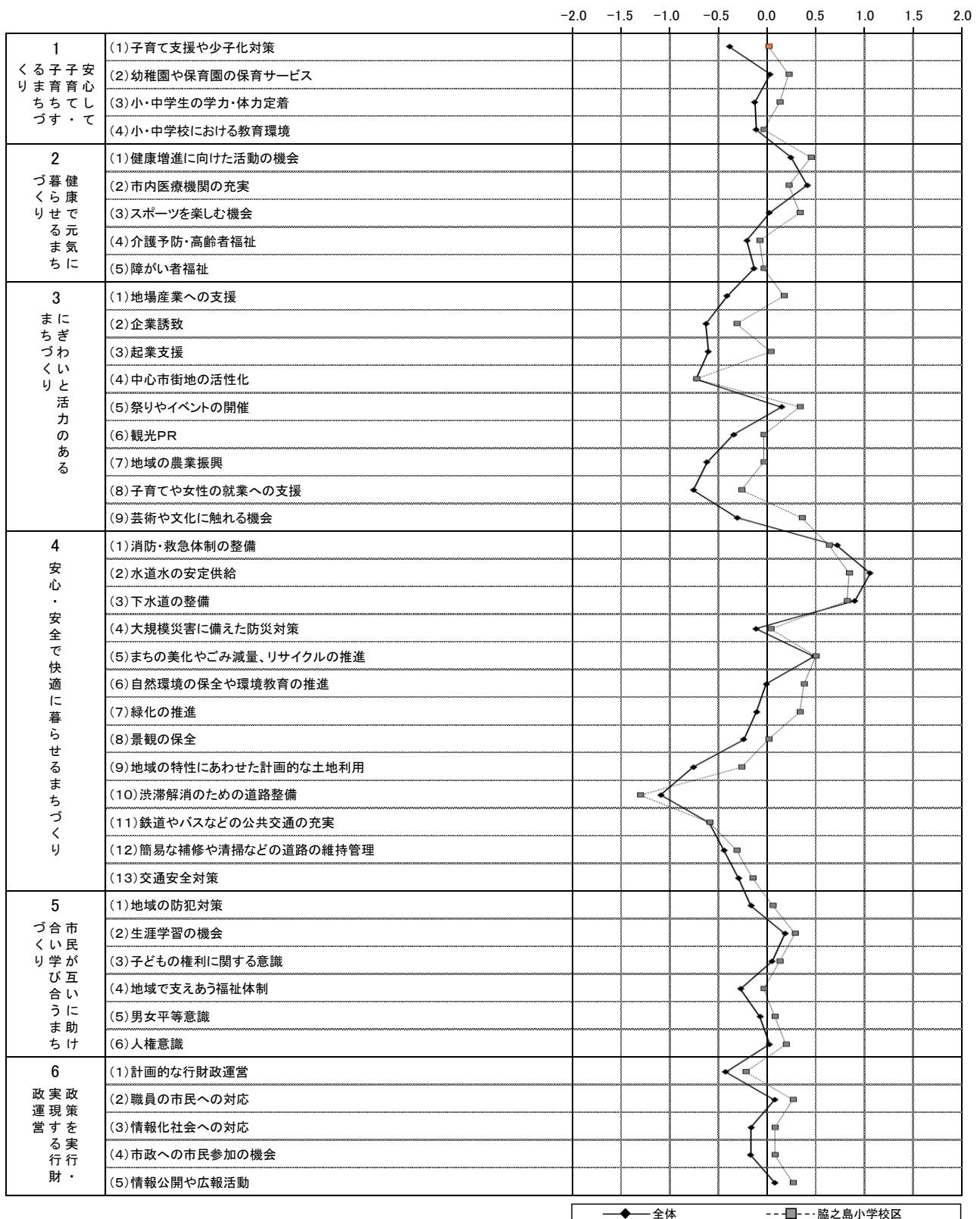
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 4 - 1 - 1 2 「市政への満足度」(北栄小学校区)



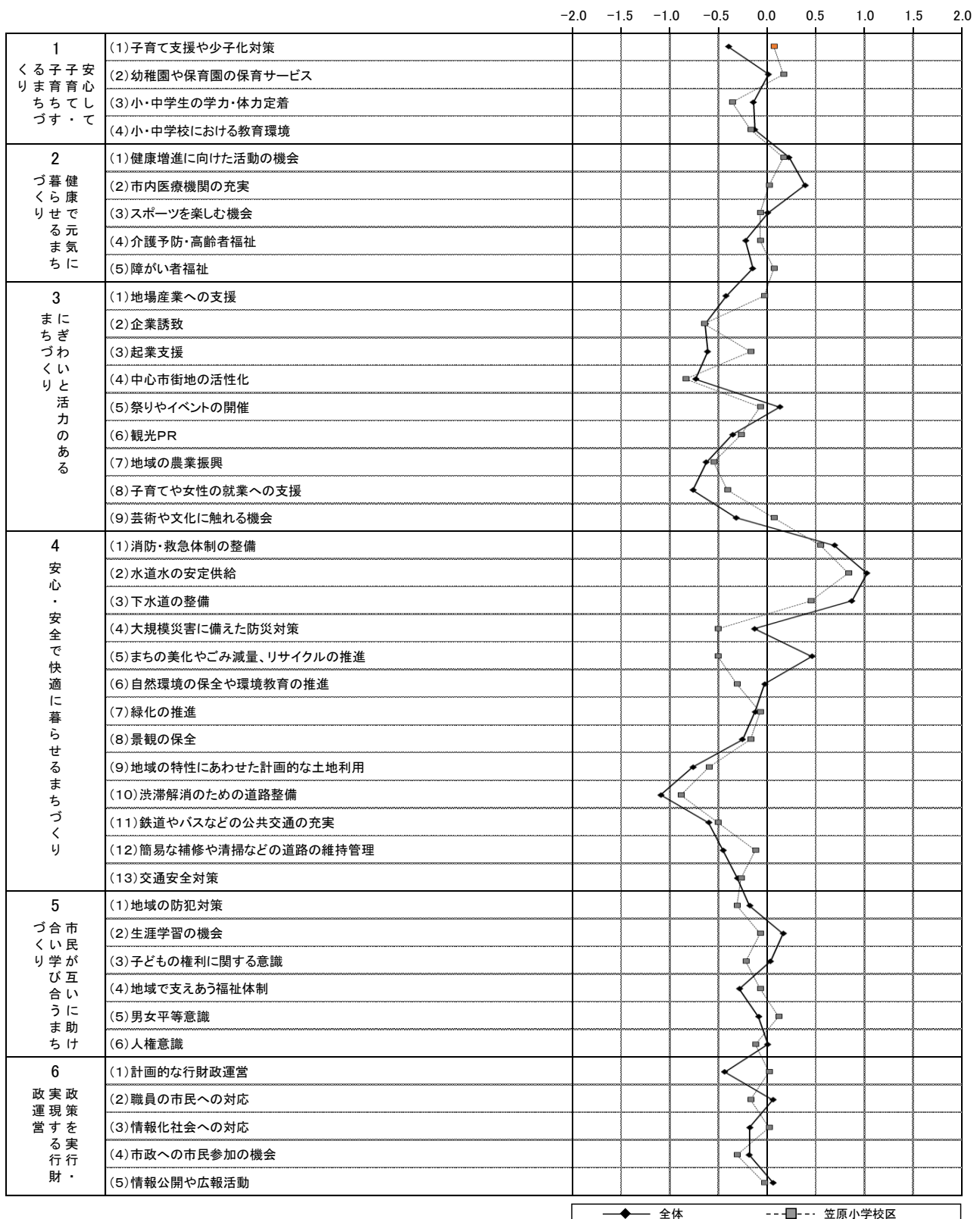
※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 4 - 1 - 1 3 「市政への満足度」(脇之島小学校区)



※集計の際、「満足」2点、「やや満足」1点、「やや不満」-1点、「不満」-2点として計算した。

図 4 - 1 - 1 4 「市政への満足度」(笠原小学校区)



※集計の際、「満足」 2 点、「やや満足」 1 点、「やや不満」 - 1 点、「不満」 - 2 点として計算した。

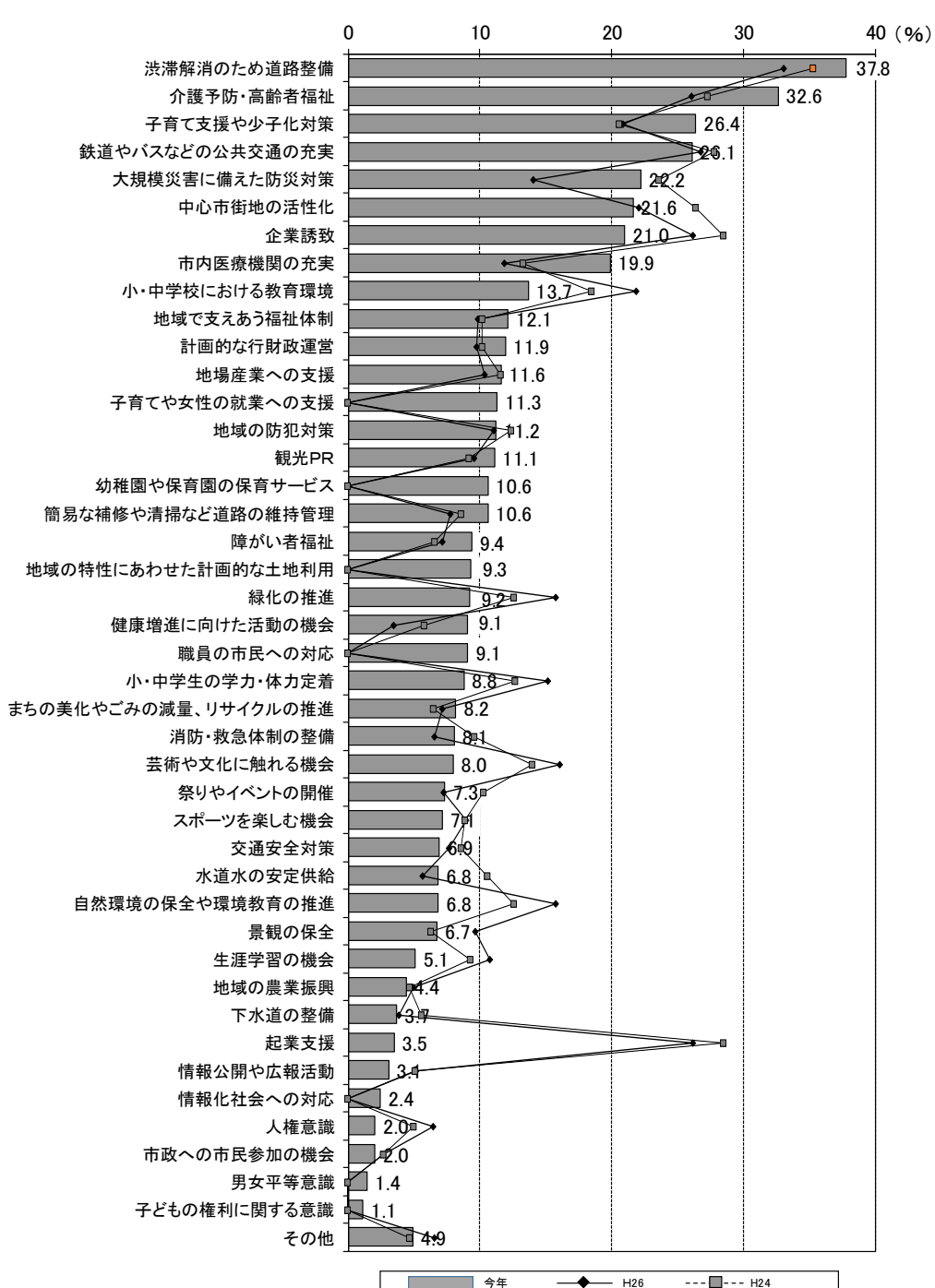
4-2 市の重点施策

「今後力を入れてほしい施策」は、43 項目中「渋滞解消のための道路整備」(37.8%) が最も高く、次いで「介護予防・高齢者福祉」(32.6%)、「子育て支援や少子化対策」(26.4%)、「鉄道やバスなどの公共交通の充実」(26.1%)、「大規模災害に備えた防災対策」(22.2%) となっている。

一方、5%に満たない項目は10項目で、最も低いのは「子どもの権利に関する意識」(1.1%)、「男女平等意識」(1.4%)、「人権意識」「市政への市民参加の機会」(2.0%) である。

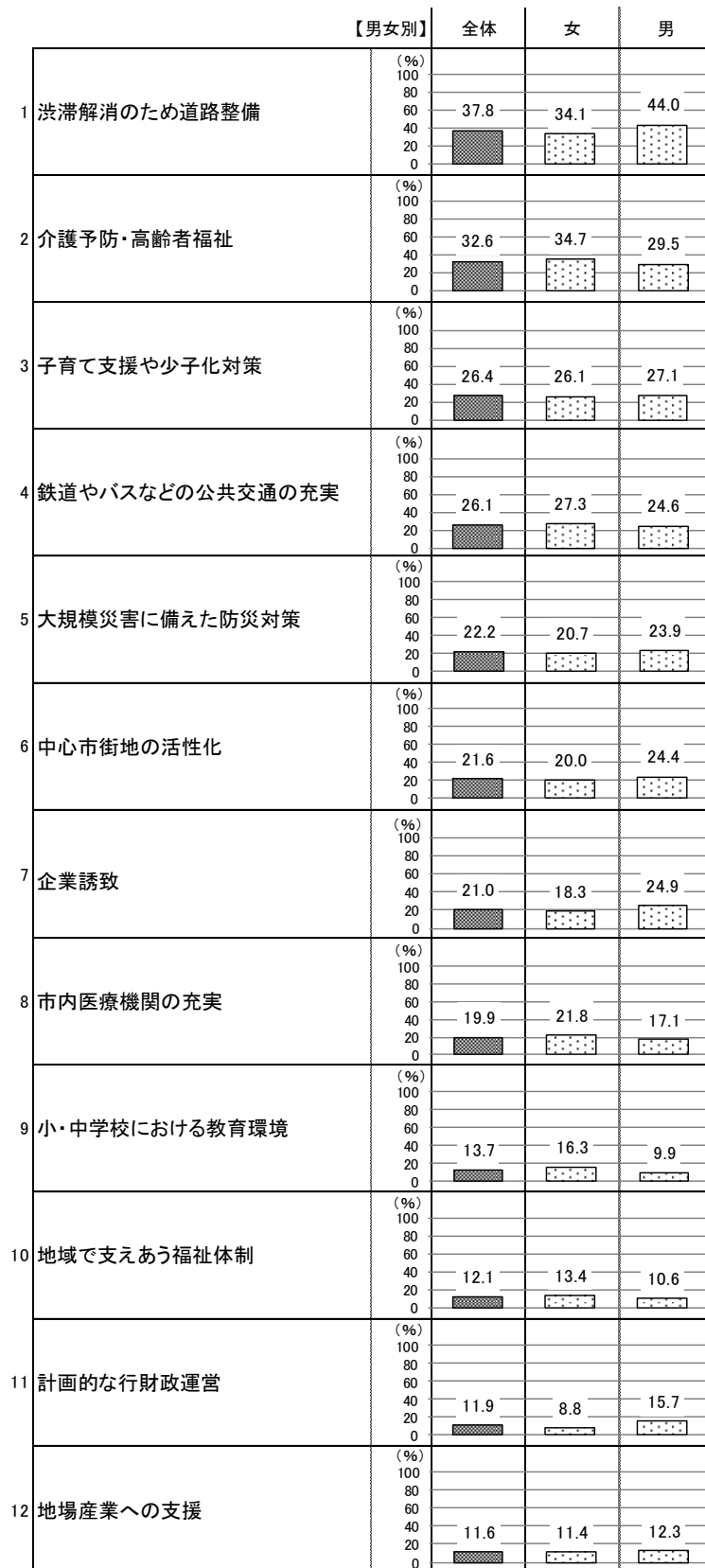
その他として、「市民プールの建設」、「地域内格差の解消」、「水道料金の値下げ」、「空き家の利用」などがあつた。

図 4-2-1 「今後力を入れてほしい施策」



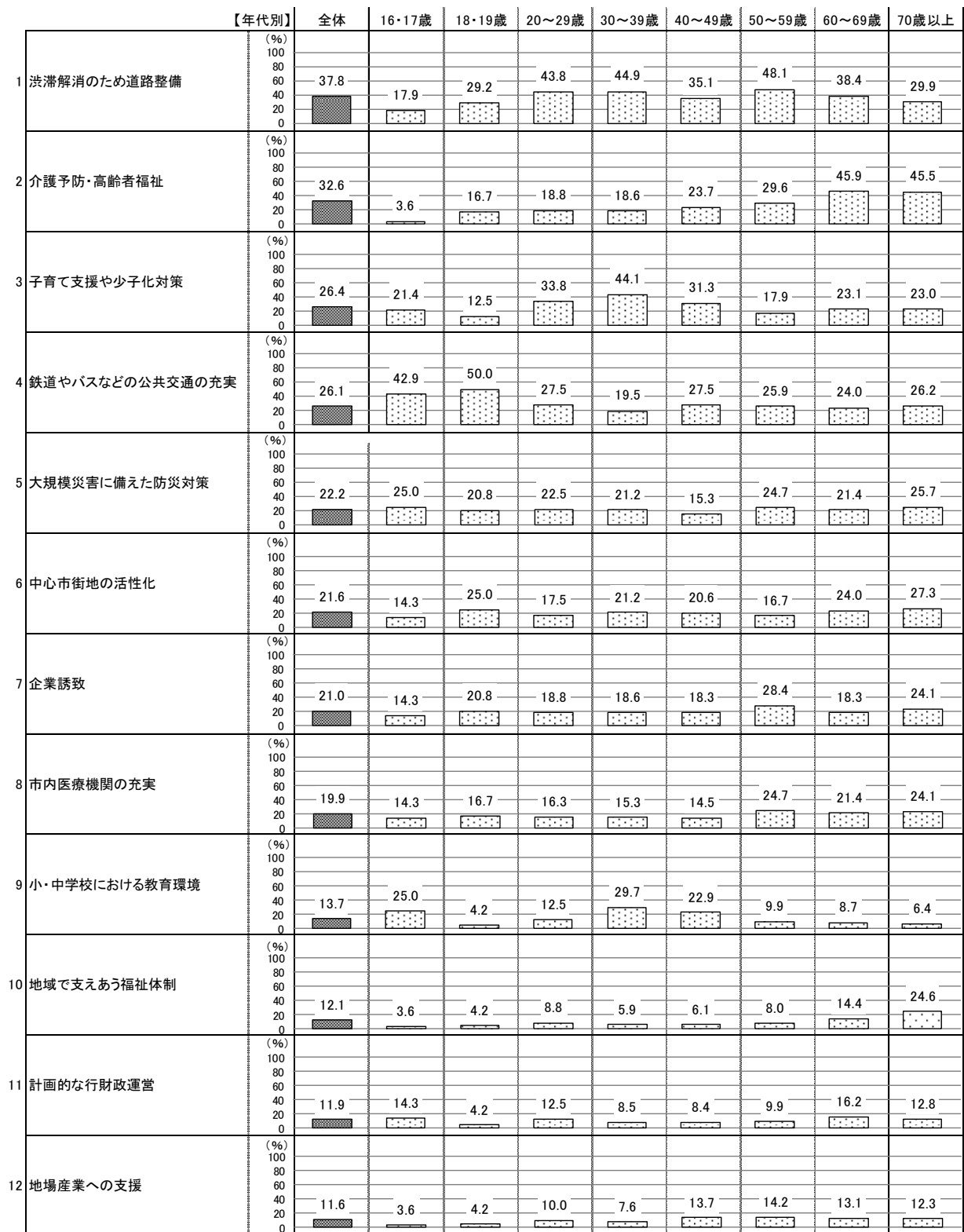
「今後力を入れてほしい施策」について上位 12 項目のうち男女別の差が大きいものは、「渋滞解消のため道路整備」で男性が 44.0%、女性が 34.1%と、男性の方が 9.9%高くなっている。

図 4－2－2 男女別「今後力を入れてほしい施策」（上位 12 項目）



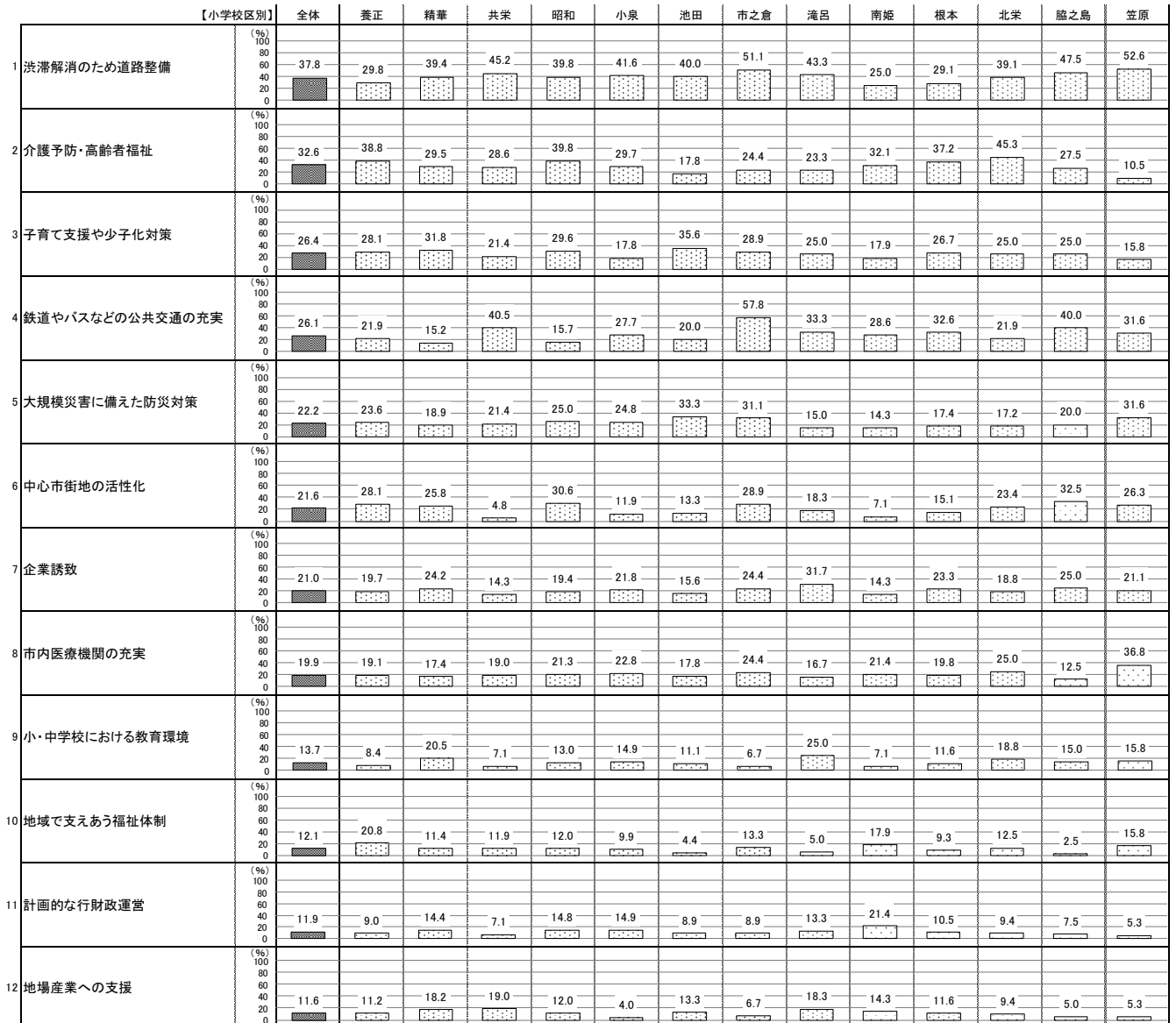
「今後力を入れてほしい施策」について上位12項目を年代別にみると、「16・17歳」「18・19歳」では「鉄道やバスなどの公共交通の充実」(42.9%、50.0%)、「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」では「渋滞解消のための道路整備」(43.8%、44.9%、35.1%、48.1%)、「60～69歳」「70歳以上」では「介護予防・高齢者福祉」(45.9%、45.5%)がそれぞれ最も高くなっている。

図4-2-3 年代別「今後力を入れてほしい施策」(上位12項目)



「今後力を入れてほしい施策」について上位 12 項目を小学校区別にみると、「養正」「昭和」「南姫」「根本」「北栄」では「介護予防・高齢者福祉」(38.8%、39.8%、32.1%、37.2%、45.3%)、「精華」「共栄」「昭和」「小泉」「池田」「滝呂」「脇之島」「笠原」では「渋滞解消のため道路整備」(39.4%、45.2%、39.8%、41.6%、40.0%、43.3%、47.5%、52.6%)、「市之倉」では「鉄道やバスなどの公共交通の充実」(57.8%) がそれぞれ最も高くなっている。

図 4－2－4 小学校区別「今後力を入れてほしい施策」(上位 12 項目)



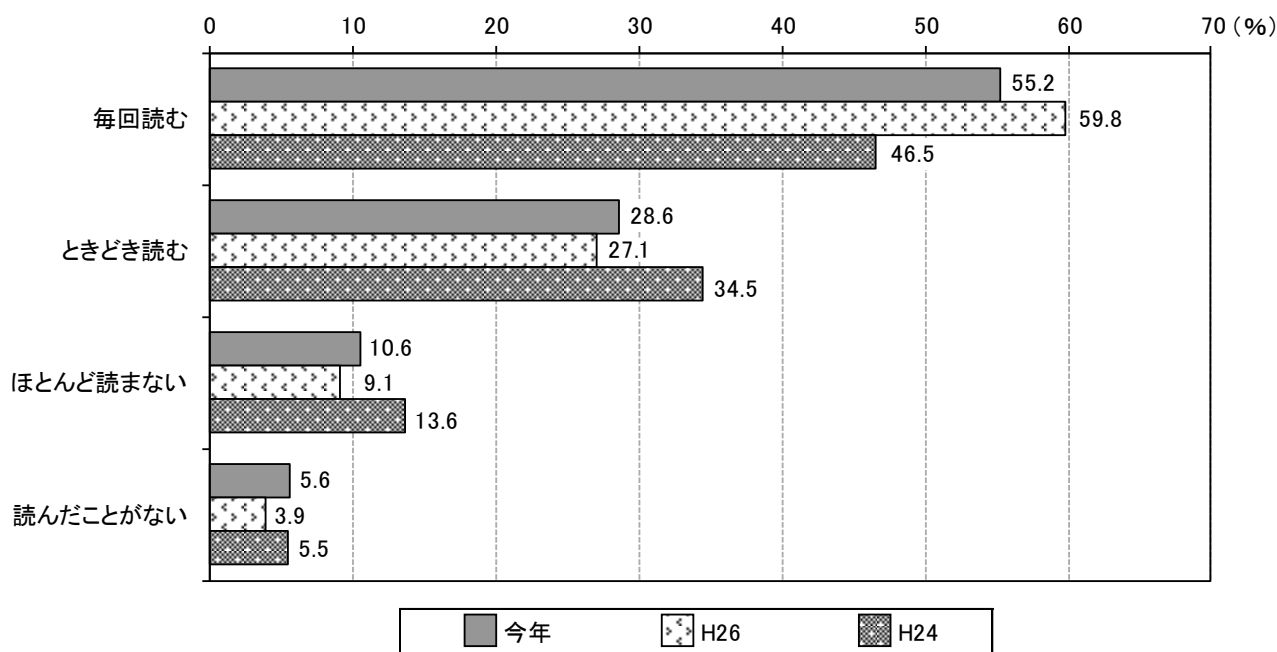
第5章 情報提供について

5-1 広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】を読んでいますか

「広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】を読んでいますか」については、「毎回読む」（55.2%）が最も高く、次いで「ときどき読む」（28.6%）、「ほとんど読まない」（10.6%）、「読んだことがない」（5.6%）となっている。

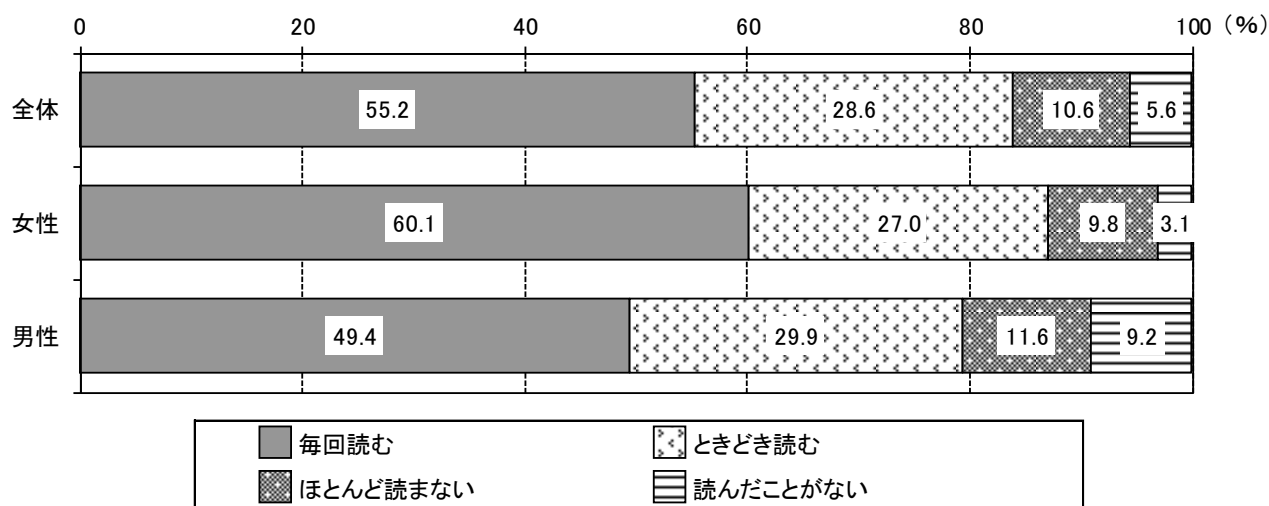
過去調査と比較すると、「毎日読む」と回答した割合は前回（H26）より4.6%減少し、「ときどき読む」では前回（H26）より1.5%増加している。「ほとんど読まない」では前回（H26）より1.5%、「読んだことがない」では前回（H26）より1.7%それぞれ増加している。

図5-1-1 「広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】を読んでいますか」（過去調査比較）



男女別でみると、「毎回読む」では女性が60.1%と高くなっているが、男性は49.4%と低くなっている。「ときどき読む」では女性が27.0%、男性が29.9%となっている。「ほとんど読まない」では女性が9.8%、男性が11.6%、「読んだことがない」では女性が3.1%、男性が9.2%となっている。

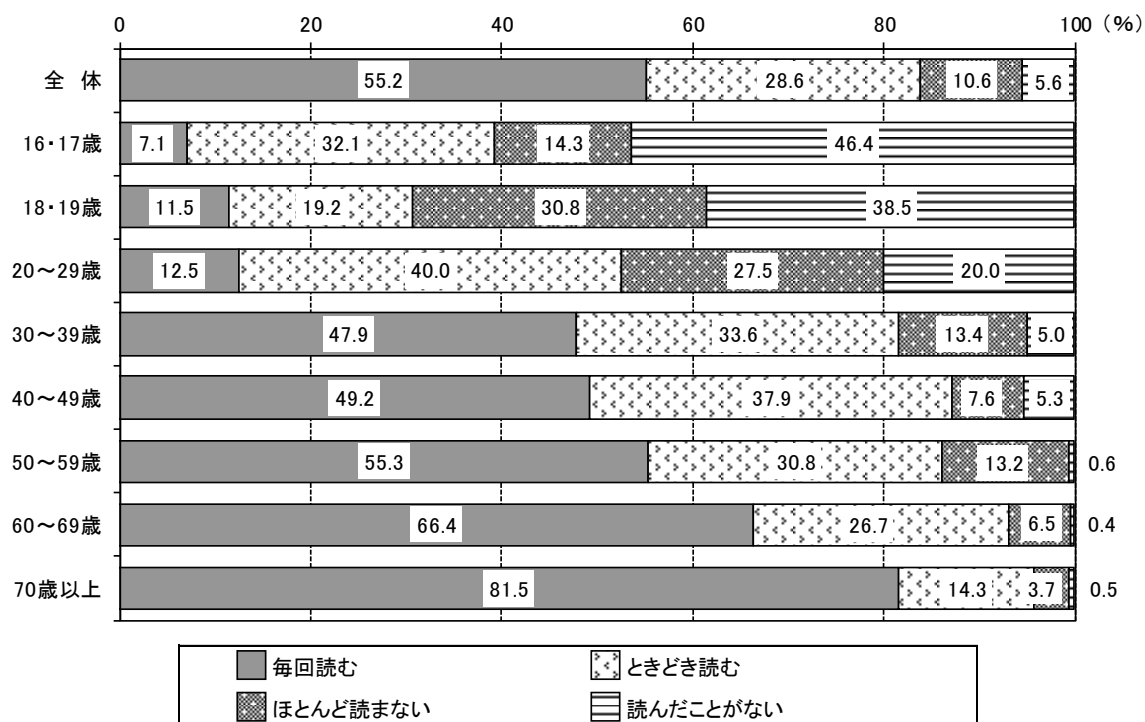
図5-1-2 男女別「広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】を読んでいますか」



「広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】を読んでいますか」について年代別にみると、「毎回読む」では「70歳以上」（81.5%）が最も高く、「ときどき読む」では「20～29歳」（40.0%）、「ほとんど読まない」では「18・19歳」（30.8%）、「読んだことがない」では「16・17歳」（46.4%）がそれぞれ高くなっている。

年代が上がるにつれて、「毎回読む」の割合が高くなっている。

図5-1-3 年代別「広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】を読んでいますか」

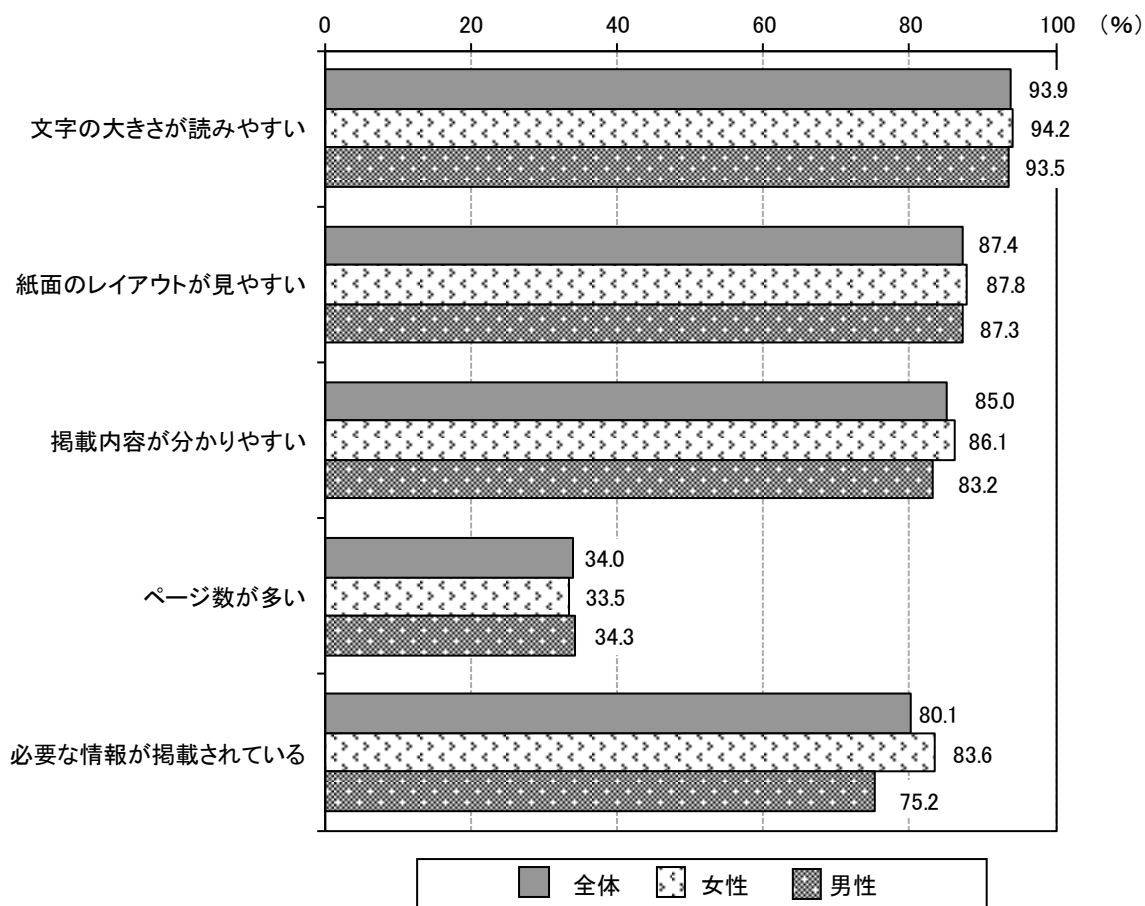


5-2 広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】の内容

「広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】の内容」については、「文字の大きさが読みやすい」（93.9%）が最も高く、次いで「紙面のレイアウトが見やすい」（87.4%）、「掲載内容が分かりやすい」（85.0%）となっている。

男女別にみると、「必要な情報が掲載されている」では男女の差が8.4%、「掲載内容が分かりやすい」では2.9%と大きくなっている。

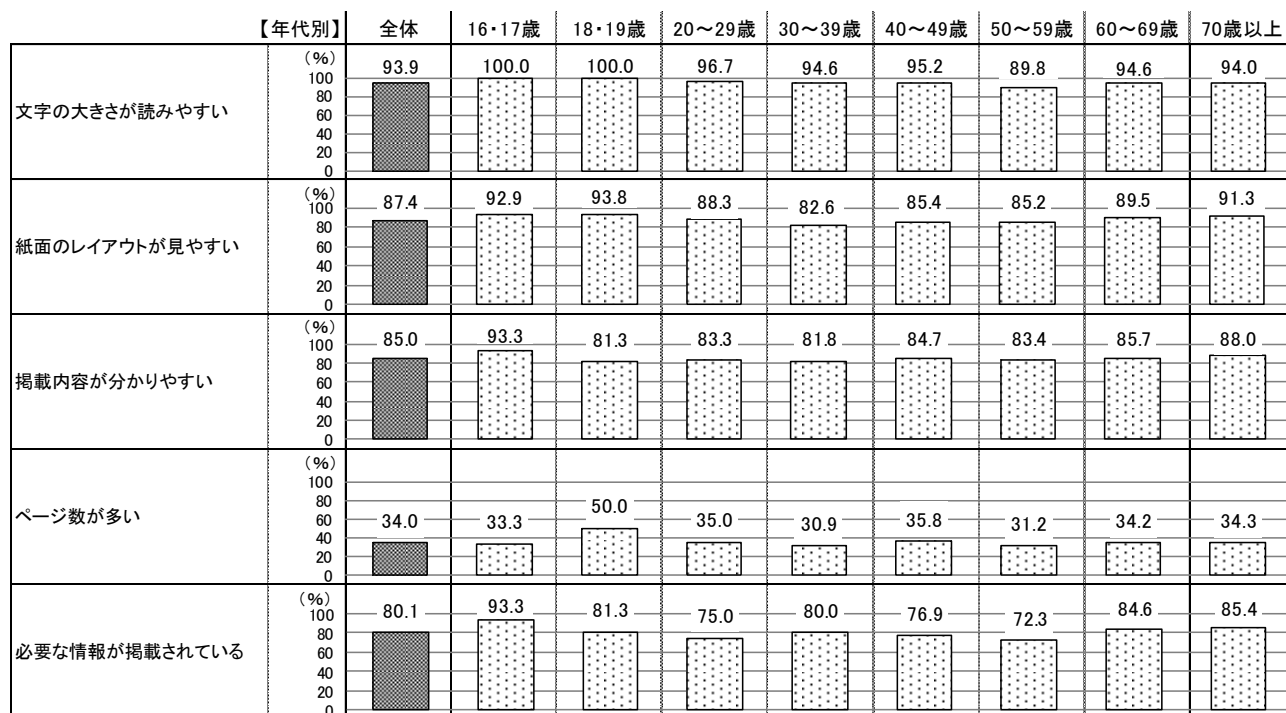
図5-2-1 男女別「広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】の内容」



「広報たじみ【Tajimist (たじみすと)】の内容」について年代別にみると、全ての年代で「文字の大きさが読みやすい」が最も高く、中でも「16・17 歳」「18・19 歳」(100.0%、100.0%) が最も高くなっている。

次いで「紙面のレイアウトが見やすい」では「18・19 歳」(93.8%) が最も高くなっている。

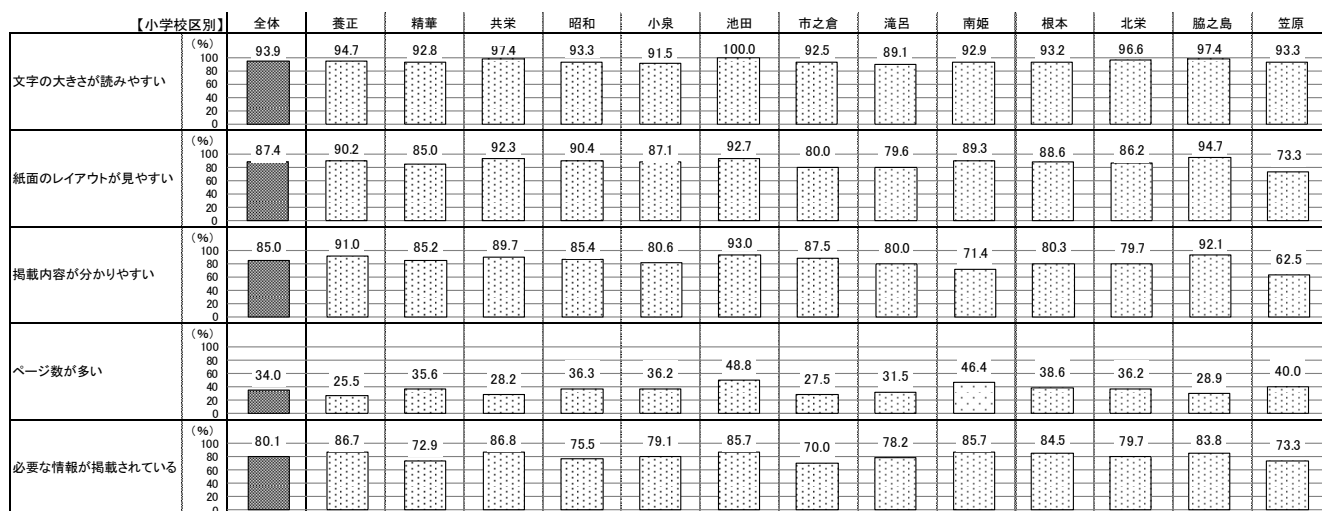
図 5－2－2 年代別「広報たじみ【Tajimist (たじみすと)】の内容」



「広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】の内容」について小学校区別にみると、「池田」では「文字の大きさが読みやすい」（100.0%）が最も高くなっている。

全ての小学校区について大きな差は見られないが、「笠原」では「掲載内容が分かりやすい」（62.5%）が70%に満たず、他の小学校区に比べると低くなっている。

図5－2－3 小学校区別「広報たじみ【Tajimist（たじみすと）】の内容」

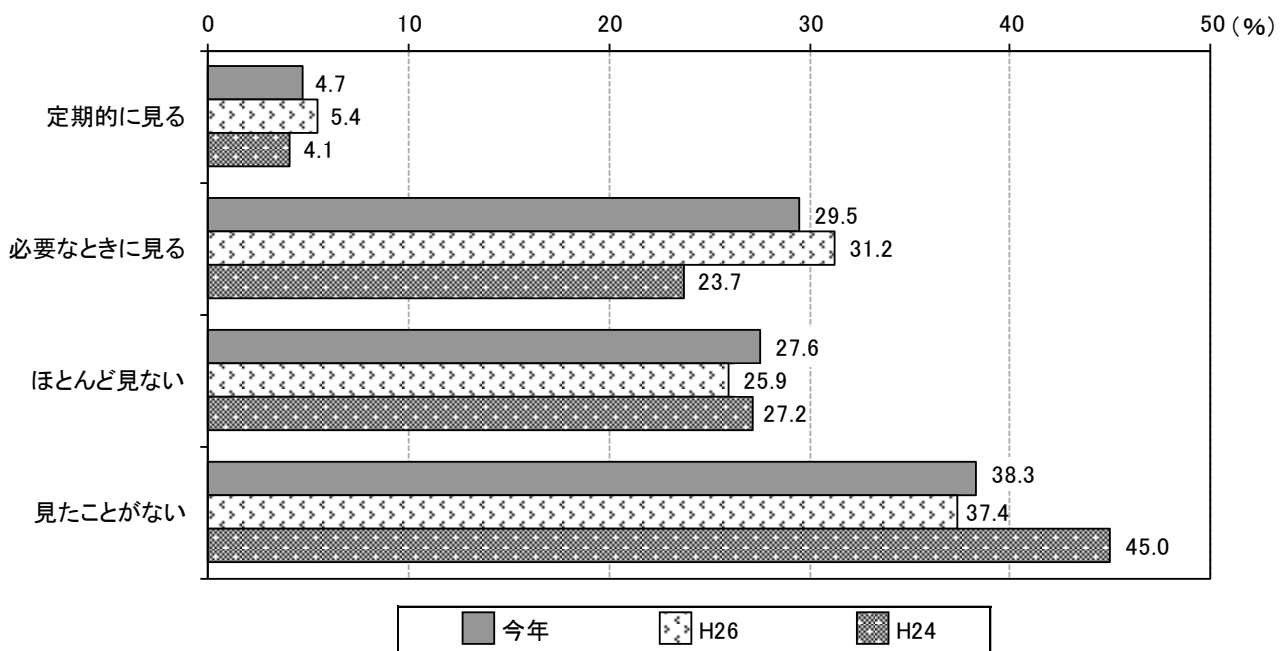


５－３ 市のホームページ

「多治見市のホームページを見ますか」については、「見たことがない」(38.3%)が最も高く、次いで「必要なときに見る」(29.5%)、「ほとんど見ない」(27.6%)、「定期的に見る」(4.7%)となっている。

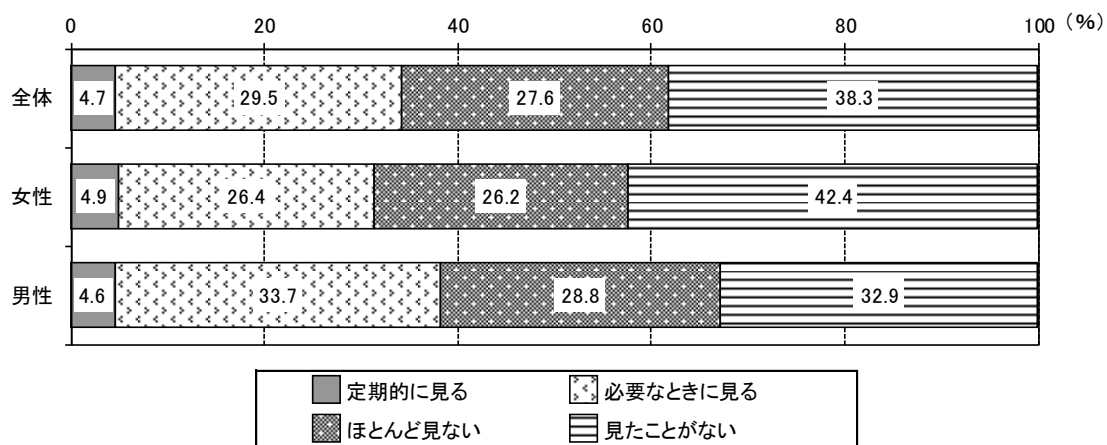
過去調査と比較すると、「ほとんど見ない」と回答した割合は前回(H26)より1.7%、「見たことがない」では前回(H26)より0.9%それぞれ増加している。「必要なときに見る」では前回(H26)より1.7%、「定期的に見る」では前回(H26)より0.7%それぞれ減少している。

図５－３－１「多治見市のホームページを見ますか」(過去調査比較)



男女別にみると、「見たことがない」では女性が 42.4%、男性が 32.9%と 9.5%の差がある。「必要なときに見る」では女性が 26.4%、男性が 33.7%、「ほとんど見ない」では女性が 26.2%、男性が 28.8%と男性より女性が低くなっている。

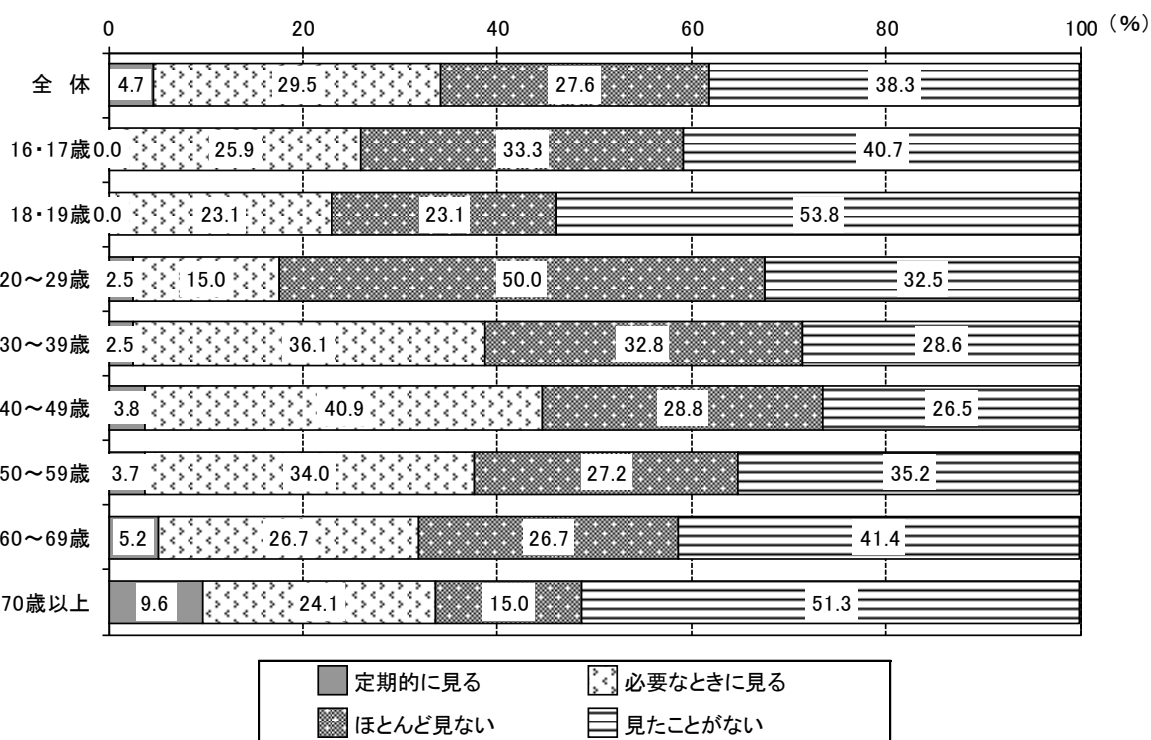
図 5－3－2 男女別「多治見市のホームページを見ますか」



「多治見市のホームページを見ますか」について年代別にみると、「16・17 歳」「18・19 歳」「50～59 歳」「60～69 歳」「70 歳以上」では「見たことがない」が高く、中でも「18・19 歳」(53.8%) が最も高くなっている。

「ほとんど見ない」では「20～29 歳」(50.0%)、「必要なときに見る」では「40～49 歳」(40.9%) がそれぞれ最も高くなっている。

図 5－3－3 年代別「多治見市のホームページを見ますか」

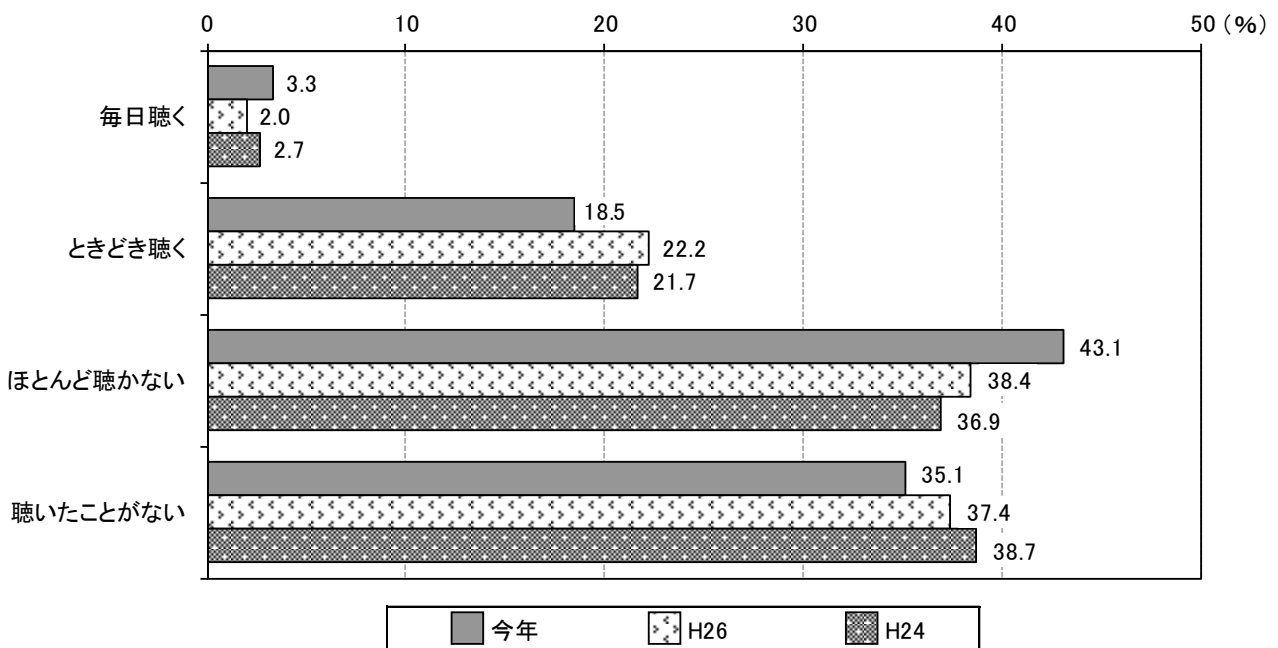


５－４ FMたじみ（エフエムピピ）

「FMたじみ（エフエムピピ（76.3MHz））の放送を聴きますか」については、「ほとんど聴かない」（43.1％）が最も高く、次いで「聴いたことがない」（35.1％）、「ときどき聴く」（18.5％）、「毎日聴く」（3.3％）となっている。

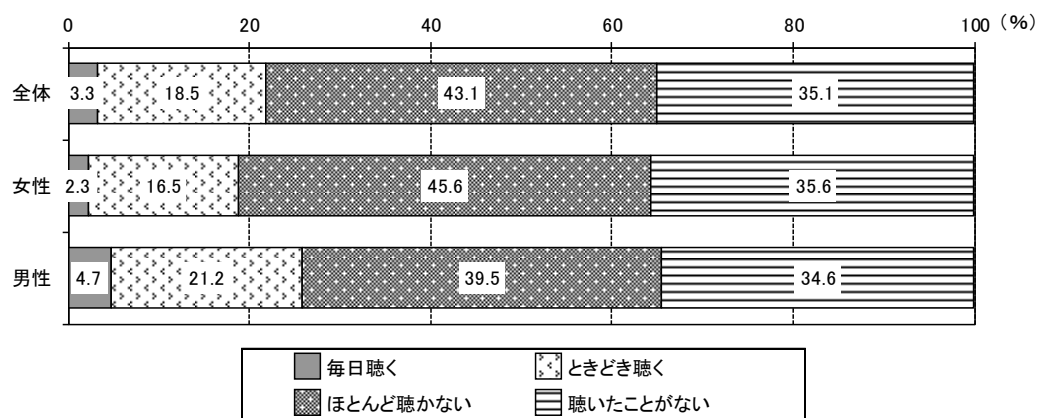
過去調査と比較すると、「毎日聴く」と回答した割合は前回（H26）より 1.3％増加し、「ときどき聴く」では前回（H26）より 3.7％減少している。「ほとんど聴かない」では前回（H26）より 4.7％増加し、「聴いたことがない」では前回（H26）より 2.3％減少している。

図５－４－１「FMたじみ（エフエムピピ（76.3MHz））の放送を聴きますか」（過去調査比較）



男女別にみると、「聴いたことがない」「ほとんど聴かない」を合わせた割合で、女性が81.2%、男性が74.1%、「毎日聴く」「ときどき聴く」を合わせた割合では、女性が18.8%、男性が25.9%となっている。

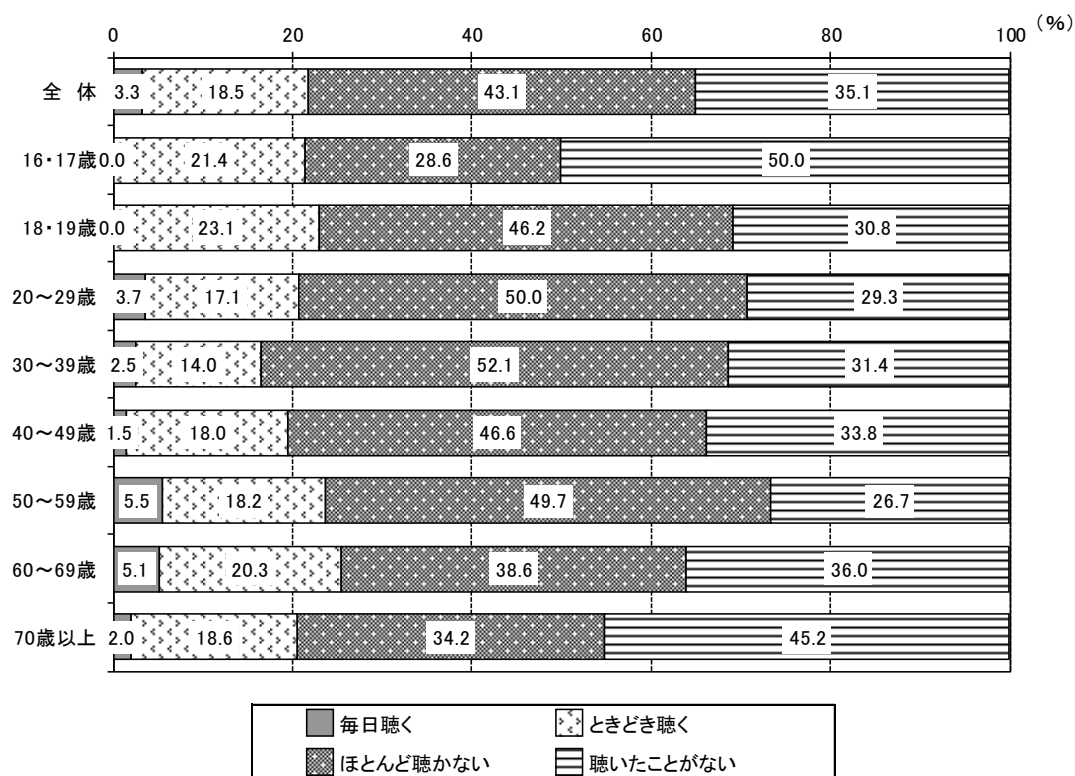
図5-4-2 男女別「FMたじみ（エフエムピピ（76.3MHz））の放送を聴きますか」



「FMたじみ（エフエムピピ（76.3MHz））の放送を聴きますか」について年代別にみると、全ての年代において「聴いたことがない」「ほとんど聴かない」を合わせた割合が高く、中でも「30～39 歳」(83.5%) が最も高くなっている。

「毎日聴く」「ときどき聴く」を合わせた割合では、「60～69 歳」(25.4%) が最も高くなっている。「50～59 歳」では「毎日聴く」が他の年代に比べ5.5%と最も高くなっている。

図5-4-3 年代別 「FMたじみ（エフエムピピ（76.3MHz））の放送を聴きますか」



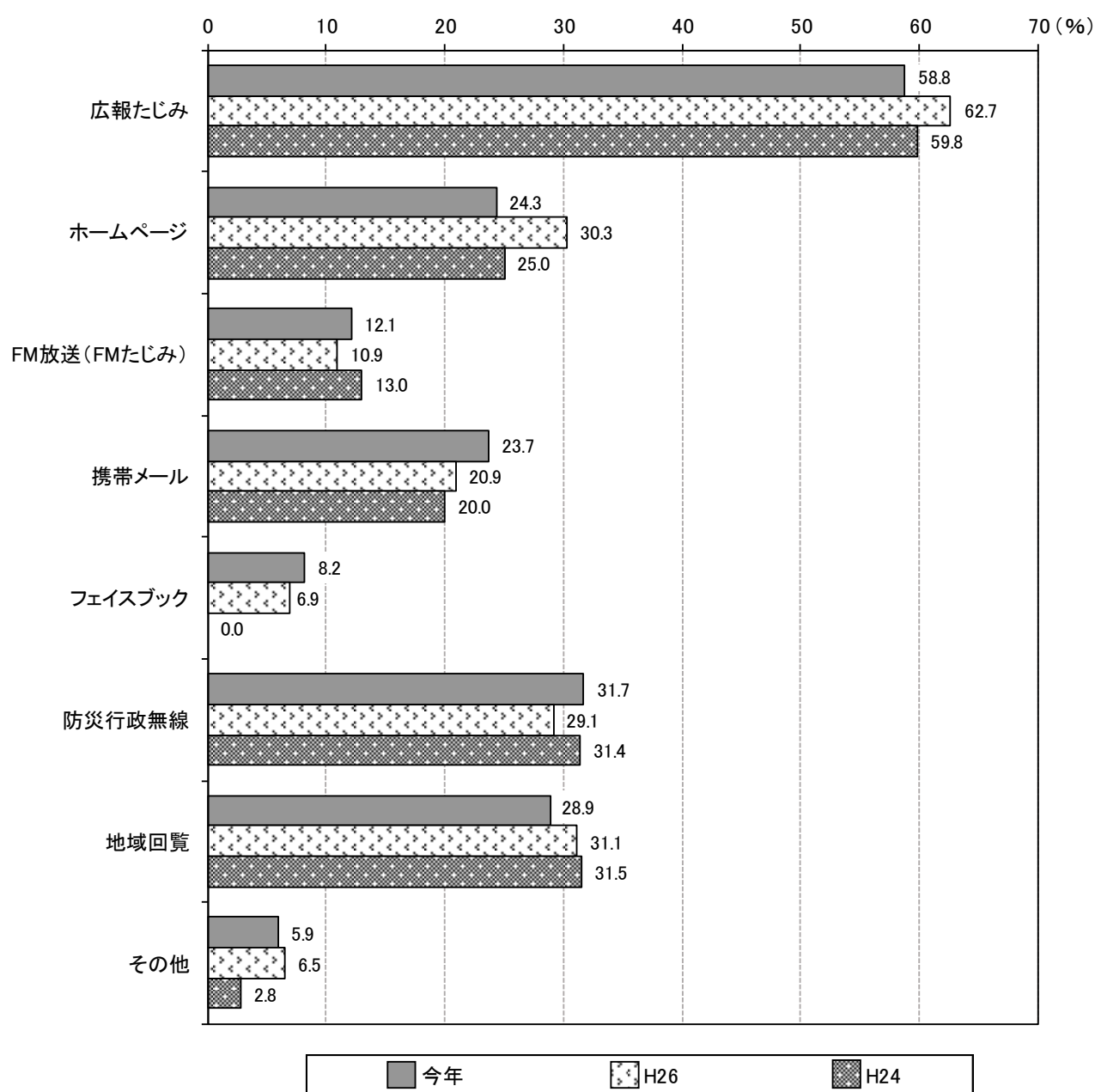
５－５ 市の広報手段

「これからの広報手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか」については、「広報たじみ」(58.8%)が最も高く、次いで「防災行政無線」(31.7%)、「地域回覧」(28.9%)となっている。

その他として、「防災行政無線が聞き取りづらい」、「SNS（ツイッター、LINE、インスタグラム）」、「おりべチャンネル（ケーブルテレビ）」、「駅前や街頭に大型ビジョンの設置」などがあつた。

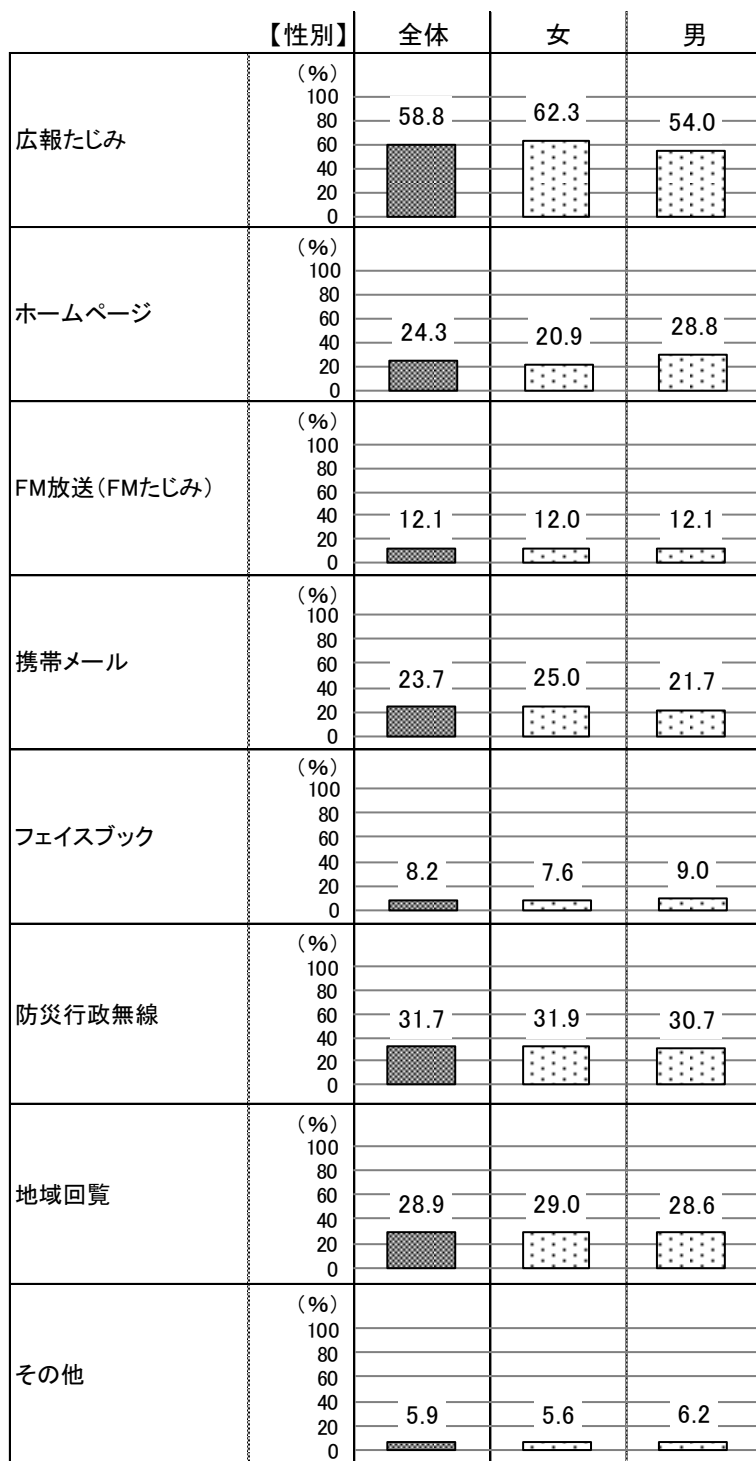
過去調査と比較すると、「ホームページ」と回答した割合は前回（H26）より6.0%、「広報たじみ」では前回（H26）より3.9%それぞれ減少している。「携帯メール」では前回（H26）より2.8%、「フェイスブック」では前回（H26）より1.3%、「FM放送（FMたじみ）」では前回（H26）より1.2%それぞれ増加している。

図５－５－１「これからの広報手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか」（過去調査比較）



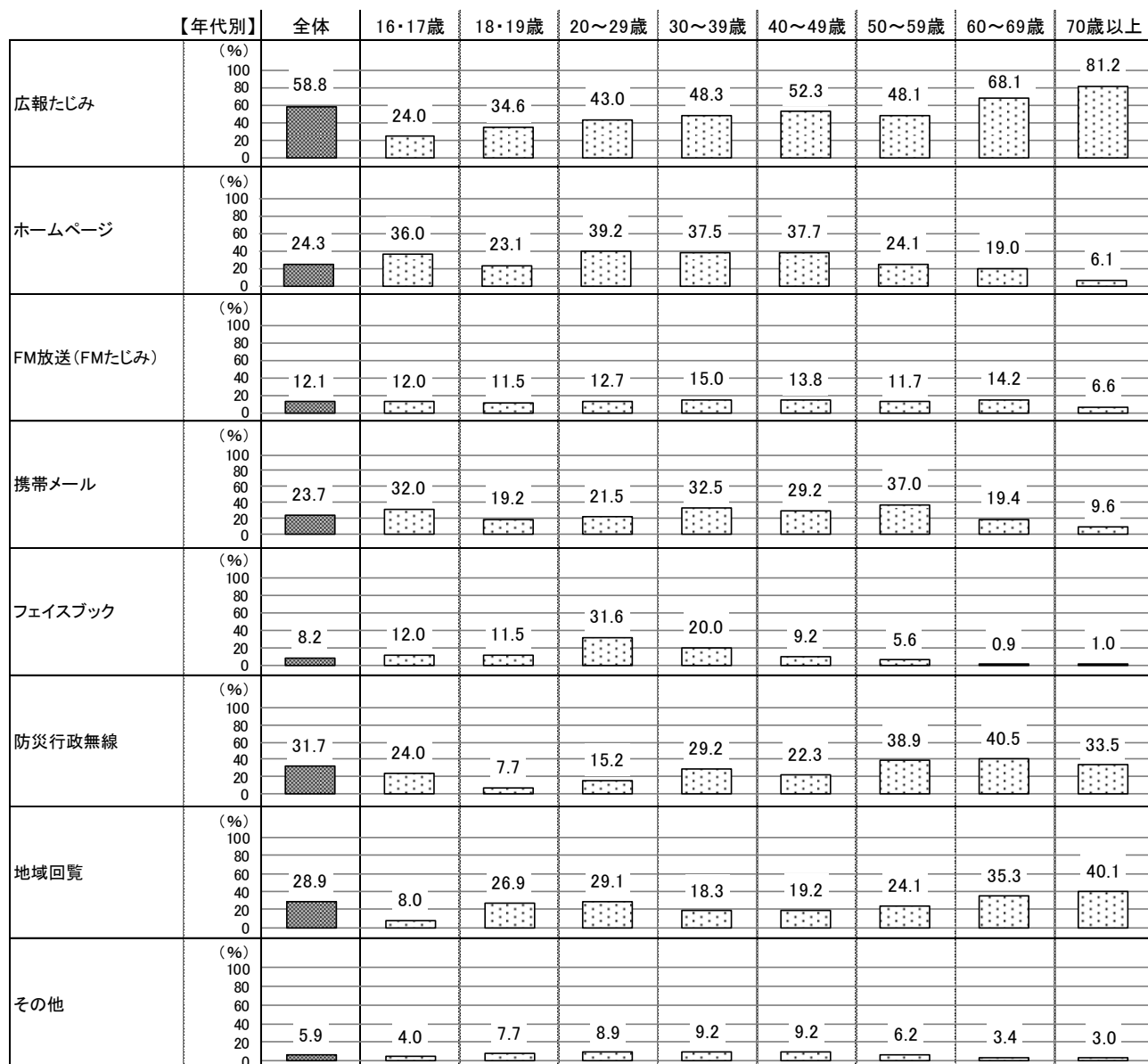
男女別にみると、「広報たじみ」では女性 62.3%、男性 54.0%と最も高くなっており、次いで、「防災行政無線」では女性 31.9%、男性 30.7%となっている。「ホームページ」では女性よりも男性の方が 7.9%高くなっている。

図 5－5－2 男女別「これからの広報手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか」



「これからの広報手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか」について年代別にみると、「16・17歳」を除くその他の年代において「広報たじみ」が最も高く、中でも「70歳以上」が81.2%と最も高くなっている。「16・17歳」では「ホームページ」(36.0%)が最も高くなっている。「20～29歳」では「フェイスブック」が他の年代よりも31.6%と高くなっている。

図5-5-3 年代別「これからの広報手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか」



第6章 選挙公報について

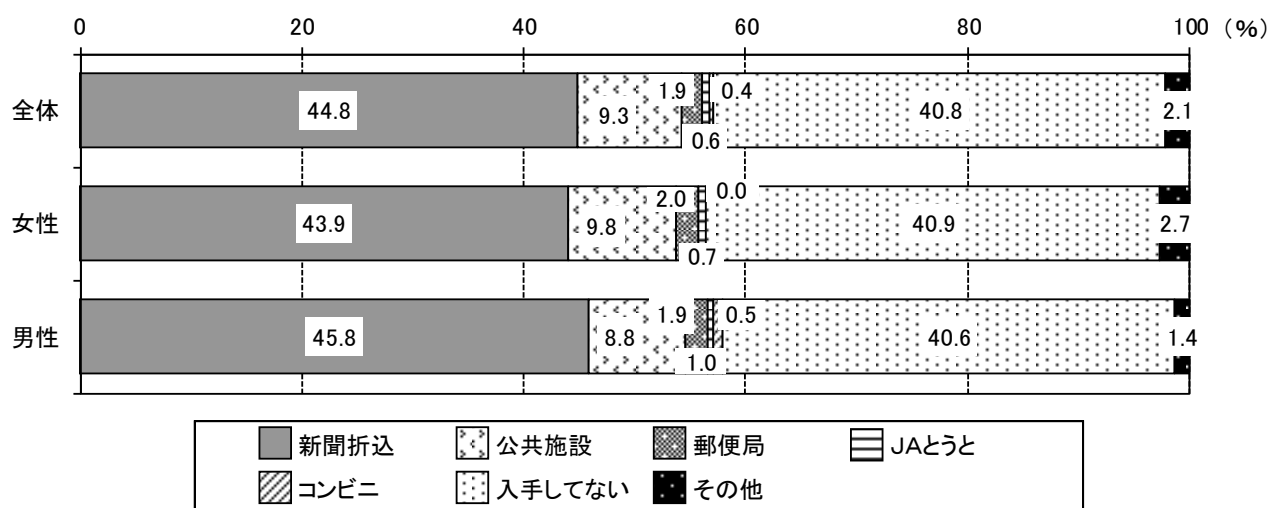
6-1 選挙公報の入手方法

「選挙公報の入手方法」については、「新聞折込」(44.8%)が最も高く、次いで「入手していない」(40.8%)、「公共施設」(9.3%)、「その他」(2.1%)、「郵便局」(1.9%)、「JAとうと」(0.6%)、「コンビニ」(0.4%)となっている。

男女別にみても、「新聞折込」が最も高く、女性では43.9%、男性では45.8%となっている。次いで、「入手していない」では、女性が40.9%、男性が40.6%となっている。

その他として、「選挙管理委員会に郵送してもらった」、「ポスティングされていたのを見た」などの意見があった。

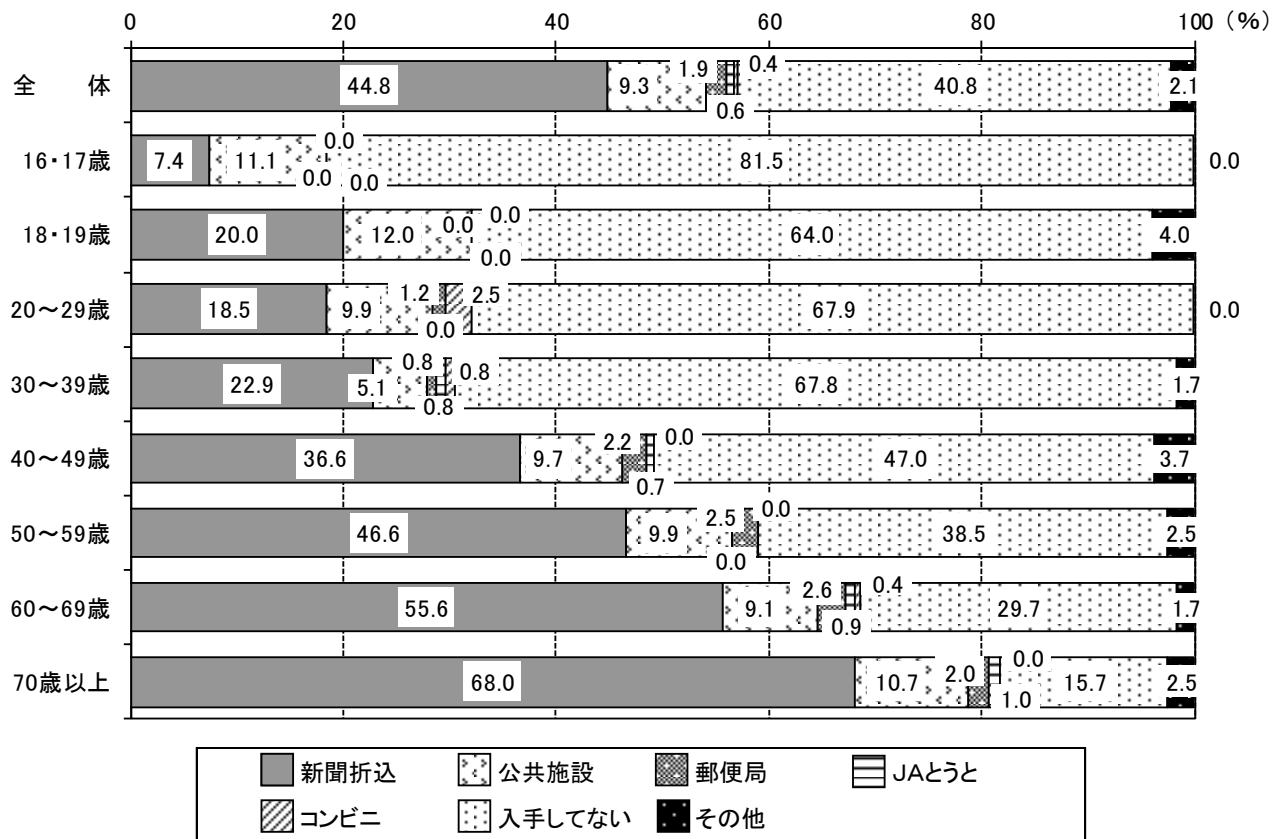
図6-1-1 男女別「選挙公報の入手方法」



「選挙公報の入手方法」について年代別にみると、「50～59歳」「60～69歳」「70歳以上」では「新聞折込」(46.6%、55.6%、68.0%)、「16・17歳」「18・19歳」「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」では「入手していない」(81.5%、64.0%、67.9%、67.8%、47.0%)がそれぞれ最も高くなっている。

年代が低くなるにつれて、「入手していない」の割合が高くなっている。

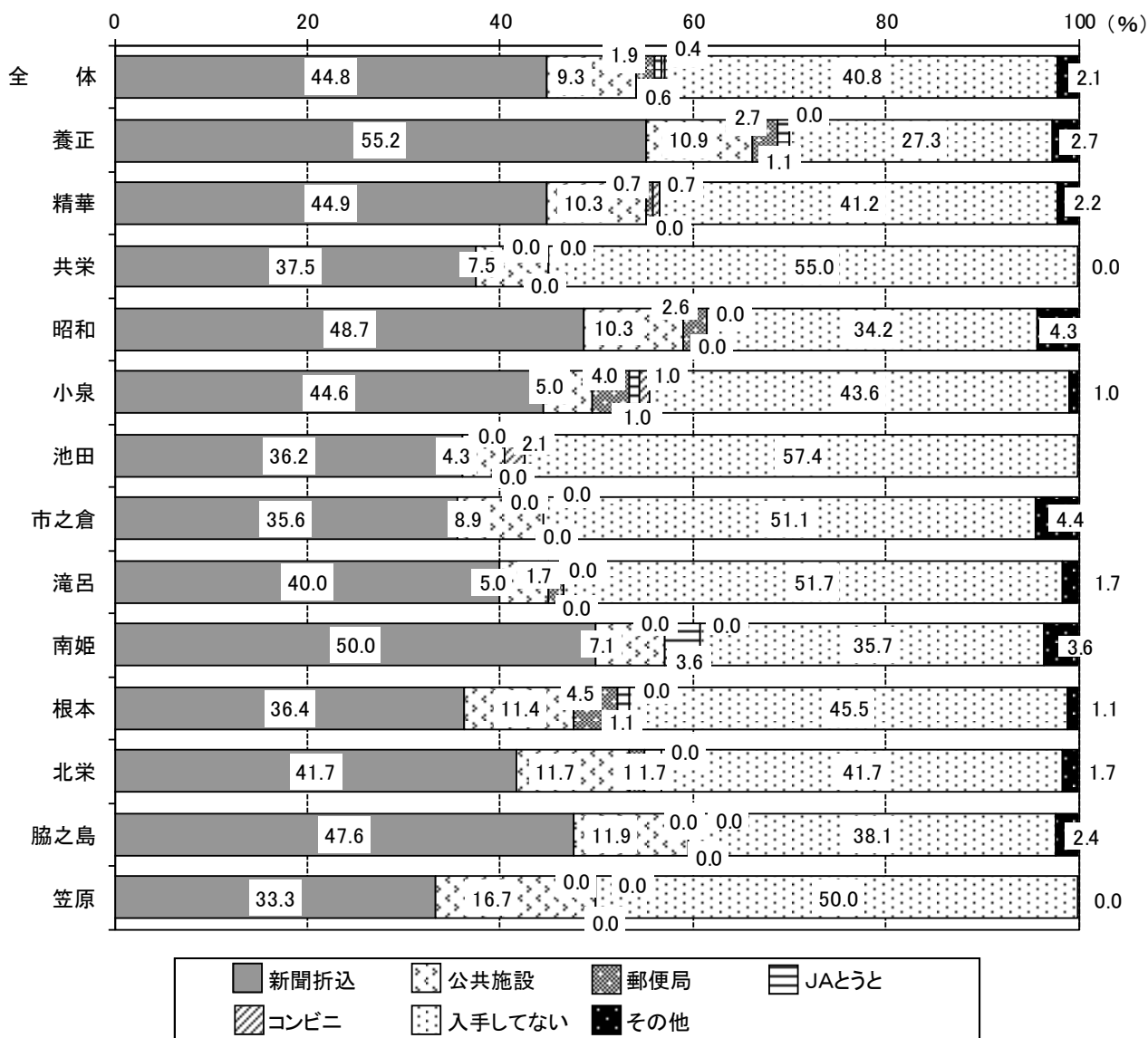
図6－1－2 年代別「選挙公報の入手方法」



「選挙公報の入所方法」について校区別にみると、「養正」「精華」「昭和」「小泉」「南姫」「北栄」「脇之島」では「新聞折込」(55.2%、44.9%、48.7%、44.6%、50.0%、41.7%、47.6%)、「共栄」「池田」「市之倉」「滝呂」「根本」「北栄」「笠原」では「入手していない」(55.0%、57.4%、51.1%、51.7%、45.5%、41.7%、50.0%) がそれぞれ最も高くなっている。

「笠原」では「公共施設」(16.7%) が他の校区より割合が高くなっている。

図 6-1-3 小学校区別「選挙公報の入所方法」

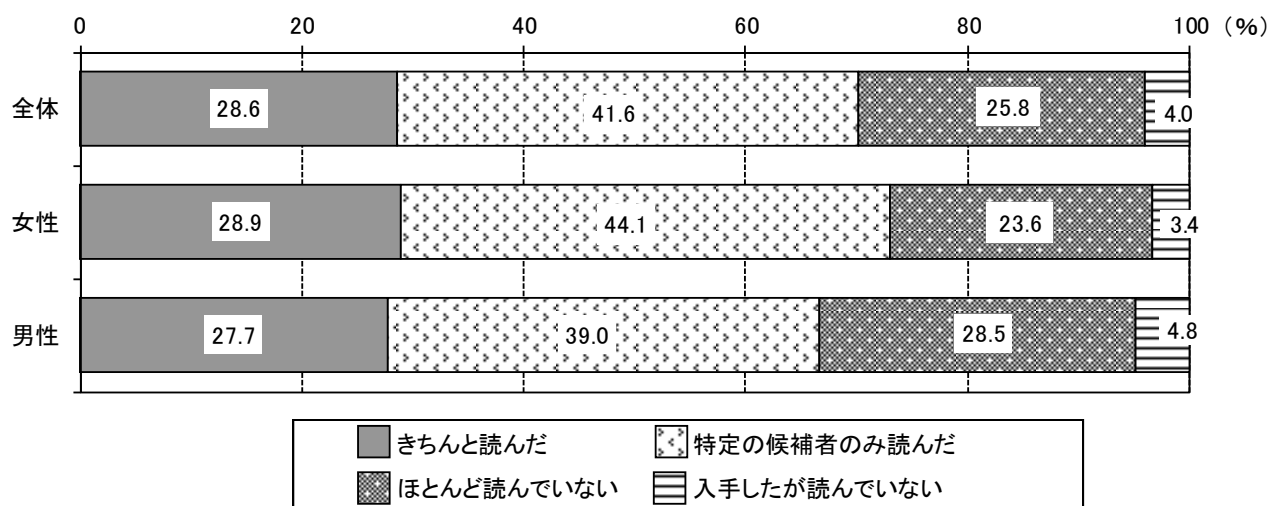


6-2 選挙公報を読んだか

「選挙公報を読んだか」については、「特定の候補者のみ読んだ」(41.6%)が最も高く、次いで「きちんと読んだ」(28.6%)「ほとんど読んでいない」(25.8%)となっている。

男女別にみても、「特定の候補者のみ読んだ」が最も高く、女性が44.1%、男性が39.0%となっており、男性より女性が5.1%高くなっている。

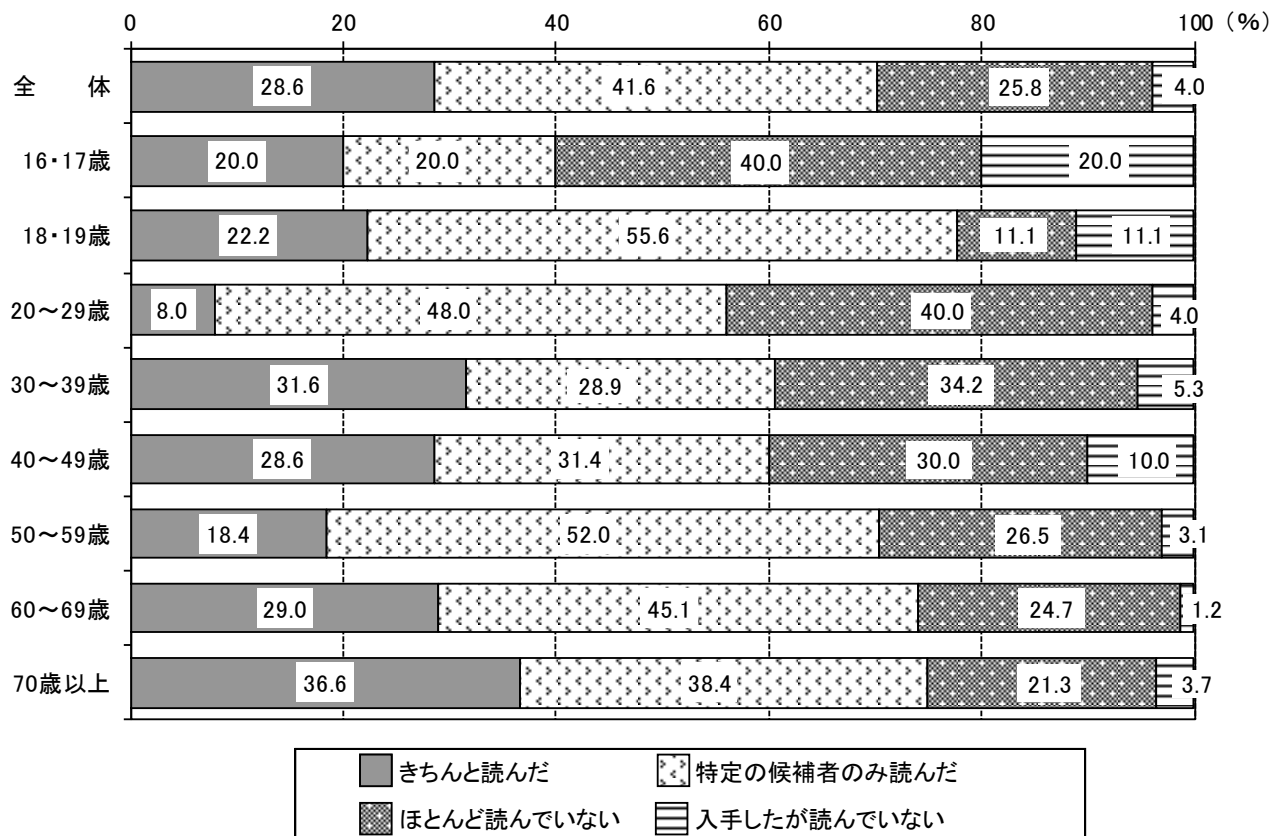
図6-2-1 男女別「選挙公報を読んだか」



「選挙公報を読んだか」について年代別にみると、「18・19歳」「20～29歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」「70歳以上」では「特定の候補者のみ読んだ」(55.6%、48.0%、31.4%、52.0%、45.1%、38.4%)、「16・17歳」「30～39歳」では「ほとんど読んでいない」(40.0%、34.2%)がそれぞれ最も高くなっている。

「入手したが読んでいない」では、「16・17歳」(20.0%)の割合が高くなっている。

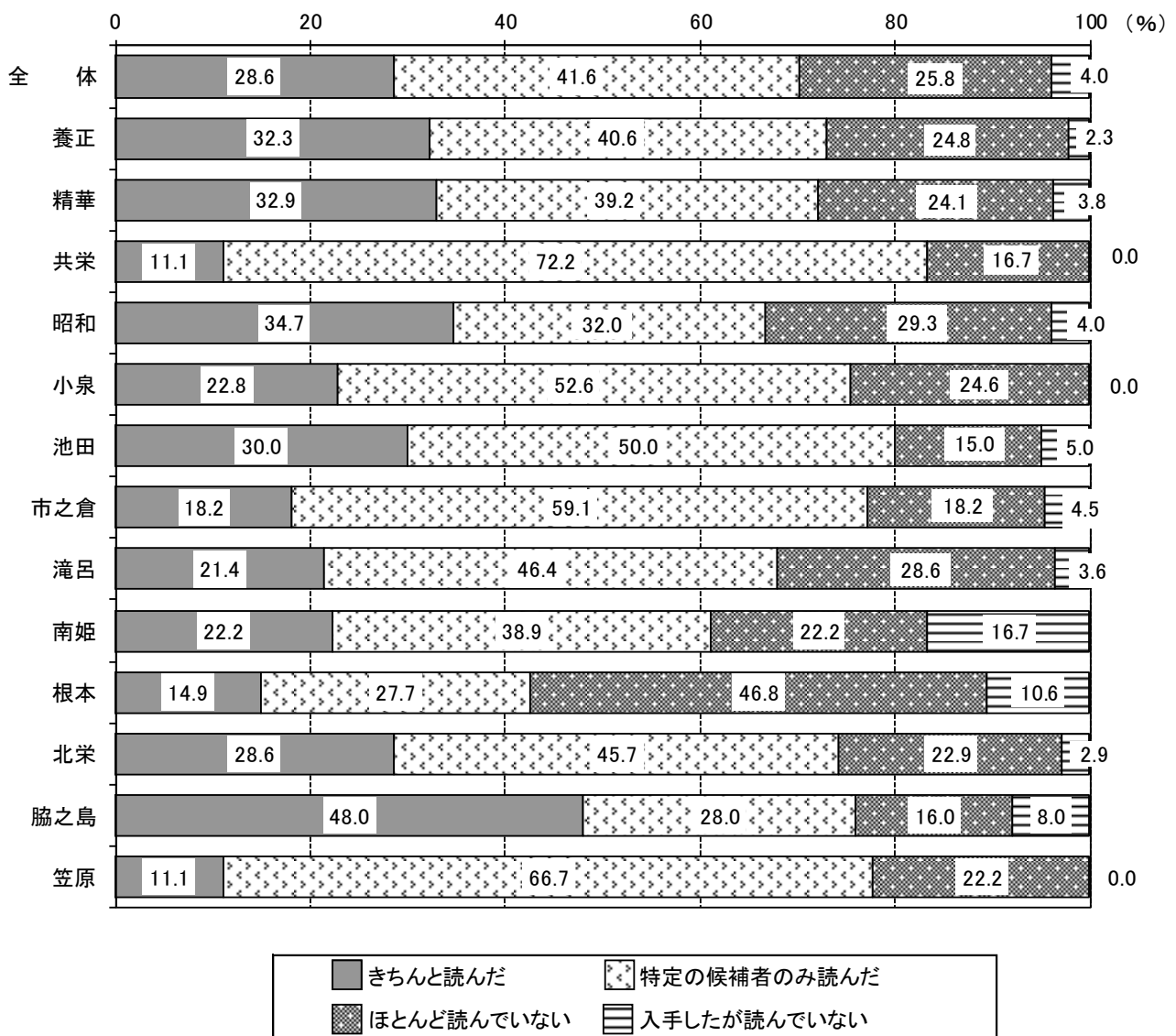
図6-2-2 年代別「選挙公報を読んだか」



「選挙公報を読んだか」について校區別にみると、「養正」「精華」「共栄」「小泉」「池田」「市之倉」「滝呂」「南姫」「北栄」「笠原」では「特定の候補者のみ読んだ」(40.6%、39.2%、72.2%、52.6%、50.0%、59.1%、46.4%、38.9%、45.7%、66.7%)、「昭和」「脇之島」では「きちんと読んだ」(34.7%、48.0%)、「根本」では「ほとんど読んでいない」(46.8%)がそれぞれ最も高くなっている。

「入手したが読んでいない」では「南姫」(16.7%)が他の校区より割合が高くなっている。

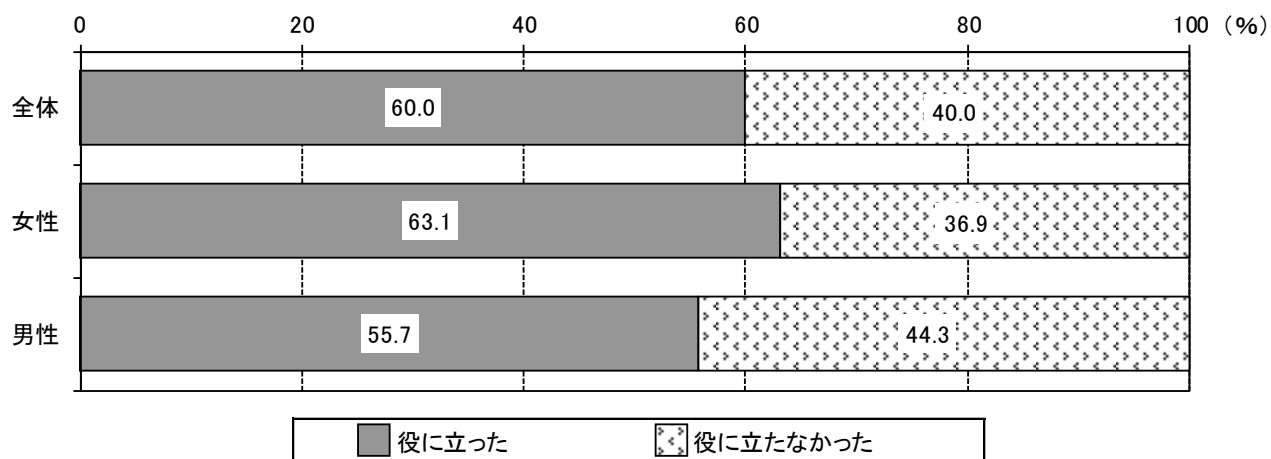
図 6－2－3 小学校区別「選挙公報を読んだか」



6－3 選挙公報は役に立ったか

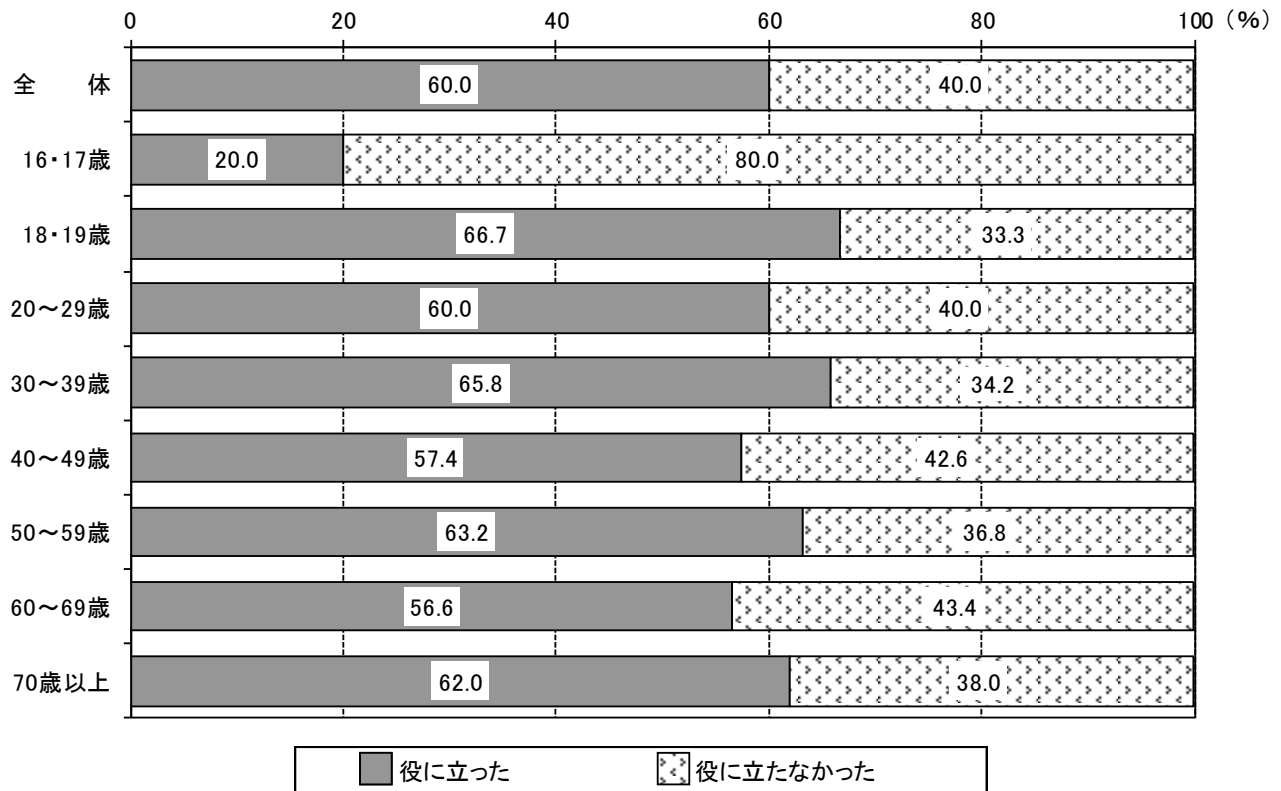
「選挙公報は役に立ったか」については、「役に立った」が60.0%と最も高くなっている。男女別でも「役に立った」が最も高く、女性が63.1%、男性が55.7%となっている。

図6－3－1 男女別「選挙公報は役に立ったか」



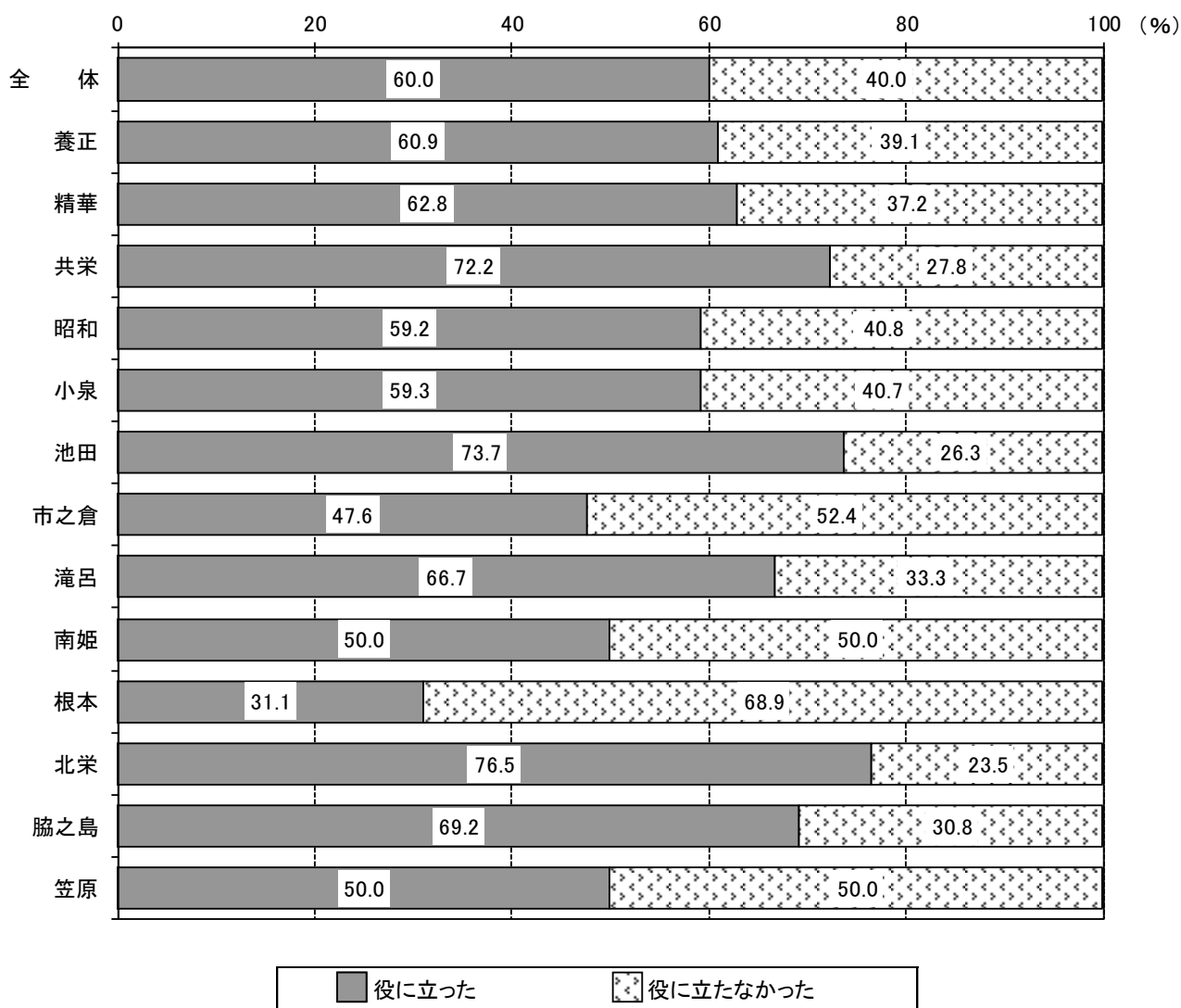
「選挙公報は役に立ったか」について年代別にみると、「16・17歳」を除くその他の年代において「役に立った」が最も高く、中でも「18・19歳」が66.7%と最も高くなっている。「16・17歳」では「役に立たなかった」が80.0%と最も高くなっている。

図6-3-2 年代別「選挙公報は役に立ったか」



「選挙公報は役に立ったか」について校區別にみると、「市之倉」「根本」を除くその他の校区では「役に立った」が最も高く、中でも「北栄」（76.5％）が最も高くなっている。「市之倉」「根本」では「役に立たなかった」が最も高くなっている。

図 6－3－3 小学校区別「選挙公報は役に立ったか」



参 考 資 料

依頼文書及び調査票

多治見市「市民意識調査」 ご協力のお願い

日頃は多治見市政にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、市ではこのたび「市民意識調査（アンケート）」を実施することになりました。
このアンケートは、市民の皆様から市の施策や行政サービスに対するご意見をお聞かせいただき、今後の市政運営や施策形成の際の基礎資料とするためのものです。

調査を行うにあたり、市内にお住まいの16歳以上の方から、2,000人を無作為に抽出して対象者を選ばせていただきました。アンケートは無記名回答とし、結果は統計的に処理され、個人的な意見や考えが外部にもれることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年8月1日
多治見市長 古川 雅典

【ご記入にあたってのお願い】

1. 質問には、できるだけ封筒のあて名の方ご本人がお答えください。都合により回答できない場合は、家族のどなたでも構いませんので、代わってご記入ください。その場合は記入された方の立場でお答えください。
2. 住所や氏名をご記入いただく必要はありません。
3. ご回答にあたっては、指示のある数だけ、答えの番号に○印をつけてください。
4. お答えの中で、「その他」を選んだ時は、その内容を具体的に記入してください。

※このアンケートをご記入いただきましたら、恐縮ですが同封の返信用封筒で
8月24日（水）までにご返送ください。切手は不要です。

※インターネットでパソコンやスマートフォンからも回答いただけます。
インターネットで回答いただいた方は返信用封筒で返送いただく必要はありません。

<http://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/kocho/ishikichosa/h28ishikichosa.html>



インターネット入力用 ID

(IDはランダムに発行されています。個人を識別できるデータと関連付けることはありません。)

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

多治見市 企画部 秘書広報課

電話 22-1372 Eメール hisyokoho@city.tajimi.lg.jp

多治見市市民意識調査 調査表

【問1】 多治見市の住みごちについて、日頃感じていることを1つ選び○印をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい |

【問2】 今後も多治見市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを1つ選び○印をつけてください。

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 住み続けたい | 2. 当分は住み続けるつもり |
| 3. できれば他市町村へ移りたい | 4. 勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある |
| 5. わからない | |

【問3】 次の項目について、はい・いいえのどちらかに○印をつけてください。

項 目	はい	いいえ
1. ごみの23分別のルールは知っていますか	1	2
2. 家庭内で防災対策を話し合っていますか	1	2
3. 避難場所や避難経路を知っていますか	1	2
4. かかりつけの医師はいますか	1	2
5. 高齢者の介護に関する悩みはありますか	1	2
6. 子育てに関する悩みはありますか	1	2
7. 外国の文化に興味・関心がありますか	1	2
8. この1年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがありますか	1	2
9. この1年間に、ボランティア活動に参加したことがありますか	1	2
10. 市民委員会や審議会の委員を公募していることを知っていますか	1	2

【問4】 多治見市のまちづくりに対する満足度をおたずねします。次の項目についてあなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○印をつけてください。

設問項目	評 価				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
〈記入例〉〇〇〇〇の整備	1	2	③	4	5

1. 安心して子育て・子育てするまちづくり

(1) 子育て支援や少子化対策	1	2	3	4	5
(2) 幼稚園や保育園の保育サービス	1	2	3	4	5
(3) 小・中学生の学力・体力定着	1	2	3	4	5
(4) 小・中学校における教育環境	1	2	3	4	5

2. 健康で元気に暮らせるまちづくり

(1) 健康増進に向けた活動の機会	1	2	3	4	5
(2) 市内医療機関の充実	1	2	3	4	5
(3) スポーツを楽しむ機会	1	2	3	4	5
(4) 介護予防・高齢者福祉	1	2	3	4	5
(5) 障がい者福祉	1	2	3	4	5

3. にぎわいと活力のあるまちづくり

(1) 地場産業への支援	1	2	3	4	5
(2) 企業誘致	1	2	3	4	5
(3) 起業支援	1	2	3	4	5
(4) 中心市街地の活性化	1	2	3	4	5
(5) 祭りやイベントの開催	1	2	3	4	5
(6) 観光 P R	1	2	3	4	5
(7) 地域の農業振興	1	2	3	4	5
(8) 子育てや女性の就業への支援	1	2	3	4	5
(9) 芸術や文化に触れる機会	1	2	3	4	5

4. 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

(1) 消防・救急体制の整備	1	2	3	4	5
(2) 水道水の安定供給	1	2	3	4	5
(3) 下水道の整備	1	2	3	4	5
(4) 大規模災害に備えた防災対策	1	2	3	4	5
(5) まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進	1	2	3	4	5
(6) 自然環境の保全や環境教育の推進	1	2	3	4	5
(7) 緑化の推進	1	2	3	4	5
(8) 景観の保全	1	2	3	4	5
(9) 地域の特性にあわせた計画的な土地利用	1	2	3	4	5
(10) 渋滞解消のための道路整備	1	2	3	4	5
(11) 鉄道やバスなどの公共交通の充実	1	2	3	4	5
(12) 簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	1	2	3	4	5
(13) 交通安全対策	1	2	3	4	5

5. 市民が互いに助け合い学び合うまちづくり

(1) 地域の防犯対策	1	2	3	4	5
(2) 生涯学習の機会	1	2	3	4	5
(3) 子どもの権利に関する意識	1	2	3	4	5
(4) 地域で支えあう福祉体制	1	2	3	4	5
(5) 男女平等意識	1	2	3	4	5
(6) 人権意識	1	2	3	4	5

6. 政策を実行・実現する行財政運営

(1) 計画的な行財政運営	1	2	3	4	5
(2) 職員の市民への対応	1	2	3	4	5
(3) 情報化社会への対応	1	2	3	4	5
(4) 市政への市民参加の機会	1	2	3	4	5
(5) 情報公開や広報活動	1	2	3	4	5

【問5】 多治見市のまちづくりについて、今後力をいれてほしいものについておたずねします。次の項目の中から、重要度の高いものを5つまで選び、○印をつけてください。

＜安心して子育て・子育てするまちづくり＞		
1. 子育て支援や少子化対策	22. 大規模災害に備えた防災対策	
2. 幼稚園や保育園の保育サービス	23. まちの美化やごみ減量、リサイクルの推進	
3. 小・中学生の学力・体力定着	24. 自然環境の保全や環境教育の推進	
4. 小・中学校における教育環境	25. 緑化の推進	
＜健康で元気に暮らせるまちづくり＞		
5. 健康増進に向けた活動の機会	26. 景観の保全	
6. 市内医療機関の充実	27. 地域の特性にあわせた計画的な土地利用	
7. スポーツを楽しむ機会	28. 渋滞解消のため道路整備	
8. 介護予防・高齢者福祉	29. 鉄道やバスなどの公共交通の充実	
9. 障がい者福祉	30. 簡易な補修や清掃などの道路の維持管理	
＜にぎわいと活力のあるまちづくり＞		
10. 地場産業への支援	31. 交通安全対策	
11. 企業誘致	＜市民が互いに助け合い学び合うまちづくり＞	
12. 起業支援	32. 地域の防犯対策	
13. 中心市街地の活性化	33. 生涯学習の機会	
14. 祭りやイベントの開催	34. 子どもの権利に関する意識	
15. 観光PR	35. 地域で支えあう福祉体制	
16. 地域の農業振興	36. 男女平等意識	
17. 子育てや女性の就業への支援	37. 人権意識	
18. 芸術や文化に触れる機会	＜政策を実行・実現する行財政運営＞	
＜安全・安心で快適に暮らせるまちづくり＞		
19. 消防・救急体制の整備	38. 計画的な行財政運営	
20. 水道水の安定供給	39. 職員の市民への対応	
21. 下水道の整備	40. 情報化社会への対応	
	41. 市政への市民参加の機会	
	42. 情報公開や広報活動	
	43. その他（具体的に）	
	[	
	]	

【問6】 多治見市の広報についておたずねします。次の各項目について、あてはまるものをそれぞれ1つ選び（6－5は複数）、○印をつけてください。

6－1 あなたは、広報たじみ（Tajimist（たじみすと）、月1回発行）を読んでいますか。
1. 毎回読む 2. ときどき読む 3. ほとんど読まない 4. 読んだことがない

6－2 広報たじみ（Tajimist（たじみすと）、月1回発行）に関する次の項目について、はい・いいえのどちらかに○印をつけてください。

項 目	はい	いいえ
1. 文字の大きさは読みやすいですか	1	2
2. 紙面のレイアウトは見やすいですか	1	2
3. 掲載内容は分かりやすいですか	1	2
4. ページ数は多いですか	1	2
5. 必要な情報は掲載されていますか	1	2

6－3 あなたは、多治見市のホームページを見ますか。
1. 定期的に見る 2. 必要なときに見る 3. ほとんど見ない 4. 見たことがない

1. 毎日聴く 2. ときどき聴く 3. ほとんど聴かない 4. 聴いたことがない

1. 広報たじみ 2. ホームページ 3. FM放送（FMたじみ）
4. 携帯メール 5. フェイスブック 6. 防災行政無線 7. 地域回覧
8. その他（具体的に） []

1. 新聞折込 2. 公共施設 3. 郵便局 4. JA とうと
5. コンビニ 6. 入手していない
7. その他（具体的に）[

1. きちんと読んだ 2. 特定の候補者のみ読んだ
3. ほとんど読んでいない 4. 入手したが読んでいない

1. 役に立った 2. 役に立たなかった

1. 女性 2. 男性

1. 16・17歳 2. 18・19歳 3. 20～29歳 4. 30～39歳
5. 40～49歳 6. 50～59歳 7. 60～69歳 8. 70歳以上

1. 養正	2. 精華	3. 共栄	4. 昭和	5. 小泉
6. 池田	7. 市之倉	8. 滝呂	9. 南姫	10. 根本
11. 北栄	12. 脇之島	校区が分からない場合は町名をご記入ください 多治見市()町		
13. 笠原				

1. 農林業
2. 自営業（卸売・小売・サービス業）
3. 自営業（製造業）
4. 会社員・公務員・団体職員
5. パート・内職
6. 学生
7. 無職
8. その他（具体的に： ）

- 62 -

平成２８年度 市民意識調査報告書

平成２８年１２月発行

発 行 : 多治見市役所 企画部 秘書広報課
〒507-8703 多治見市日ノ出町２丁目１５番地
TEL0572-22-1111 (内線 1472)

デザイン協力 : 多治見市デザインバンク登録者 内田明美さん

調 査 機 関 : (株) 中部タイム・エージェント
〒500-8384 岐阜市藪田南３丁目１３番地１０
ＹＳトラスト２Ｄ
TEL058-278-7015
